

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																																	
<p>監視計器一覧（47 / 48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器水位計（狭域）</td> </tr> <tr> <td>・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）	・1次冷却材低温側温度計（広域）	原子炉圧力容器内の圧力	・炉心出口温度計	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計	・蒸気発生器水位計（広域）	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位計（狭域）	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	電源	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	補機監視機能	・余熱除去ポンプ吐出圧力計	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。		<p>監視計器一覧（49 / 50）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>・低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>・余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>・余熱除去ポンプ流量</td> </tr> <tr> <td>・前幹線1L、2L電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・後志幹線1L、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>・6-A、B、C1、C2、D低線電圧</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側）	・1次冷却材温度（広域-低温側）	原子炉圧力容器内への注水量	・炉心出口温度	・低圧注入流量	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位（狭域）	・蒸気発生器水位（広域）	補機監視機能	・補助給水流量	・余熱除去ポンプ出口圧力	電源	・余熱除去ポンプ流量	・前幹線1L、2L電圧	補機監視機能	・後志幹線1L、2L電圧	・甲母線電圧、乙母線電圧	操作	・6-A、B、C1、C2、D低線電圧	・原子炉補機冷却水供給母管流量		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量		「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																		
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																				
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																				
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）																																																																		
		・1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																		
	原子炉圧力容器内の圧力	・炉心出口温度計																																																																		
		・1次冷却材圧力計																																																																		
	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計																																																																		
		・蒸気発生器水位計（広域）																																																																		
	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位計（狭域）																																																																		
		・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																		
	電源	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																																		
		・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																		
補機監視機能	・余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																			
	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。																																																																			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																		
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																				
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																				
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側）																																																																		
		・1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																		
	原子炉圧力容器内への注水量	・炉心出口温度																																																																		
		・低圧注入流量																																																																		
	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位（狭域）																																																																		
		・蒸気発生器水位（広域）																																																																		
	補機監視機能	・補助給水流量																																																																		
		・余熱除去ポンプ出口圧力																																																																		
	電源	・余熱除去ポンプ流量																																																																		
		・前幹線1L、2L電圧																																																																		
補機監視機能	・後志幹線1L、2L電圧																																																																			
	・甲母線電圧、乙母線電圧																																																																			
操作	・6-A、B、C1、C2、D低線電圧																																																																			
	・原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																			
	・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量																																																																			
	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。																																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉			泊発電所3号炉			女川発電所2号炉			差異理由
監視計器一覧（48/48）			監視計器一覧（50/50）						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				
1.4.2.3 運転停止中の場合 (3) 原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等			1.4.2.3 運転停止中の場合 (3) 原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等						
—	判断基準	未境界の維持又は監視	・中性子源領域中性子束計 ・中性子源領域起動率計 ・原子炉補給水補給流量積算制御器積算カウンタ	—	信号	・S/R炉停止時中性子束高（N31）警報 ・S/R炉停止時中性子束高（N32）警報 ・中性子源領域中性子束 ・中性子源領域起動率 ・1次系純水補給ライン流量制御 ・1次系純水補給ライン流量積算制御			
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次系冷却材圧力計		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）			
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位			
		原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計		原子炉圧力容器内への注水量	・低圧注入流量			
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度			
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力（AM用）			
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） ・格納容器ガスモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） ・格納容器ガスモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ			
		信号	・停止時S/R中性子束高過警視作動警報		信号	・余熱除去ポンプ吐出圧力計 ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）			
		補機監視機能	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計		補機監視機能	・格納容器サンプ水位計 ・格納容器サンプ水位増加率計			
		電源	—		電源	—			
		LOCAの監視	—		LOCAの監視	—			
		操作	—		操作	—			

—：操作に伴う監視計器がないため記載しない。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

泊発電所3号炉

女川発電所2号炉

差異理由

第1.4.8表 審査基準における要求事項ごとの給電対象設備

対象条文	供給対象設備	給電元
【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	A格納容器スプレイポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
	B格納容器スプレイポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線
	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置
	A格納容器スプレイポンプ再循環サンプ側入口格納容器隔離弁	A1原子炉コントロールセンタ
	A充てんポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
	B充てんポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線
	A高圧注入ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
	B高圧注入ポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線
	A電動補助給水ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
	B電動補助給水ポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線
	A主蒸気逃がし弁	A1ソレノイド分電盤
	B主蒸気逃がし弁	A1ソレノイド分電盤
	C主蒸気逃がし弁	B1ソレノイド分電盤
	D主蒸気逃がし弁	B1ソレノイド分電盤

第1.4.8表 審査基準における要求事項ごとの給電対象設備

対象条文	供給対象設備	給電元
【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	A-充てんポンプ	6-A 非常用高圧母線
	B-充てんポンプ	6-A 非常用高圧母線
		6-B 非常用高圧母線
	C-充てんポンプ	6-B 非常用高圧母線
	A-格納容器スプレイポンプ	6-A 非常用高圧母線
	B-格納容器スプレイポンプ	6-B 非常用高圧母線
	A-高圧注入ポンプ	6-A 非常用高圧母線
	B-高圧注入ポンプ	6-B 非常用高圧母線
	A-電動補助給水ポンプ	6-A 非常用高圧母線
	B-電動補助給水ポンプ	6-B 非常用高圧母線
	A-安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/V側隔離弁	A1-原子炉コントロールセンタ
	B-安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/V側隔離弁	B1-原子炉コントロールセンタ
	A-主蒸気逃がし弁	ソレノイド分電盤A1
	B-主蒸気逃がし弁	ソレノイド分電盤A2
	C-主蒸気逃がし弁	ソレノイド分電盤B2
	代替格納容器スプレイポンプ	6-A 非常用高圧母線
		6-B 非常用高圧母線
		代替非常用発電機
A-ディーゼル発電機 燃料抽送ポンプ	A-ディーゼル発電機 コントロールセンタ	
B-ディーゼル発電機 燃料抽送ポンプ	B-ディーゼル発電機 コントロールセンタ	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>安全注入設備による原子炉の冷却機能喪失</p> <p>第1.4.1図 機能喪失原因対策分析（炉心注水：フロントライン系機能喪失）</p>	<p>安全注入設備による原子炉の冷却機能喪失（炉心注水）</p> <p>第1.4.1図 機能喪失原因対策分析（炉心注水：フロントライン系機能喪失）</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	女川発電所 2号炉	差異理由
<p>第1.4.2図 機能喪失原因対策分析（余熱除去運転：フロントライン系機能喪失）</p>	<p>第1.4.2図 機能喪失原因対策分析（余熱除去運転：フロントライン系機能喪失）</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>安全注入設備による原子炉の冷却機能喪失</p> <p>第1.4.3図 機能喪失原因対策分析（炉心注水：サボート系機能喪失）</p>	<p>第1.4.3図 機能喪失原因対策分析（炉心注水：サボート系機能喪失）</p>	<p>女川発電所2号炉</p>	<p>差異理由</p>

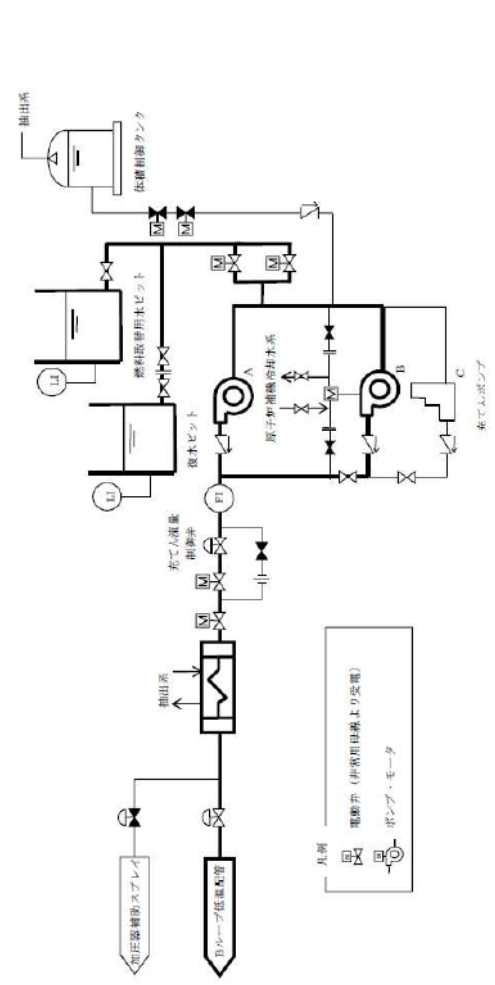
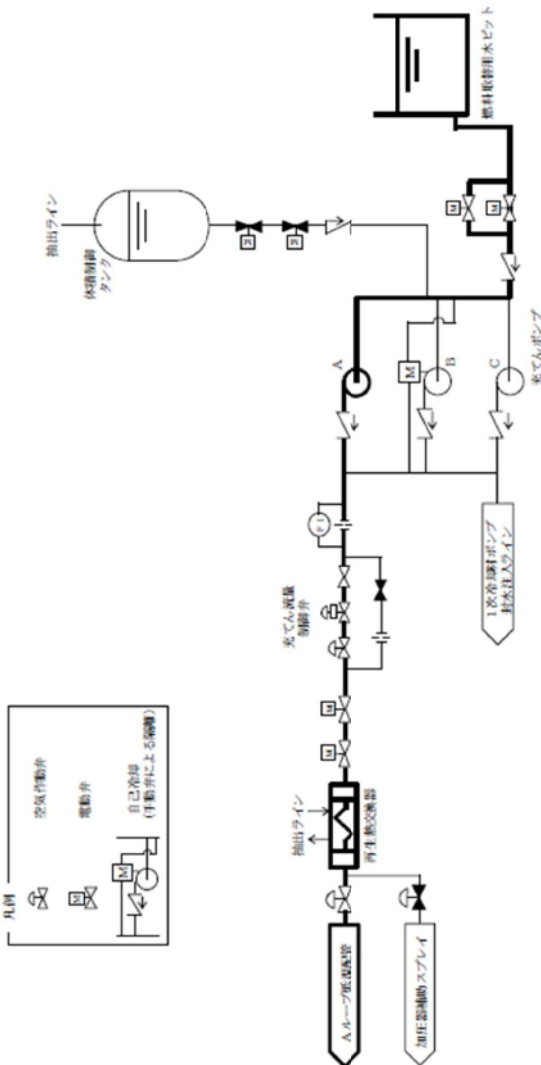
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>大阪発電所3/4号炉</p> <p>第1.4.4図 機能喪失原因対策分析（余熱除去運転：サボート系機能喪失）</p>	<p>泊発電所3号炉</p> <p>第1.4.4図 機能喪失原因対策分析（余熱除去運転：サボート系機能喪失）</p>	<p>女川発電所2号炉</p> <p>第1.4.4図 機能喪失原因対策分析（余熱除去運転：サボート系機能喪失）</p>	<p>差異理由</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
 <p>第 1.4.5 図 充てんポンプによる炉心注水 概略系統</p>	 <p>第 1.4.5 図 充てんポンプによる炉心注水 概略系統</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

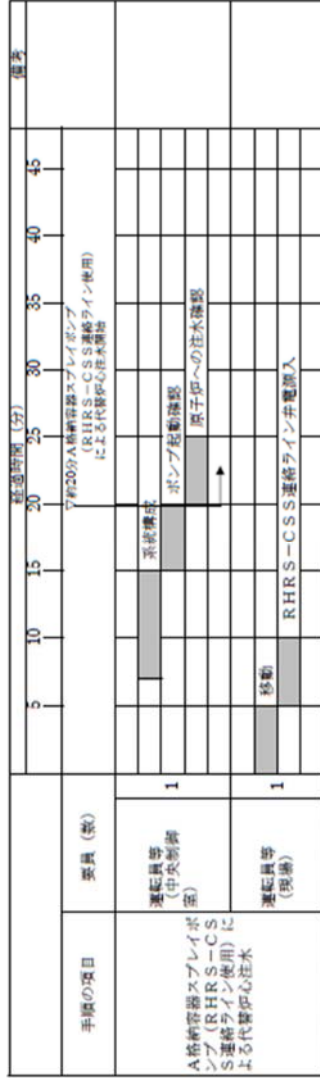
1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	女川発電所 2号炉	差異理由
<p>第1.4.6図 A格納容器スプレイポンプ (RHS-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水 概略系統</p>	<p>第1.4.6図 B格納容器スプレイポンプ (RHS-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水 概略系統</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

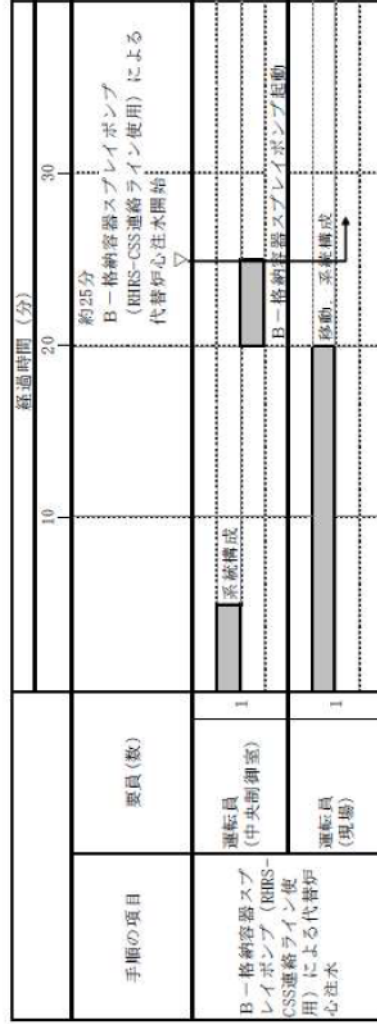
大阪発電所3 / 4号炉



※ 現遷移動時には防護装置運用時間を含む。

第1.4.7図 A格納容器スプレイポンプ (RHRHS-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水 タイムチャート

泊発電所3号炉



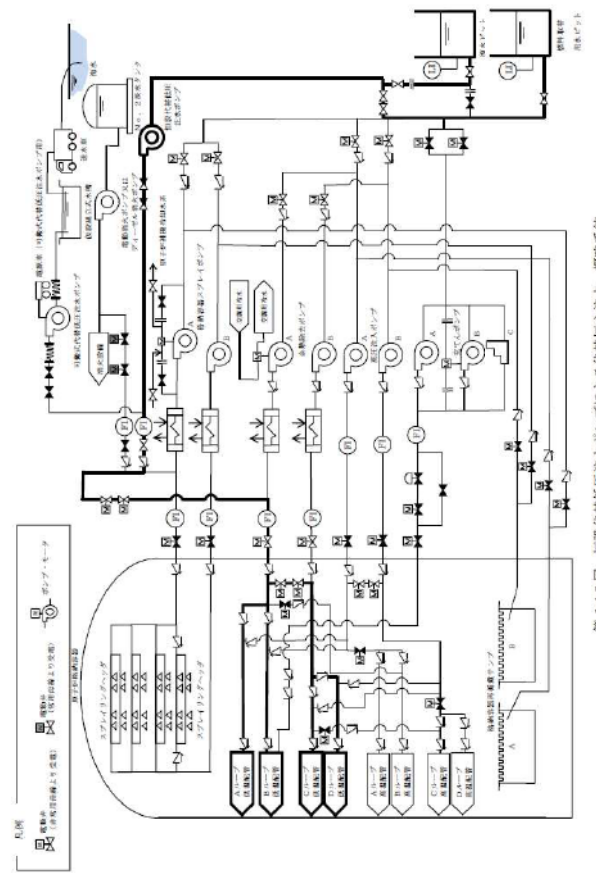
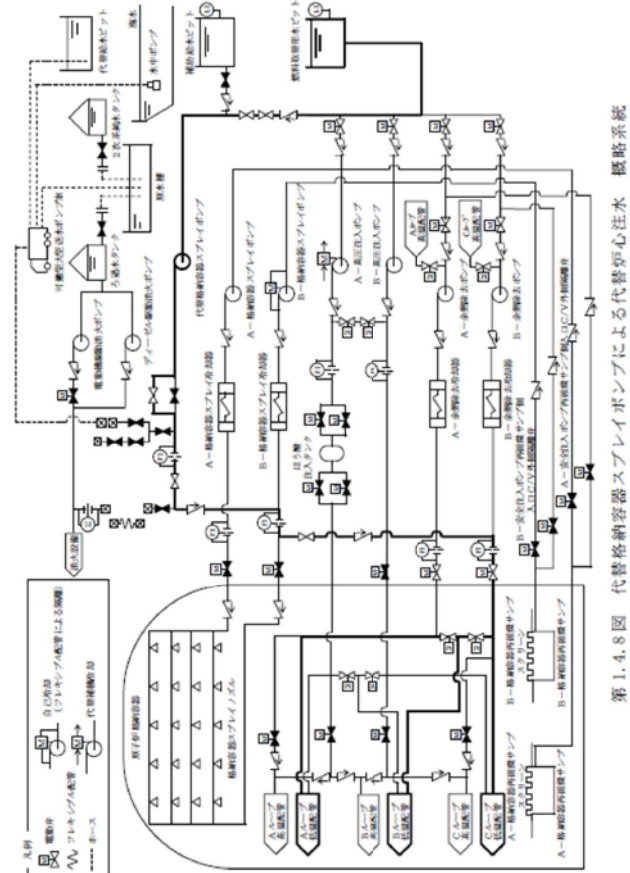
第1.4.7図 B格納容器スプレイポンプ (RHRHS-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水 タイムチャート

女川発電所2号炉

差異理由

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	女川発電所 2号炉	差異理由
 <p>第 1.4.8 図 追加代替圧注水ポンプによる代替炉心注水 概略系統</p>	 <p>第 1.4.8 図 代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水 概略系統</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

泊発電所3号炉

女川発電所2号炉

差異理由

フロントライン系機能喪失時



サポート系機能喪失時



第1.4.9図 代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水 タイムチャート



第1.4.9図 代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水 タイムチャート

設備の相違
 (差異理由②)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																									
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="757 646 1370 831" style="text-align: center;"> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">経過時間(分)</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>10</th> <th>20</th> <th>30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手順の項目</td> <td>要員(数)</td> <td></td> <td></td> <td>約25分 代替格納容器スプレイポンプ による代替炉心注水開始</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイから炉心注水への切替え</td> <td>運転員(中央制御室)</td> <td>1</td> <td></td> <td>系統構成</td> </tr> <tr> <td></td> <td>運転員(現場)</td> <td>1</td> <td></td> <td>移動、系統構成</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p data-bbox="757 879 1370 938" style="text-align: center;">第1.4.10図 代替格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイから炉心注水へ切替え タイムチャート</p>			経過時間(分)					10	20	30	手順の項目	要員(数)			約25分 代替格納容器スプレイポンプ による代替炉心注水開始	代替格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイから炉心注水への切替え	運転員(中央制御室)	1		系統構成		運転員(現場)	1		移動、系統構成		<p data-bbox="2022 767 2134 815" style="color: red;">設備の相違 (差異理由①)</p>
		経過時間(分)																										
		10	20	30																								
手順の項目	要員(数)			約25分 代替格納容器スプレイポンプ による代替炉心注水開始																								
代替格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイから炉心注水への切替え	運転員(中央制御室)	1		系統構成																								
	運転員(現場)	1		移動、系統構成																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>大阪発電所3/4号炉 緊急炉心注水 概略系統</p>	<p>泊発電所3号炉 緊急炉心注水 概略系統</p>	<p>女川発電所2号炉</p>	<p>差異理由</p>

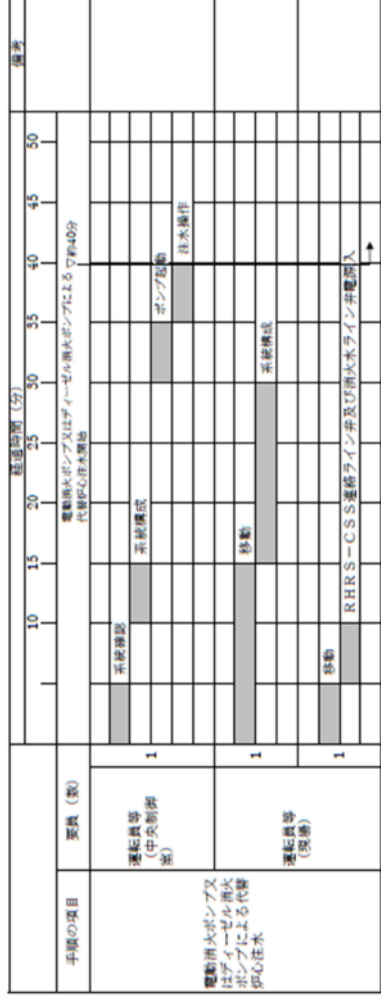
第 1.4.10 図 電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水 概略系統

第 1.4.11 図 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる代替炉心注水 概略系統

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

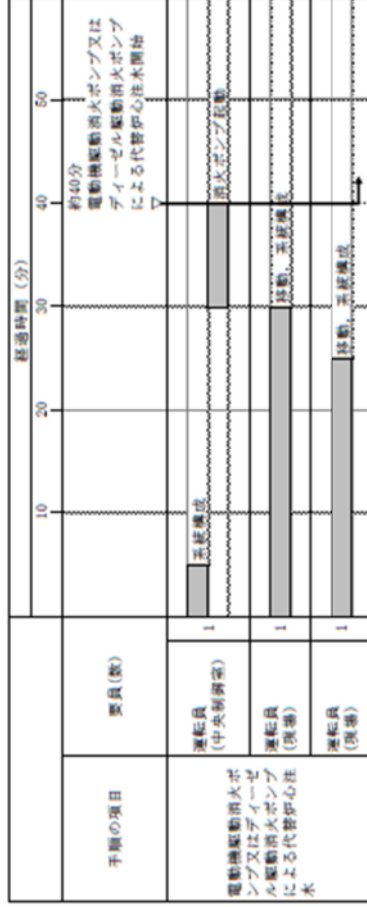
大阪発電所3 / 4号炉



※ 関係機動時間には関係機具専用時間を含む。

第1.4.11図 電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水 タイムチャート

泊発電所3号炉



第1.4.12図 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる代替炉心注水 タイムチャート

女川発電所2号炉

差異理由

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>大阪発電所3/4号炉の冷却系図。原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等を示している。図には、原子炉、冷却材ポンプ、蒸気発生器、および各種弁などが示されている。</p>	<p>泊発電所3号炉の冷却系図。原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等を示している。図には、原子炉、冷却材ポンプ、蒸気発生器、および各種弁などが示されている。</p>	<p>女川発電所2号炉の冷却系図。原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等を示している。図には、原子炉、冷却材ポンプ、蒸気発生器、および各種弁などが示されている。</p>	<p>差異理由</p>

第 1.4.12 図 可動式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水 概略系統

第 1.4.13 図 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水 概略系統

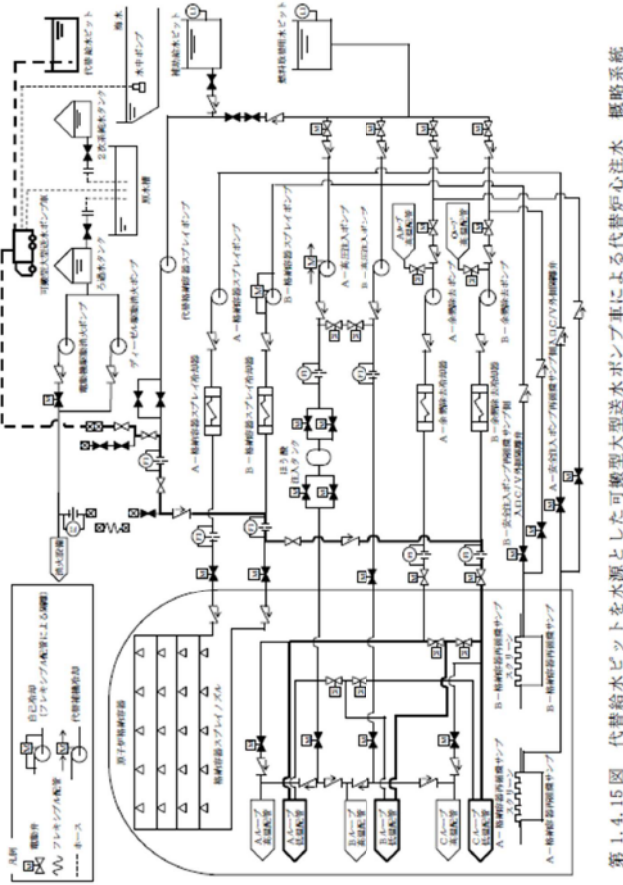
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>図1.4.13 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水 タイムチャート</p> <p>※ 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水開始時刻は、図1.4.13の時刻表を参照してください。</p>	<p>図1.4.14 海水を用いた可搬式代替大型送水ポンプによる代替炉心注水 タイムチャート</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	女川発電所 2号炉	差異理由
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>	 <p style="text-align: center;">第1.4.15図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水 概略系統</p>		<p style="color: red;">設備の相違 (差異理由③)</p>

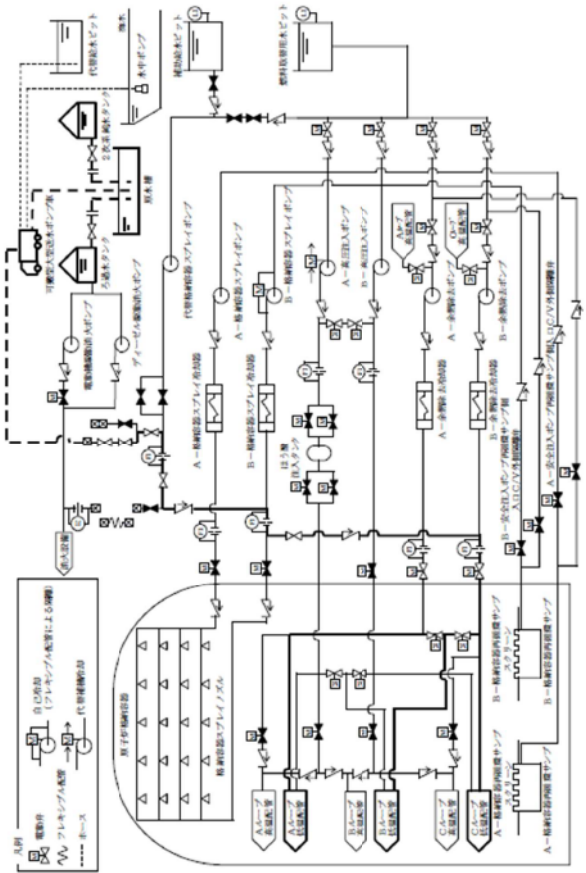
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<p style="text-align: center;">第 1.4.16 図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による代替給水ピットへの送水</p> <p style="text-align: center;">替炉心注水 タイムチャート</p>		<p style="color: red;">設備の相違 (差異理由③)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	女川発電所 2号炉	差異理由
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>	 <p style="text-align: center;">第 1.4.17 図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水 概略系統</p>		<p style="color: red;">設備の相違 (差異理由③)</p>

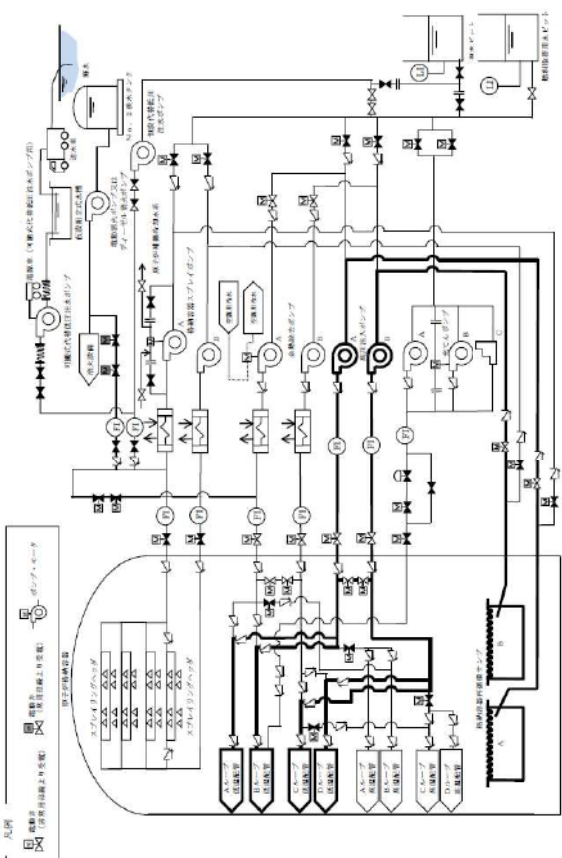
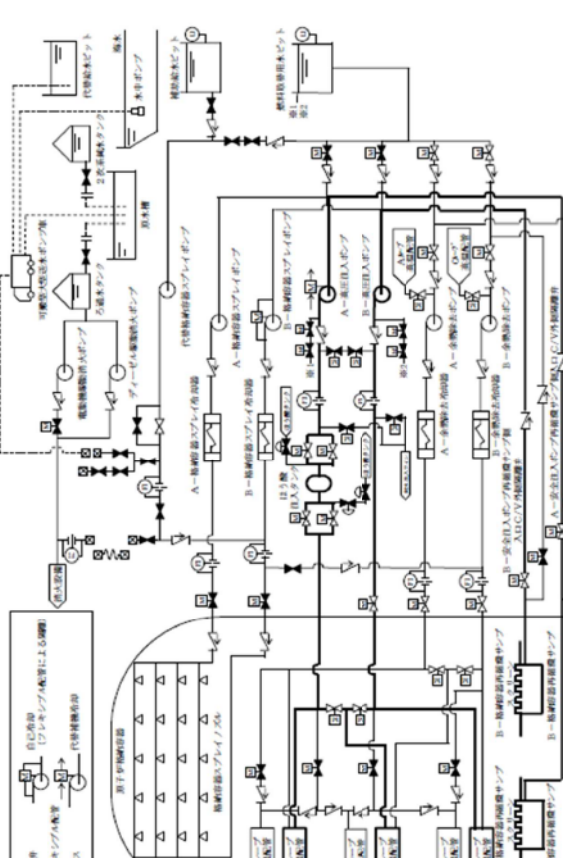

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">第 1.4.18 図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水 タイムチャート</p>		<p style="color: red;">設備の相違 (差異理由③)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	女川発電所 2号炉	差異理由
 <p>大阪発電所 3 / 4号炉の原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の高圧注入ポンプによる高圧再循環運転の概略系図。図には、高圧注入ポンプ、各種弁、配管、および原子炉冷却材の循環経路が示されています。</p>	 <p>泊発電所 3号炉の原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の高圧注入ポンプによる高圧再循環運転の概略系図。図には、高圧注入ポンプ、各種弁、配管、および原子炉冷却材の循環経路が示されています。</p>	 <p>女川発電所 2号炉の原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の高圧注入ポンプによる高圧再循環運転の概略系図。図には、高圧注入ポンプ、各種弁、配管、および原子炉冷却材の循環経路が示されています。</p>	<p>差異理由</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>第1.4.15図 A格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用) による代替再循環運転 概略系統</p>	<p>第1.4.20図 B-1格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用) による代替再循環運転 概略系統</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

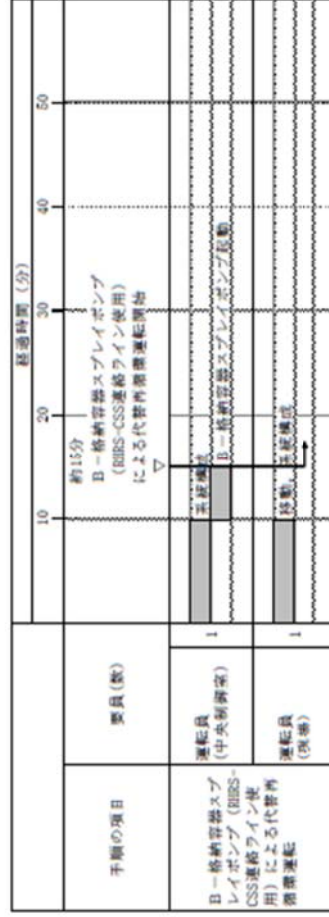
大阪発電所3/4号炉



※ 見逃移動時間には防犯措置準備時間を含む。

第1.4.16図 A格納容器スンプレイポンプ (RHRS-CSS) 連絡ライン使用) による代替再循環運転 タイムチャート

泊発電所3号炉



第 1.4.21 図 B-格納容器スンプレイポンプ (RHRS-CSS) 連絡ライン使用)

による代替再循環運転 タイムチャート

女川発電所2号炉

差異理由

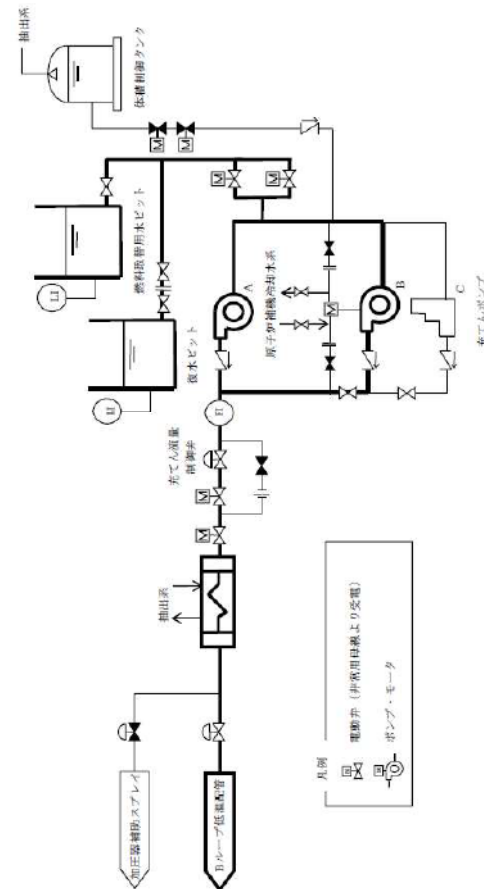
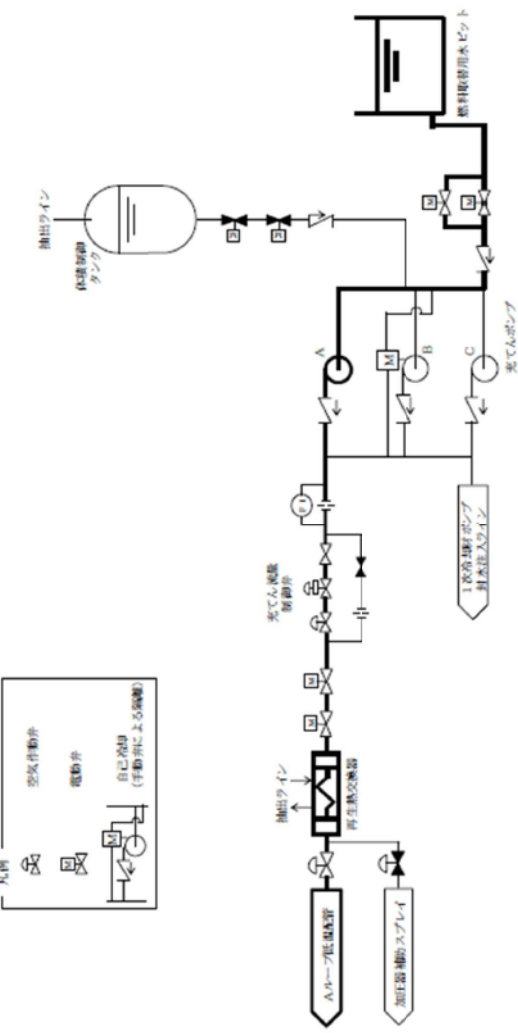
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>第1.4.17図 高圧注入ポンプによる炉心注水 概略系統</p>	<p>第1.4.22図 格納容器再循環ポンプスクリーン閉塞の復旧が見られた場合の手順 (高圧注入ポンプによる炉心注水) 概略系統</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<div data-bbox="190 303 627 351" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 泊3号炉との比較のため再掲 </div>  <p style="text-align: center;">第 1.4.5 図 充てんポンプによる炉心注水 概略系統</p>	 <p style="text-align: center;">第 1.4.23 図 格納容器再循環サブスクリーン閉塞の徴候が見られた場合の手順 (燃料取替用水ピットを水源とした充てんポンプによる炉心注水) 概略系統</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	女川発電所 2号炉	差異理由
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 泊 3号炉との比較対象なし </div>	<div data-bbox="757 280 1285 1276" style="text-align: center;"> <p style="text-align: center;">第 1.4.24 図 格納容器再循環サンプスクリュー閉塞の復旧が見られた場合の手順 (1次系純水タンク及びびほう酸タンクを水源とした充てんポンプによる炉心注水) 概略系統</p> </div>		<p>記載方針の相違 ・泊 3号炉は1次系純水タンク及びびほう酸タンクを水源とした充てんポンプによる炉心注水の状態を示す概略系統を第 1.4.24 図に整理した。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>図14 格納容器再循環ポンプシステム閉塞の兆候が見られた場合の手順</p>	<p>図14 格納容器再循環ポンプシステム閉塞の兆候が見られた場合の手順</p>	<p>第1.4.35図 格納容器再循環ポンプシステム閉塞の兆候が見られた場合の手順</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>図 1.4.25 図 緊急時の冷却運転上の原子炉機能喪失に対する対応手順 (フロントライン) 機能喪失、予備設備の起動等を含む</p>	<p>図 1.4.26 図 非常用炉心冷却設備による原子炉冷却機能喪失に対する対応手順 (フロントライン) 機能喪失 (1/2)</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<p style="text-align: center;">第 1.4.26 図 非常用炉心冷却設備による原子炉冷却機能喪失に対する対応手順 (フロントライン系機能喪失) (2/2)</p>	<p style="text-align: center; color: red;">設備の相違 (差異理由③)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>第 1.4.50 図 非常用炉心冷却設備による原子炉冷却機能喪失に対する対応手順 (フロントライン系機能喪失：再循環運転及び代替再循環運転)</p>	<p>第 1.4.27 図 余熱除去設備の再循環運転による原子炉冷却機能喪失に対する 対応手段 (フロントライン系機能喪失)</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>図 1.4.21 図 A熱源除去ポンプ（空調用冷水）による代替炉心吐水 概略系統</p>	<p>大飯3/4号炉との比較対象なし</p>		<p>設備の相違 (差異理由⑧)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>第 1.4.22 図 B 充てんポンプ (自己冷却) による代替炉心注水 概略系統</p>	<p>第 1.4.28 図 B-充てんポンプ (自己冷却) による代替炉心注水 概略系統</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>大阪発電所3 / 4号炉</p> <p>図1.4.28 日充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水 タイムチャート</p> <p>※ 稼働稼働時間は防振騒音規制時間を含む。</p>	<p>泊発電所3号炉</p> <p>第 1.4.29 図 B-充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水 タイムチャート</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

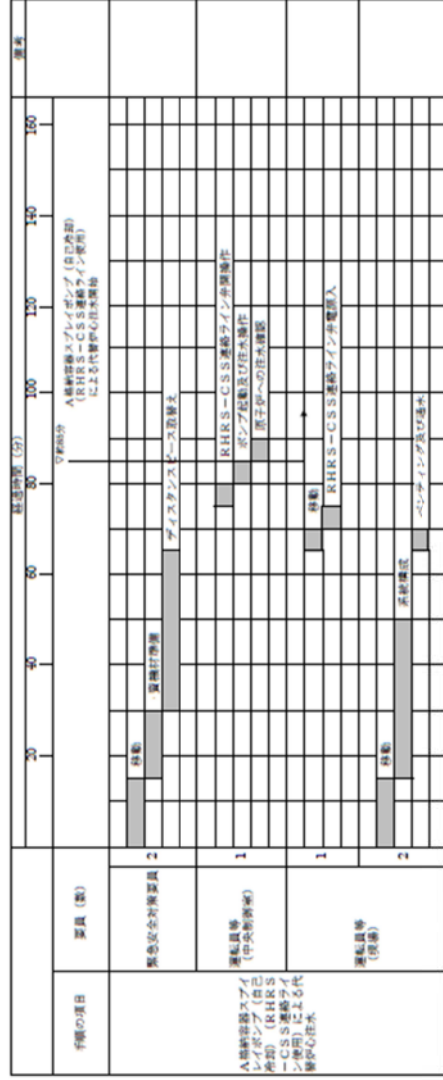
1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>第 1.4.24 図 A 格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS 連絡ライン使用）による代替炉心注水 概略図</p>	<p>第 1.4.30 図 B 格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS 連絡ライン使用）による代替炉心注水 概略系統</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

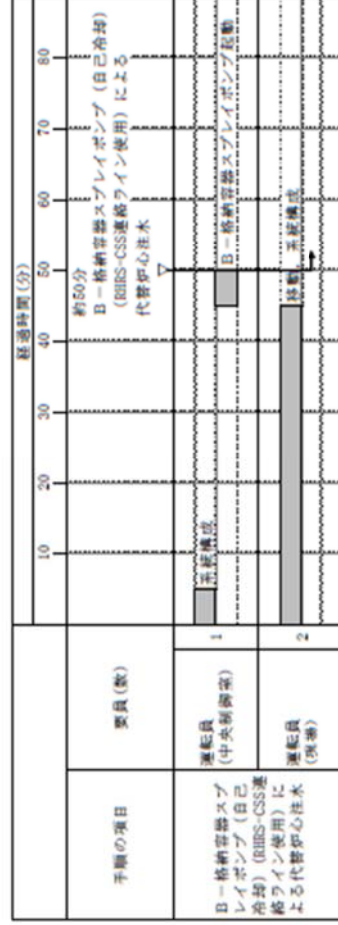
1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉



第1.4.25図 A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水 タイムチャート

泊発電所3号炉



第 1.4.31 図 B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS 連絡ライン使用）による代替炉心注水 タイムチャート

女川発電所2号炉

差異理由

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	女川発電所 2号炉	差異理由
<p>第 1.4.26 図 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替循環運転 概略系統</p>	<p>第 1.4.32 図 A - 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替循環運転 概略系統</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>大阪発電所3 / 4号炉</p> <p>第1.4.27図 B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転 タイムチャート</p> <p>※ 操業移動時間には防護員警備時間を含む。</p>	<p>泊発電所3号炉</p> <p>第1.4.33図 A-1 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転 タイムチャート</p> <p>追而理由【3号炉原子炉建屋西側を経由したルートの設定変更】</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4 号炉	泊発電所 3号炉	女川発電所 2号炉	差異理由
<p>第 1.4.28 図 A 余熱除去ポンプ (空冷用冷水) による低圧代替再循環運転 概略系統</p>	<p>大飯 3 / 4 号炉との比較対象なし</p>		<p>設備の相違 (差異理由⑧)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

手順の項目	要員(数)	経過時間(時間)								備考	
		0.5	1	1.5	2	2.5	3	3.5	4		
格納容器隔離弁の閉止 (1次冷却材ポンプ 離弁等閉操作)	1	現場移動									
		1次冷却材ポンプ隔離弁等閉操作									
		格納容器隔離弁閉操作									
運転員等 (現場)	1	現場移動									
		主給水隔離弁閉操作									

約2.5時間 格納容器隔離弁の閉操作

※ 現場移動時間には防保護具着脱時間を含む。

第1.4.29図 格納容器隔離弁の閉止（1次冷却材ポンプ隔離弁等閉操作） タイムチャート

泊発電所 3号炉

手順の項目	要員(数)	経過時間(分)																		
		10	20	30	40	50	60	70	80	90										
格納容器隔離弁の閉止 (1次冷却材ポン プ隔離弁等閉操 作)	運転員 (現場) 1																			
	灰害対策要員 1																			
	運転員 (現場) 1																			
	灰害対策要員 1																			

約1時間 格納容器隔離弁の閉止
(1次冷却材ポンプ隔離弁等
閉止操作)

約25分 1次冷却材ポンプ隔離弁等閉止操作

約15分 格納容器隔離弁閉止操作

約10分 格納容器隔離弁閉止操作

約5分 格納容器隔離弁閉止操作

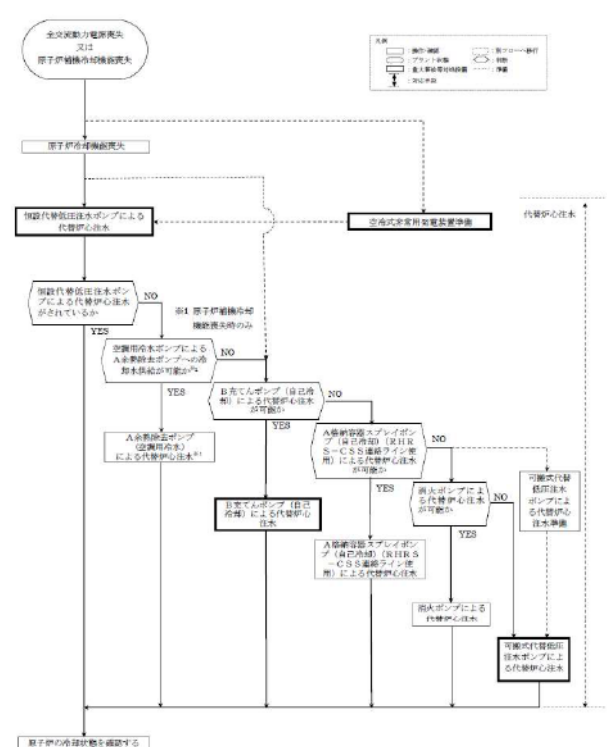
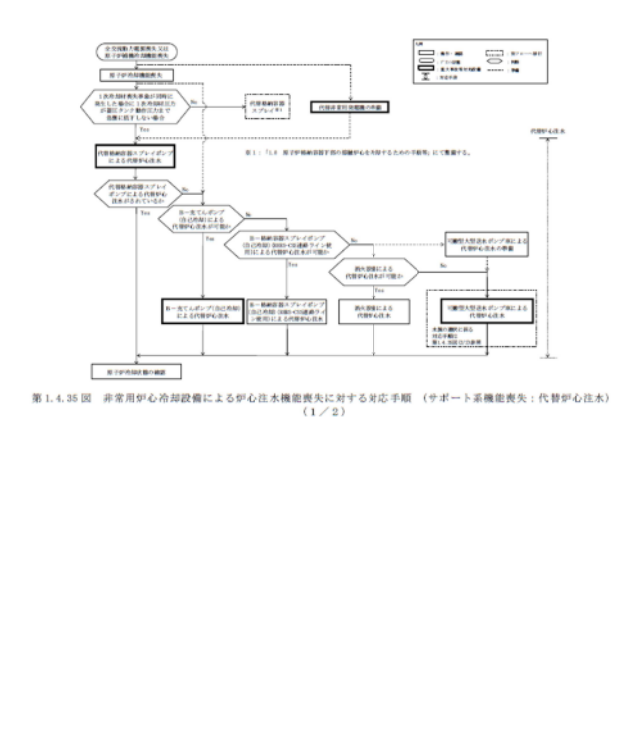
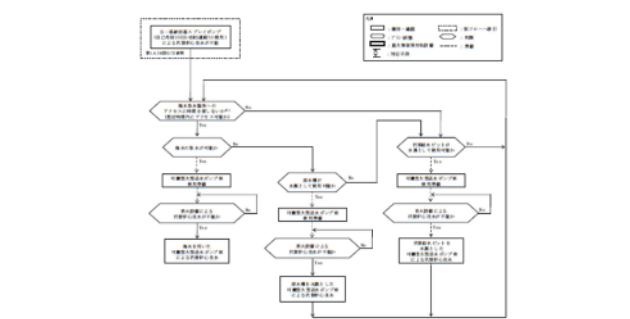
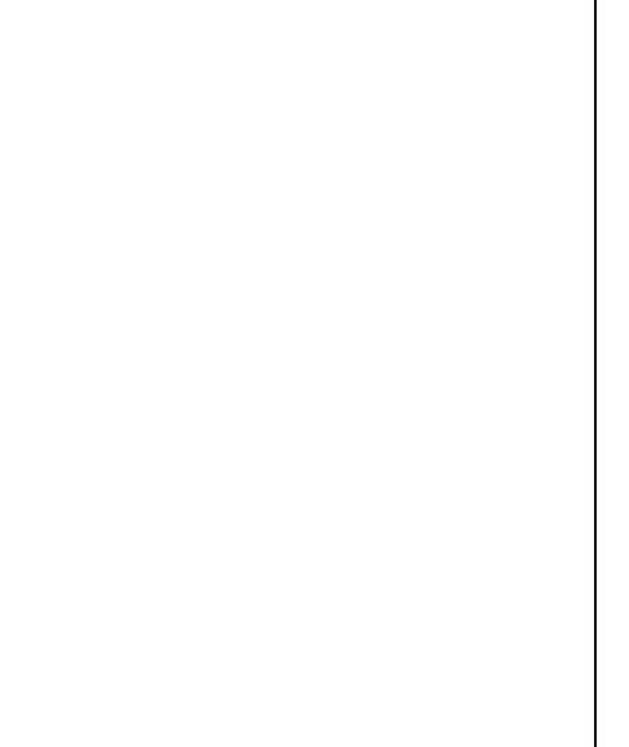
第1.4.34図 格納容器隔離弁の閉止 タイムチャート

女川発電所 2号炉

差異理由

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
 <p>第 1.4.30 図 非常用炉心冷却設備による原子炉冷却機喪失に対する対応手順 (サポート系機能喪失：代替炉心注水)</p> <p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <p>第 1.4.35 図 非常用炉心冷却設備による炉心注水機能喪失に対する対応手順 (サポート系機能喪失：代替炉心注水) (1/2)</p>  <p>第 1.4.35 図 非常用炉心冷却設備による炉心注水機能喪失に対する対応手順 (サポート系機能喪失：代替炉心注水) (2/2)</p>	 <p>第 1.4.35 図 非常用炉心冷却設備による炉心注水機能喪失に対する対応手順 (サポート系機能喪失：代替炉心注水) (2/2)</p>	<p>設備の相違 (差異理由③)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>第1.4.31図 非常用炉心冷却設備による原子炉冷却機能喪失に対する対応手順 (サボート系機能喪失：代替再循環運転)</p>	<p>第1.4.36図 非常用炉心冷却設備による炉心注水機能喪失に対する対応手順 (サボート系機能喪失：代替再循環)</p>		<p>差異理由</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	女川発電所 2号炉	差異理由
<p>第 1.4.32 図 溶融デブリが原子炉容器に残存する場合の冷却 概略系統 (格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ)</p>	<p>第 1.4.37 図 溶融デブリが原子炉圧力容器に残存する場合の冷却 概略系統 (格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ)</p>		

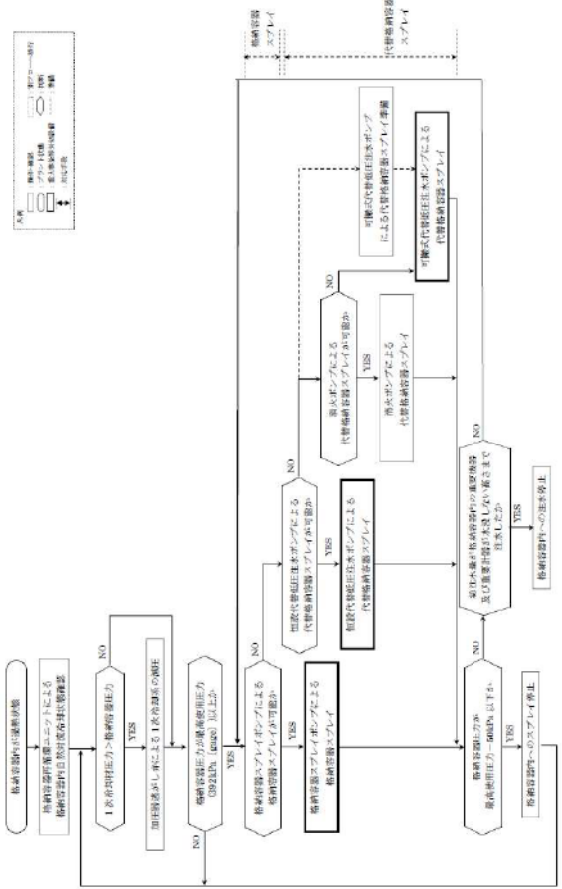
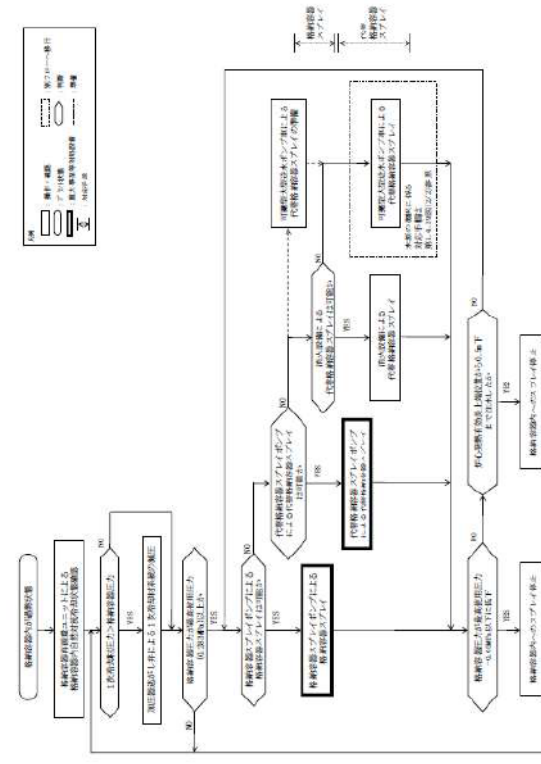
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>第1.4.33図 溶解アプリアが原子炉容器に残存する場合の冷却 概略系統 (取扱代替駆圧圧水ポンプによる代替格納容器スプレイ)</p>	<p>第1.4.38図 溶解アプリアが原子炉圧力容器に残存する場合の冷却 概略系統 (代替格納容器スプレイポンプによる代替格納容器スプレイ)</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
 <p>第1.4.34図 溶融デブリが原子炉管管壁に凝固する場合の対応手順</p>	 <p>第1.4.39図 溶融デブリが原子炉圧力容器に残存する場合の対応手順 (1/2)</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<p style="text-align: center;">第1.4.39図 溶解デブリが原子炉圧力容器に残存する場合の対応手順（2/2）</p>		設備の相違 (差異理由③)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>第1.4.35図 補助給水ポンプ及び主蒸気逃がし弁による蒸気発生器2次側による炉心冷却 概略系統</p>	<p>第1.4.40図 補助給水ポンプ及び主蒸気逃がし弁による蒸気発生器2次側による炉心冷却 概略系統</p>		

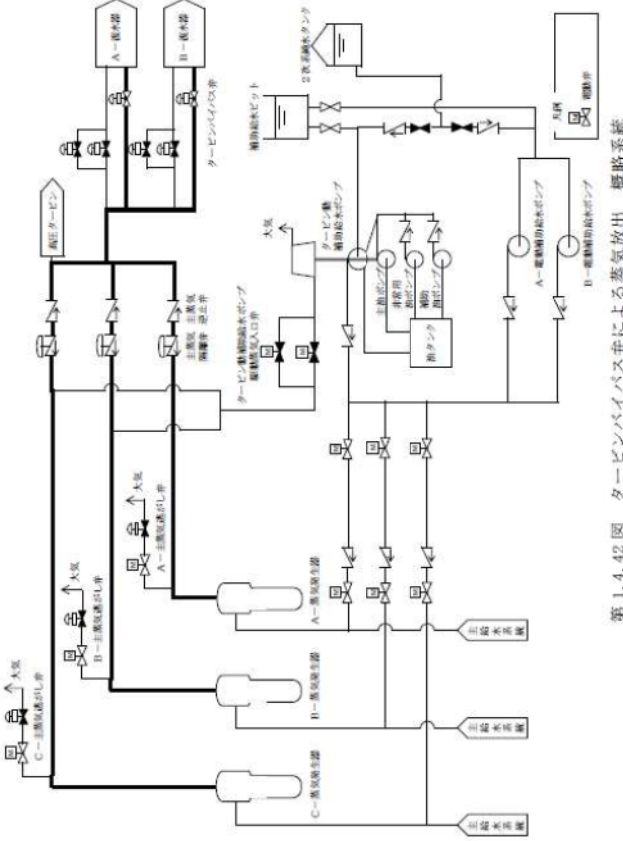
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>			<div data-bbox="2022 754 2145 802" style="color: blue;"> 記載方針の相違 (差異理由⑤) </div>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	女川発電所 2号炉	差異理由
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>	 <p style="text-align: center;">第1.4.42図 タービンバイパス弁による蒸気放出 概略系統</p>		<p style="text-align: center;">記載方針の相違 (差異理由⑤)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>第1.4.36図 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の原子炉冷却機能喪失時の対応手順（フロントライン系機能喪失）</p>	<p>第1.4.43図 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の原子炉冷却機能喪失の対応手順（フロントライン系機能喪失）（1/2）</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center; font-size: small;">※1：海水取水装置へのアクセスルート復旧作業の結果、アクセスの問題に見通しがつく場合は、「海水の取水が可能な」の判断→移行する。</p>		<p style="text-align: center; color: red;">設備の相違 (差異理由④)</p>
<p>第 1.4.43 図 1 次冷却材喪失事象が発生していない場合の原子炉冷却機能喪失の対応手順（フロントライン系機能喪失）（2/2）</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>全交流動力電源喪失</p> <p>原子炉冷却機能喪失</p> <p>タービン補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</p> <p>補助給水流量125m³/h以上</p> <p>蒸気発生器補給用取組中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水</p> <p>主蒸気速がしき（規操手動操作）による蒸気放出</p> <p>低圧停止への移行が必要か</p> <p>蒸気発生器2次側のフイードアンドブリード</p> <p>原子炉冷却状態の確認</p> <p>※1 タービン動補助給水ポンプによる注水に失敗及び空冷式非常用発電機により発電されれば、電動補助給水ポンプを起動する。</p>	<p>全交流動力電源喪失</p> <p>原子炉冷却機能喪失</p> <p>タービン補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</p> <p>補助給水流量50m³/h以上</p> <p>SG直注給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車の準備</p> <p>蒸気発生器水位回復</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</p> <p>主蒸気速がしき（規操手動操作）による蒸気放出</p> <p>低圧停止への移行が必要か</p> <p>蒸気発生器2次側のフイードアンドブリード</p> <p>原子炉冷却状態の確認</p> <p>※1 タービン動補助給水ポンプによる注水に失敗及び非常用発電機により発電されれば、電動補助給水ポンプを起動する。</p>		
<p>第1.4.37図 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の原子炉冷却機能喪失時の対応手順（サポート系機能喪失）</p>	<p>第1.4.44図 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の全交流動力電源喪失の対応手順（サポート系機能喪失）（1 / 2）</p>		

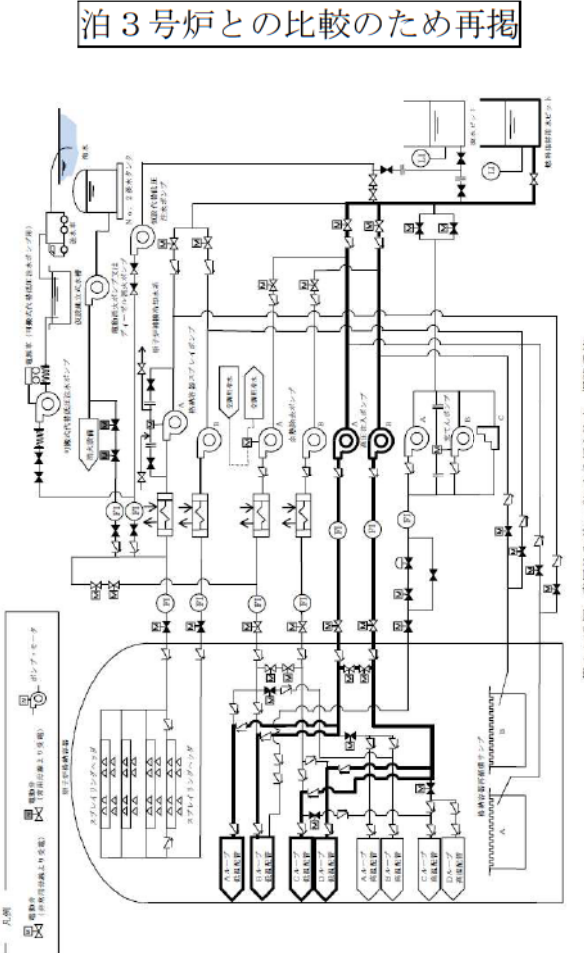
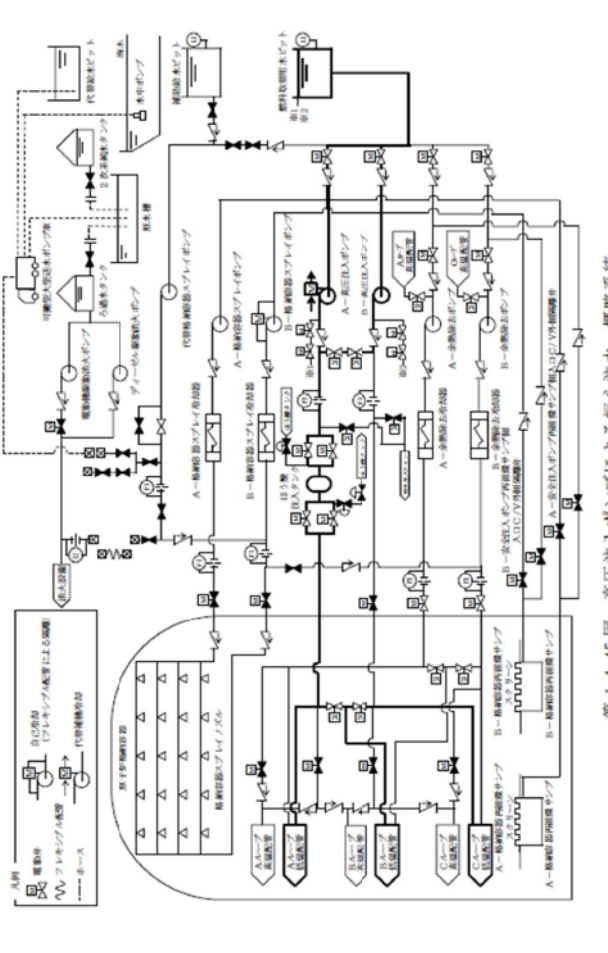
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">※1：低冷却水量用へのアクセスルート復旧作業の継続、アクセスの時間に見通しがつく場合は、「低冷却水量が可能な」の判断へ移行する。</p> <p style="text-align: center;">第1.4.44図 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の全交流動力電源喪失の対応手順（サポート系機能喪失）（2/2）</p>		<p style="text-align: center; color: red;">設備の相違 (差異理由④)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	女川発電所 2号炉	差異理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較のため再掲</p>  <p style="text-align: center;">第 1.4.17 図 高圧注入ポンプによる炉心注水 概略系統</p>	 <p style="text-align: center;">第 1.4.45 図 高圧注入ポンプによる炉心注水 概略系統</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>図 1.4.38 図 普圧タンクによる炉心注水 駆動系統</p>	<p>大飯3/4号炉との比較対象なし</p>		<p>設備の相違 (差異理由⑨)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉		泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
手順の項目 蓄圧タンクによる 炉心注水	要員(数) 運転員等 (中央制御 室) 1	大飯3 / 4号炉との比較対象なし		
	蓄圧タンクによる 炉心注水			
経過時間(分) 10 15 20 25 30 35 40 蓄圧タンクによる炉心注水開始				
受電状態確認 1 蓄目 出口弁開操作 2 蓄目 出口弁開操作 3 蓄目 出口弁開操作 4 蓄目 出口弁開操作				
移動 出口弁開操作				
※ 現機移動時間には防護器具着用時間を含む。 第1.4.39図 蓄圧タンクによる炉心注水 タイムチャート				

設備の相違
 (差異理由⑨)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	女川発電所 2号炉	差異理由
<p>第 1.4.40 図 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水 概略系統</p>	<p>第 1.4.46 図 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水 概略系統</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1. 4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4 号炉	泊発電所 3号炉	女川発電所 2号炉	差異理由											
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">手順の項目</th> <th style="width: 15%;">要員(数)</th> <th style="width: 70%;">経過時間(分)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水</td> <td>要員</td> <td>マブ25分 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水開始</td> </tr> <tr> <td>運転員等(既巻)</td> <td>移動</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>弁操作</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">※ 既巻移動時間には防保護具着用時間を含む。</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>第1.4.42図 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水 タイムチャート</p> </div> </div>	手順の項目	要員(数)	経過時間(分)	燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水	要員	マブ25分 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水開始	運転員等(既巻)	移動			弁操作	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> 大飯 3 / 4 号炉との比較対象なし </div>		<p>運用の相違 (差異理由⑤)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯3/4号炉は、空冷式非常用発電装置からの給電前に実施する手順であり、電動弁の現場手動操作により注水を実施する。 ・泊3号炉は、代替非常用発電機からの給電後に実施する手順であり、電動弁を中央制御室にて操作することから、フロントライン系機能喪失時の手順と同様。
手順の項目	要員(数)	経過時間(分)												
燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水	要員	マブ25分 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水開始												
	運転員等(既巻)	移動												
		弁操作												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>第 14.41 図 運転停止中の原子炉冷却機能喪失に対する対応手順（フロントライン系機能喪失）（1 / 2）</p>	<p>第 1.4.47 図 停止中の原子炉冷却機能喪失に対する対応手順（フロントライン系機能喪失）（1 / 4）</p>	<p>女川発電所2号炉</p>	<p>差異理由</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">第 1.4.47 図 停止中の原子炉冷却機能喪失に対する対応手順 (フロントライン系機能喪失) (2/4)</p>		<p style="color: red;">設備の相違 (差異理由④)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>第 1.4.41 図 運転停止中の原子炉冷却機能喪失に対する対応手順（フロントライン系機能喪失）（2/2）</p>	<p>第 1.4.47 図 停止中の原子炉冷却機能喪失に対する対応手順（フロントライン系機能喪失）（3 / 4）</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="font-size: small;">①：高圧冷却水蓄積へのアクセススタート後、回復の経過、アクセスの時間に見直しを行う場合は、「高圧の取水が可能か」の判断へ移行する。</p> <p style="text-align: center;">第 1.4.47 図 停止中の原子炉冷却機能喪失に対する対応手順 (フロントライン系機能喪失) (4/4)</p>		<p style="text-align: center;">設備の相違 (差異理由③)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>停止中の全交流動力電源喪失</p> <p>原子炉冷却機機能喪失</p> <p>格納容器隔離弁閉止</p> <p>蒸気発生器による冷却は可能か</p> <p>タービン補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</p> <p>補助給水流量125m³/h以上</p> <p>蒸気発生器2次側による炉心冷却</p> <p>蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</p> <p>低圧停止状態</p>	<p>停止中の全交流動力電源喪失</p> <p>原子炉冷却機機能喪失</p> <p>格納容器からの硬直指示</p> <p>格納容器隔離弁閉止</p> <p>蒸気発生器による冷却は可能か</p> <p>タービン補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</p> <p>補助給水流量200m³/h以上</p> <p>SG透過給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車の準備</p> <p>蒸気発生器水位回復</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</p> <p>蒸気発生器2次側による炉心冷却</p> <p>蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</p> <p>低圧停止状態</p> <p>※1：タービン補助給水ポンプによる注水に失敗及び非常用発電機により受電されれば、電動補助給水ポンプを起動する。</p>	<p>蒸気発生器2次側による炉心冷却</p> <p>蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</p>	<p>差異理由</p>

第1.4.43図 運転停止中の原子炉冷却機機能喪失に対する対応手順（サポート系機能喪失）（1/2）

第1.4.48図 停止中の全交流動力電源喪失に対する対応手順（サポート系機能喪失）（1/4）

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">図1：炉水取水装置へのアクセスルート変更手順の概要、アクセスの時間に見通し及ぶる場合は、「炉水の取水が可能か」の判断一併行する。</p> <p style="text-align: center;">第1.4.48図 停止中の全交流動力電源喪失に対する対応手順 (サポート系機能喪失) (2/4)</p>		<p style="color: red;">設備の相違 (差異理由④)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>第1.4.43図 運転停止中の原子炉冷却機能喪失に対する対応手順（サポート系機能喪失）（2/2）</p>	<p>第1.4.48図 停止中の全交流動力電源喪失に対する対応手順（サポート系機能喪失）（3/4）</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">※ 1 「緊急冷却スプレッドポンプ」の運転結果、コアセキストの時間に見通しがつく場合は、「緊急注水が可能か」の判断→移行する。</p> <p style="text-align: center;">第 1.4.48 図 停止中の全交流動力電源喪失に対する対応手順 (サポート系機能喪失) (4/4)</p>		<p style="text-align: center; color: red;">設備の相違 (差異理由③)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

女川発電所2号炉 添付資料 1.4.5 解釈一覧	泊発電所3号炉 添付資料 1.4.26-(1) 解釈一覧	差異理由																																																							
<p>1. 判断基準の解釈一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順</th> <th>判断基準記載内容</th> <th>解釈</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 a. 低圧代替注水</td> <td>(1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 低圧代替注水</td> <td>(a) 低圧代替注水系(常設) (淡水移送ポンプ)による原子炉圧力容器への注水 原子炉水位低 (レベル3)</td> <td>原子炉水位 (換熱機) 等にて原子炉水位低 (レベル3)</td> </tr> <tr> <td>(b) 低圧代替注水系(常設) (直流駆動低圧注水系ポンプ)による原子炉圧力容器への注水</td> <td>原子炉水位低 (レベル3)</td> <td>原子炉水位 (換熱機) 等にて原子炉水位低 (レベル3)</td> </tr> <tr> <td>(c) 低圧代替注水系(可搬型)による原子炉圧力容器への注水</td> <td>原子炉水位低 (レベル3)</td> <td>原子炉水位 (換熱機) 等にて原子炉水位低 (レベル3)</td> </tr> <tr> <td>(e) ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水</td> <td>原子炉水位低 (レベル3)</td> <td>原子炉水位 (換熱機) 等にて原子炉水位低 (レベル3)</td> </tr> <tr> <td>(2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧</td> <td>(d) 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子炉からの除熱 原子炉圧力指示値が規定値以下</td> <td>原子炉圧力指示値が1.04MPa以下</td> </tr> <tr> <td>1.4.2.3 重大事故等対処設備(設計基準参照)による対応手順</td> <td>(1) 残留熱除去系(低圧注水モード)による原子炉圧力容器への注水 -</td> <td>原子炉水位 (換熱機) 等にて原子炉水位低 (レベル3)</td> </tr> <tr> <td>(2) 低圧炉心スプレィ系による原子炉圧力容器への注水 -</td> <td>原子炉水位低 (レベル3)</td> <td>原子炉水位 (換熱機) 等にて原子炉水位低 (レベル3)</td> </tr> <tr> <td>(3) 残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)による発電用原子炉からの除熱 -</td> <td>原子炉圧力指示値が規定値以下</td> <td>原子炉圧力指示値が1.04MPa以下</td> </tr> </tbody> </table>	手順	判断基準記載内容	解釈	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 a. 低圧代替注水	(1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 低圧代替注水	(a) 低圧代替注水系(常設) (淡水移送ポンプ)による原子炉圧力容器への注水 原子炉水位低 (レベル3)	原子炉水位 (換熱機) 等にて原子炉水位低 (レベル3)	(b) 低圧代替注水系(常設) (直流駆動低圧注水系ポンプ)による原子炉圧力容器への注水	原子炉水位低 (レベル3)	原子炉水位 (換熱機) 等にて原子炉水位低 (レベル3)	(c) 低圧代替注水系(可搬型)による原子炉圧力容器への注水	原子炉水位低 (レベル3)	原子炉水位 (換熱機) 等にて原子炉水位低 (レベル3)	(e) ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水	原子炉水位低 (レベル3)	原子炉水位 (換熱機) 等にて原子炉水位低 (レベル3)	(2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧	(d) 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子炉からの除熱 原子炉圧力指示値が規定値以下	原子炉圧力指示値が1.04MPa以下	1.4.2.3 重大事故等対処設備(設計基準参照)による対応手順	(1) 残留熱除去系(低圧注水モード)による原子炉圧力容器への注水 -	原子炉水位 (換熱機) 等にて原子炉水位低 (レベル3)	(2) 低圧炉心スプレィ系による原子炉圧力容器への注水 -	原子炉水位低 (レベル3)	原子炉水位 (換熱機) 等にて原子炉水位低 (レベル3)	(3) 残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)による発電用原子炉からの除熱 -	原子炉圧力指示値が規定値以下	原子炉圧力指示値が1.04MPa以下	<p>1. 「手順着手の判断基準」及び「操作手順」解釈一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>記載内容</th> <th>解釈</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.1 次冷却材喪失事故が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 炉心注水 a) 充てんポンプによる炉心注水</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>判断基準</td> <td>原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている</td> <td>燃料取替用水ピット水位: <input type="checkbox"/>%以上</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ②</td> <td>充てんポンプによる原子炉への注水の系統構成</td> <td>「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(11))」参照</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ④</td> <td>充てん流量制御弁を開操作</td> <td>「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(11))」参照</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ⑤</td> <td>充てん流量等により原子炉への注水が開始されたことを確認</td> <td>充てんポンプ容量: 約45m³/h (1台当たり) ※原子炉容器水位等により、充てん流量を調整</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	記載内容	解釈	1.4.2.1 次冷却材喪失事故が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 炉心注水 a) 充てんポンプによる炉心注水			判断基準	原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている	燃料取替用水ピット水位: <input type="checkbox"/> %以上	操作手順 ②	充てんポンプによる原子炉への注水の系統構成	「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(11))」参照	操作手順 ④	充てん流量制御弁を開操作	「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(11))」参照	操作手順 ⑤	充てん流量等により原子炉への注水が開始されたことを確認	充てんポンプ容量: 約45m ³ /h (1台当たり) ※原子炉容器水位等により、充てん流量を調整	<p>【大飯3/4号炉】 記載方針の相違 ・比較対象の添付資料なし。</p> <p>【女川2号炉】 プラント型式の相違 ・泊3号炉の重大事故等への対応に用いている設備のうち、蒸気発生器2次側による炉心冷却手段の活用による対応等については、PWR固有の設計に基づくものであり、機能喪失を想定する設計基準事故対処設備及び重大事故等への対応設備・手段が大きく女川2号炉と異なる。PWRプラントとしての基準への適合性を網羅的に比較する観点では、まとめ資料本文比較表にて大飯3/4号炉と比較する。</p>									
手順	判断基準記載内容	解釈																																																							
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 a. 低圧代替注水	(1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 低圧代替注水	(a) 低圧代替注水系(常設) (淡水移送ポンプ)による原子炉圧力容器への注水 原子炉水位低 (レベル3)	原子炉水位 (換熱機) 等にて原子炉水位低 (レベル3)																																																						
	(b) 低圧代替注水系(常設) (直流駆動低圧注水系ポンプ)による原子炉圧力容器への注水	原子炉水位低 (レベル3)	原子炉水位 (換熱機) 等にて原子炉水位低 (レベル3)																																																						
	(c) 低圧代替注水系(可搬型)による原子炉圧力容器への注水	原子炉水位低 (レベル3)	原子炉水位 (換熱機) 等にて原子炉水位低 (レベル3)																																																						
	(e) ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水	原子炉水位低 (レベル3)	原子炉水位 (換熱機) 等にて原子炉水位低 (レベル3)																																																						
	(2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧	(d) 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子炉からの除熱 原子炉圧力指示値が規定値以下	原子炉圧力指示値が1.04MPa以下																																																						
	1.4.2.3 重大事故等対処設備(設計基準参照)による対応手順	(1) 残留熱除去系(低圧注水モード)による原子炉圧力容器への注水 -	原子炉水位 (換熱機) 等にて原子炉水位低 (レベル3)																																																						
(2) 低圧炉心スプレィ系による原子炉圧力容器への注水 -	原子炉水位低 (レベル3)	原子炉水位 (換熱機) 等にて原子炉水位低 (レベル3)																																																							
(3) 残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)による発電用原子炉からの除熱 -	原子炉圧力指示値が規定値以下	原子炉圧力指示値が1.04MPa以下																																																							
対応手段	記載内容	解釈																																																							
1.4.2.1 次冷却材喪失事故が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 炉心注水 a) 充てんポンプによる炉心注水																																																									
判断基準	原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている	燃料取替用水ピット水位: <input type="checkbox"/> %以上																																																							
操作手順 ②	充てんポンプによる原子炉への注水の系統構成	「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(11))」参照																																																							
操作手順 ④	充てん流量制御弁を開操作	「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(11))」参照																																																							
操作手順 ⑤	充てん流量等により原子炉への注水が開始されたことを確認	充てんポンプ容量: 約45m ³ /h (1台当たり) ※原子炉容器水位等により、充てん流量を調整																																																							
<p>2. 操作手順の解釈一覧(1/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順</th> <th>操作手順記載内容</th> <th>解釈</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 a. 低圧代替注水</td> <td>(a) 低圧代替注水系(常設) (淡水移送ポンプ)による原子炉圧力容器への注水</td> <td>淡水移送ポンプ出口圧力指示値が規定値以上 淡水移送ポンプ出口圧力指示値が0.70MPa以上</td> <td>・残留熱除去系(A) 注入配管使用の場合 ・残留熱除去系(ヘッドスプレィライン) 洗浄流量指示値の上昇 ・残留熱除去系(B) 格納容器冷却ライン 洗浄流量指示値が最大170m³/h程度</td> </tr> <tr> <td>(b) 低圧代替注水系(常設) (直流駆動低圧注水系ポンプ)による原子炉圧力容器への注水</td> <td>直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量指示値の上昇 直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量指示値が82m³/h程度</td> <td>・残留熱除去系(ヘッドスプレィライン) 洗浄流量指示値の上昇 ・残留熱除去系(ヘッドスプレィライン) 洗浄流量指示値が最大190m³/h程度 ・残留熱除去系(B) 格納容器冷却ライン 洗浄流量指示値の上昇</td> </tr> <tr> <td>(c) 低圧代替注水系(可搬型)による原子炉圧力容器への注水</td> <td>残留熱除去系(ヘッドスプレィライン) 洗浄流量指示値の上昇 残留熱除去系(ヘッドスプレィライン) 洗浄流量指示値が最大190m³/h程度</td> <td>・残留熱除去系(ヘッドスプレィライン) 洗浄流量指示値の上昇 ・残留熱除去系(ヘッドスプレィライン) 洗浄流量指示値が最大190m³/h程度</td> </tr> <tr> <td>(d) 代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水</td> <td>代替循環冷却ポンプ出口流量指示値の上昇 代替循環冷却ポンプ出口流量指示値が150m³/h程度</td> <td>・残留熱除去系(ヘッドスプレィライン) 洗浄流量指示値の上昇 ・残留熱除去系(ヘッドスプレィライン) 洗浄流量指示値が70m³/h程度</td> </tr> <tr> <td>(e) ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口圧力指示値が規定値以上 残留熱除去系ポンプ出口圧力指示値が0.69MPa以上</td> <td>・残留熱除去系(ヘッドスプレィライン) 洗浄流量指示値の上昇 ・残留熱除去系(ヘッドスプレィライン) 洗浄流量指示値が最大190m³/h程度</td> </tr> <tr> <td>(2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧</td> <td>(a) 残留熱除去系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水 残留熱除去系ポンプ出口流量指示値の上昇 残留熱除去系ポンプ出口流量指示値が110m³/h程度まで上昇</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口圧力指示値が規定値以上 残留熱除去系ポンプ出口流量指示値が110m³/h程度まで上昇</td> </tr> <tr> <td>(b) 低圧炉心スプレィ系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水</td> <td>低圧炉心スプレィ系ポンプ出口圧力指示値が規定値以上 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量指示値の上昇 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口圧力指示値が0.98MPa以上 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量指示値が107m³/h程度まで上昇</td> <td>低圧炉心スプレィ系ポンプ出口圧力指示値が規定値以上 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量指示値の上昇 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口圧力指示値が0.98MPa以上 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量指示値が107m³/h程度まで上昇</td> </tr> <tr> <td>(3) 循環炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水</td> <td>(a) 低圧代替注水系(常設) (淡水移送ポンプ)による残存循環炉心の冷却 淡水移送ポンプ出口圧力指示値が規定値以上 淡水移送ポンプ出口圧力指示値が0.70MPa以上</td> <td>・代替循環冷却ポンプ出口流量指示値の上昇 ・残留熱除去系(A) 注入配管使用の場合 ・代替循環冷却ポンプ出口流量指示値が150m³/h程度</td> </tr> <tr> <td>(b) 代替循環冷却系による残存循環炉心の冷却 -</td> <td>代替循環冷却ポンプ出口流量指示値の上昇 -</td> <td>・代替循環冷却ポンプ出口流量指示値の上昇 -</td> </tr> </tbody> </table>	手順	操作手順記載内容	解釈	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 a. 低圧代替注水	(a) 低圧代替注水系(常設) (淡水移送ポンプ)による原子炉圧力容器への注水	淡水移送ポンプ出口圧力指示値が規定値以上 淡水移送ポンプ出口圧力指示値が0.70MPa以上	・残留熱除去系(A) 注入配管使用の場合 ・残留熱除去系(ヘッドスプレィライン) 洗浄流量指示値の上昇 ・残留熱除去系(B) 格納容器冷却ライン 洗浄流量指示値が最大170m ³ /h程度	(b) 低圧代替注水系(常設) (直流駆動低圧注水系ポンプ)による原子炉圧力容器への注水	直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量指示値の上昇 直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量指示値が82m ³ /h程度	・残留熱除去系(ヘッドスプレィライン) 洗浄流量指示値の上昇 ・残留熱除去系(ヘッドスプレィライン) 洗浄流量指示値が最大190m ³ /h程度 ・残留熱除去系(B) 格納容器冷却ライン 洗浄流量指示値の上昇	(c) 低圧代替注水系(可搬型)による原子炉圧力容器への注水	残留熱除去系(ヘッドスプレィライン) 洗浄流量指示値の上昇 残留熱除去系(ヘッドスプレィライン) 洗浄流量指示値が最大190m ³ /h程度	・残留熱除去系(ヘッドスプレィライン) 洗浄流量指示値の上昇 ・残留熱除去系(ヘッドスプレィライン) 洗浄流量指示値が最大190m ³ /h程度	(d) 代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水	代替循環冷却ポンプ出口流量指示値の上昇 代替循環冷却ポンプ出口流量指示値が150m ³ /h程度	・残留熱除去系(ヘッドスプレィライン) 洗浄流量指示値の上昇 ・残留熱除去系(ヘッドスプレィライン) 洗浄流量指示値が70m ³ /h程度	(e) ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水	残留熱除去系ポンプ出口圧力指示値が規定値以上 残留熱除去系ポンプ出口圧力指示値が0.69MPa以上	・残留熱除去系(ヘッドスプレィライン) 洗浄流量指示値の上昇 ・残留熱除去系(ヘッドスプレィライン) 洗浄流量指示値が最大190m ³ /h程度	(2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧	(a) 残留熱除去系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水 残留熱除去系ポンプ出口流量指示値の上昇 残留熱除去系ポンプ出口流量指示値が110m ³ /h程度まで上昇	残留熱除去系ポンプ出口圧力指示値が規定値以上 残留熱除去系ポンプ出口流量指示値が110m ³ /h程度まで上昇	(b) 低圧炉心スプレィ系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水	低圧炉心スプレィ系ポンプ出口圧力指示値が規定値以上 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量指示値の上昇 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口圧力指示値が0.98MPa以上 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量指示値が107m ³ /h程度まで上昇	低圧炉心スプレィ系ポンプ出口圧力指示値が規定値以上 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量指示値の上昇 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口圧力指示値が0.98MPa以上 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量指示値が107m ³ /h程度まで上昇	(3) 循環炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水	(a) 低圧代替注水系(常設) (淡水移送ポンプ)による残存循環炉心の冷却 淡水移送ポンプ出口圧力指示値が規定値以上 淡水移送ポンプ出口圧力指示値が0.70MPa以上	・代替循環冷却ポンプ出口流量指示値の上昇 ・残留熱除去系(A) 注入配管使用の場合 ・代替循環冷却ポンプ出口流量指示値が150m ³ /h程度	(b) 代替循環冷却系による残存循環炉心の冷却 -	代替循環冷却ポンプ出口流量指示値の上昇 -	・代替循環冷却ポンプ出口流量指示値の上昇 -	<table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>記載内容</th> <th>解釈</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.1 次冷却材喪失事故が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水 a) B-格納容器スプレィポンプ (R H R S-C S S 連絡ライン使用)による代替炉心注水</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>判断基準</td> <td>原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている</td> <td>燃料取替用水ピット水位: 16.5%以上</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ②</td> <td>B-格納容器スプレィポンプ停止</td> <td>「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(12))」参照</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ③</td> <td>B-格納容器スプレィポンプ (R H R S-C S S 連絡ライン使用) 起動準備のための系統構成</td> <td>「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(12))」参照</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ④</td> <td>R H R S-C S S 連絡ラインの弁を開</td> <td>「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(12))」参照</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ⑥</td> <td>B-格納容器スプレィポンプ起動</td> <td>「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(12))」参照</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ⑦</td> <td>B-格納容器スプレィポンプ流量等により原子炉への注水が開始されたことを確認</td> <td>B-格納容器スプレィポンプ容量: 約200m³/h ※有効性評価「ECS再循環機能喪失」の解析条件より引用</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;"> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </p>	対応手段	記載内容	解釈	1.4.2.1 次冷却材喪失事故が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水 a) B-格納容器スプレィポンプ (R H R S-C S S 連絡ライン使用)による代替炉心注水			判断基準	原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている	燃料取替用水ピット水位: 16.5%以上	操作手順 ②	B-格納容器スプレィポンプ停止	「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(12))」参照	操作手順 ③	B-格納容器スプレィポンプ (R H R S-C S S 連絡ライン使用) 起動準備のための系統構成	「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(12))」参照	操作手順 ④	R H R S-C S S 連絡ラインの弁を開	「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(12))」参照	操作手順 ⑥	B-格納容器スプレィポンプ起動	「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(12))」参照	操作手順 ⑦	B-格納容器スプレィポンプ流量等により原子炉への注水が開始されたことを確認	B-格納容器スプレィポンプ容量: 約200m ³ /h ※有効性評価「ECS再循環機能喪失」の解析条件より引用	<p>【女川2号炉】 記載方針の相違 ・泊3号炉は、本文中の「手順着手の判断基準」及び「操作手順」において、具体的な数値または操作内容を示していない事項について、解釈一覧の1. に整理し、概略系統図と具体的な弁名称を含む操作対象機器を解釈一覧の2. に記載。</p> <p>・女川2号炉は「判断基準」、「操作手順」及び「弁番号及び弁名称」をそれぞれ一覧表で整理している。</p> <p>・本文中に具体的な数値または操作内容を示していない事項について、添付資料で明確化する方針に相違なし。以下、同様。</p>
手順	操作手順記載内容	解釈																																																							
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 a. 低圧代替注水	(a) 低圧代替注水系(常設) (淡水移送ポンプ)による原子炉圧力容器への注水	淡水移送ポンプ出口圧力指示値が規定値以上 淡水移送ポンプ出口圧力指示値が0.70MPa以上	・残留熱除去系(A) 注入配管使用の場合 ・残留熱除去系(ヘッドスプレィライン) 洗浄流量指示値の上昇 ・残留熱除去系(B) 格納容器冷却ライン 洗浄流量指示値が最大170m ³ /h程度																																																						
	(b) 低圧代替注水系(常設) (直流駆動低圧注水系ポンプ)による原子炉圧力容器への注水	直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量指示値の上昇 直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量指示値が82m ³ /h程度	・残留熱除去系(ヘッドスプレィライン) 洗浄流量指示値の上昇 ・残留熱除去系(ヘッドスプレィライン) 洗浄流量指示値が最大190m ³ /h程度 ・残留熱除去系(B) 格納容器冷却ライン 洗浄流量指示値の上昇																																																						
	(c) 低圧代替注水系(可搬型)による原子炉圧力容器への注水	残留熱除去系(ヘッドスプレィライン) 洗浄流量指示値の上昇 残留熱除去系(ヘッドスプレィライン) 洗浄流量指示値が最大190m ³ /h程度	・残留熱除去系(ヘッドスプレィライン) 洗浄流量指示値の上昇 ・残留熱除去系(ヘッドスプレィライン) 洗浄流量指示値が最大190m ³ /h程度																																																						
	(d) 代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水	代替循環冷却ポンプ出口流量指示値の上昇 代替循環冷却ポンプ出口流量指示値が150m ³ /h程度	・残留熱除去系(ヘッドスプレィライン) 洗浄流量指示値の上昇 ・残留熱除去系(ヘッドスプレィライン) 洗浄流量指示値が70m ³ /h程度																																																						
	(e) ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水	残留熱除去系ポンプ出口圧力指示値が規定値以上 残留熱除去系ポンプ出口圧力指示値が0.69MPa以上	・残留熱除去系(ヘッドスプレィライン) 洗浄流量指示値の上昇 ・残留熱除去系(ヘッドスプレィライン) 洗浄流量指示値が最大190m ³ /h程度																																																						
	(2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧	(a) 残留熱除去系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水 残留熱除去系ポンプ出口流量指示値の上昇 残留熱除去系ポンプ出口流量指示値が110m ³ /h程度まで上昇	残留熱除去系ポンプ出口圧力指示値が規定値以上 残留熱除去系ポンプ出口流量指示値が110m ³ /h程度まで上昇																																																						
	(b) 低圧炉心スプレィ系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水	低圧炉心スプレィ系ポンプ出口圧力指示値が規定値以上 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量指示値の上昇 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口圧力指示値が0.98MPa以上 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量指示値が107m ³ /h程度まで上昇	低圧炉心スプレィ系ポンプ出口圧力指示値が規定値以上 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量指示値の上昇 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口圧力指示値が0.98MPa以上 低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量指示値が107m ³ /h程度まで上昇																																																						
	(3) 循環炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水	(a) 低圧代替注水系(常設) (淡水移送ポンプ)による残存循環炉心の冷却 淡水移送ポンプ出口圧力指示値が規定値以上 淡水移送ポンプ出口圧力指示値が0.70MPa以上	・代替循環冷却ポンプ出口流量指示値の上昇 ・残留熱除去系(A) 注入配管使用の場合 ・代替循環冷却ポンプ出口流量指示値が150m ³ /h程度																																																						
	(b) 代替循環冷却系による残存循環炉心の冷却 -	代替循環冷却ポンプ出口流量指示値の上昇 -	・代替循環冷却ポンプ出口流量指示値の上昇 -																																																						
	対応手段	記載内容	解釈																																																						
1.4.2.1 次冷却材喪失事故が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水 a) B-格納容器スプレィポンプ (R H R S-C S S 連絡ライン使用)による代替炉心注水																																																									
判断基準	原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている	燃料取替用水ピット水位: 16.5%以上																																																							
操作手順 ②	B-格納容器スプレィポンプ停止	「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(12))」参照																																																							
操作手順 ③	B-格納容器スプレィポンプ (R H R S-C S S 連絡ライン使用) 起動準備のための系統構成	「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(12))」参照																																																							
操作手順 ④	R H R S-C S S 連絡ラインの弁を開	「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(12))」参照																																																							
操作手順 ⑥	B-格納容器スプレィポンプ起動	「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(12))」参照																																																							
操作手順 ⑦	B-格納容器スプレィポンプ流量等により原子炉への注水が開始されたことを確認	B-格納容器スプレィポンプ容量: 約200m ³ /h ※有効性評価「ECS再循環機能喪失」の解析条件より引用																																																							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

女川発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	差異理由																																																																														
<p>2. 操作手順の解釈一覧 (2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順</th> <th>操作手順記載内容</th> <th>解釈</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順</td> <td>(1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 低圧代替注水</td> <td>低圧代替注水(高設) (取水移送ポンプ) による原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>(1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱</td> <td>原子炉冷却材浄化系入口流量指針値の上昇</td> <td>原子炉冷却材浄化系入口流量指針値が 50m³/h 程度</td> </tr> <tr> <td>(2) サボート系故障時の対応手順 c. 変更</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量指針値の上昇</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量指針値が 1160m³/h 程度まで上昇</td> </tr> <tr> <td>1.4.2.3 重大事故等対処設備(設計基準地震)による対応手順</td> <td>(1) 残留熱除去系(低圧注水モード)による原子炉圧力容器への注水</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口圧力指針値が規定値以上</td> </tr> <tr> <td>(2) 低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水</td> <td>低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力指針値が規定値以上</td> <td>低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量指針値が 1074m³/h 程度まで上昇</td> </tr> <tr> <td>(3) 残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)による発電用原子炉からの除熱</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量指針値の上昇</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量指針値が 1160m³/h 程度まで上昇</td> </tr> </tbody> </table>	手順	操作手順記載内容	解釈	1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順	(1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 低圧代替注水	低圧代替注水(高設) (取水移送ポンプ) による原子炉圧力容器への注水	(1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱	原子炉冷却材浄化系入口流量指針値の上昇	原子炉冷却材浄化系入口流量指針値が 50m ³ /h 程度	(2) サボート系故障時の対応手順 c. 変更	残留熱除去系ポンプ出口流量指針値の上昇	残留熱除去系ポンプ出口流量指針値が 1160m ³ /h 程度まで上昇	1.4.2.3 重大事故等対処設備(設計基準地震)による対応手順	(1) 残留熱除去系(低圧注水モード)による原子炉圧力容器への注水	残留熱除去系ポンプ出口圧力指針値が規定値以上	(2) 低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力指針値が規定値以上	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量指針値が 1074m ³ /h 程度まで上昇	(3) 残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)による発電用原子炉からの除熱	残留熱除去系ポンプ出口流量指針値の上昇	残留熱除去系ポンプ出口流量指針値が 1160m ³ /h 程度まで上昇	<p>添付資料 1.4.26-(2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>記載内容</th> <th>解釈</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.1 次冷却対策失事象が発生している場合 (1) フロントライン系機電喪失時の手順等 b. 代替炉心注水 b) 代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>判断基準</td> <td>原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている</td> <td>燃料取替用水ピット水位 <input type="checkbox"/> %以上</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ②</td> <td>非常用高圧母線から代替格納容器スプレイポンプへの給電が可能な場合、現場で A 又は B - 非常用高圧母線に接続される受電遮断器の投入操作を実施</td> <td>「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(13))」参照</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ③</td> <td>代替格納容器スプレイに伴う系統構成</td> <td>「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(13))」参照</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ④</td> <td>代替格納容器スプレイポンプを起動</td> <td>「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(13))」参照</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ⑤</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量等により、代替格納容器スプレイポンプの運転状態に異常がないことを確認し、加圧器水位が可視範囲となるまでは最大流量で注水</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量：約 30m³/h ※有効性評価「全交流動力電源喪失」の解析条件より引用</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ⑥</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口ラインに設置された手動弁を操作して注水流量を調整</td> <td>「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(13))」参照</td> </tr> <tr> <td>対応手段</td> <td>1.4.2.1 次冷却対策失事象が発生している場合 (1) フロントライン系機電喪失時の手順等 b. 代替炉心注水 b) 代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水 【代替格納容器スプレイポンプの注水先を格納容器から原子炉へ切替える場合の手順】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>判断基準</td> <td>原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている</td> <td>燃料取替用水ピット水位 <input type="checkbox"/> %以上</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ②</td> <td>代替格納容器スプレイポンプの注水先を格納容器から原子炉へ切替え</td> <td>「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(14))」参照</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ③</td> <td>代替格納容器スプレイポンプの運転状態に異常がないことを確認し、加圧器水位が可視範囲となるまでは最大流量で注水</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量：約 30m³/h ※有効性評価「全交流動力電源喪失」の解析条件より引用</td> </tr> <tr> <td>対応手段</td> <td>1.4.2.1 次冷却対策失事象が発生している場合 (1) フロントライン系機電喪失時の手順等 b. 代替炉心注水 d) 溜水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水</td> <td></td> </tr> <tr> <td>判断基準</td> <td>原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている</td> <td>燃料取替用水ピット水位 <input type="checkbox"/> %以上</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ③</td> <td>可搬型ホースを代替給水・注水配管と接続</td> <td>「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(15)(16))」参照</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ④</td> <td>水中ポンプを可搬型ホースと接続</td> <td>「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(15)(16))」参照</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ⑤</td> <td>代替炉心注水の系統構成</td> <td>「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(15)(16))」参照</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ⑥</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車を起動</td> <td>「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(15)(16))」参照</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ⑦</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量等により原子炉への注水が確保されたことを確認</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量：約 30m³/h ※有効性評価「全交流動力電源喪失」の解析条件である代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水時における注水流量に調整</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	記載内容	解釈	1.4.2.1 次冷却対策失事象が発生している場合 (1) フロントライン系機電喪失時の手順等 b. 代替炉心注水 b) 代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水			判断基準	原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている	燃料取替用水ピット水位 <input type="checkbox"/> %以上	操作手順 ②	非常用高圧母線から代替格納容器スプレイポンプへの給電が可能な場合、現場で A 又は B - 非常用高圧母線に接続される受電遮断器の投入操作を実施	「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(13))」参照	操作手順 ③	代替格納容器スプレイに伴う系統構成	「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(13))」参照	操作手順 ④	代替格納容器スプレイポンプを起動	「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(13))」参照	操作手順 ⑤	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量等により、代替格納容器スプレイポンプの運転状態に異常がないことを確認し、加圧器水位が可視範囲となるまでは最大流量で注水	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量：約 30m ³ /h ※有効性評価「全交流動力電源喪失」の解析条件より引用	操作手順 ⑥	代替格納容器スプレイポンプ出口ラインに設置された手動弁を操作して注水流量を調整	「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(13))」参照	対応手段	1.4.2.1 次冷却対策失事象が発生している場合 (1) フロントライン系機電喪失時の手順等 b. 代替炉心注水 b) 代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水 【代替格納容器スプレイポンプの注水先を格納容器から原子炉へ切替える場合の手順】		判断基準	原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている	燃料取替用水ピット水位 <input type="checkbox"/> %以上	操作手順 ②	代替格納容器スプレイポンプの注水先を格納容器から原子炉へ切替え	「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(14))」参照	操作手順 ③	代替格納容器スプレイポンプの運転状態に異常がないことを確認し、加圧器水位が可視範囲となるまでは最大流量で注水	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量：約 30m ³ /h ※有効性評価「全交流動力電源喪失」の解析条件より引用	対応手段	1.4.2.1 次冷却対策失事象が発生している場合 (1) フロントライン系機電喪失時の手順等 b. 代替炉心注水 d) 溜水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水		判断基準	原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている	燃料取替用水ピット水位 <input type="checkbox"/> %以上	操作手順 ③	可搬型ホースを代替給水・注水配管と接続	「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(15)(16))」参照	操作手順 ④	水中ポンプを可搬型ホースと接続	「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(15)(16))」参照	操作手順 ⑤	代替炉心注水の系統構成	「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(15)(16))」参照	操作手順 ⑥	可搬型大型送水ポンプ車を起動	「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(15)(16))」参照	操作手順 ⑦	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量等により原子炉への注水が確保されたことを確認	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量：約 30m ³ /h ※有効性評価「全交流動力電源喪失」の解析条件である代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水時における注水流量に調整	<p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>
手順	操作手順記載内容	解釈																																																																														
1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順	(1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 低圧代替注水	低圧代替注水(高設) (取水移送ポンプ) による原子炉圧力容器への注水																																																																														
(1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱	原子炉冷却材浄化系入口流量指針値の上昇	原子炉冷却材浄化系入口流量指針値が 50m ³ /h 程度																																																																														
(2) サボート系故障時の対応手順 c. 変更	残留熱除去系ポンプ出口流量指針値の上昇	残留熱除去系ポンプ出口流量指針値が 1160m ³ /h 程度まで上昇																																																																														
1.4.2.3 重大事故等対処設備(設計基準地震)による対応手順	(1) 残留熱除去系(低圧注水モード)による原子炉圧力容器への注水	残留熱除去系ポンプ出口圧力指針値が規定値以上																																																																														
(2) 低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力指針値が規定値以上	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量指針値が 1074m ³ /h 程度まで上昇																																																																														
(3) 残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)による発電用原子炉からの除熱	残留熱除去系ポンプ出口流量指針値の上昇	残留熱除去系ポンプ出口流量指針値が 1160m ³ /h 程度まで上昇																																																																														
対応手段	記載内容	解釈																																																																														
1.4.2.1 次冷却対策失事象が発生している場合 (1) フロントライン系機電喪失時の手順等 b. 代替炉心注水 b) 代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水																																																																																
判断基準	原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている	燃料取替用水ピット水位 <input type="checkbox"/> %以上																																																																														
操作手順 ②	非常用高圧母線から代替格納容器スプレイポンプへの給電が可能な場合、現場で A 又は B - 非常用高圧母線に接続される受電遮断器の投入操作を実施	「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(13))」参照																																																																														
操作手順 ③	代替格納容器スプレイに伴う系統構成	「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(13))」参照																																																																														
操作手順 ④	代替格納容器スプレイポンプを起動	「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(13))」参照																																																																														
操作手順 ⑤	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量等により、代替格納容器スプレイポンプの運転状態に異常がないことを確認し、加圧器水位が可視範囲となるまでは最大流量で注水	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量：約 30m ³ /h ※有効性評価「全交流動力電源喪失」の解析条件より引用																																																																														
操作手順 ⑥	代替格納容器スプレイポンプ出口ラインに設置された手動弁を操作して注水流量を調整	「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(13))」参照																																																																														
対応手段	1.4.2.1 次冷却対策失事象が発生している場合 (1) フロントライン系機電喪失時の手順等 b. 代替炉心注水 b) 代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水 【代替格納容器スプレイポンプの注水先を格納容器から原子炉へ切替える場合の手順】																																																																															
判断基準	原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている	燃料取替用水ピット水位 <input type="checkbox"/> %以上																																																																														
操作手順 ②	代替格納容器スプレイポンプの注水先を格納容器から原子炉へ切替え	「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(14))」参照																																																																														
操作手順 ③	代替格納容器スプレイポンプの運転状態に異常がないことを確認し、加圧器水位が可視範囲となるまでは最大流量で注水	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量：約 30m ³ /h ※有効性評価「全交流動力電源喪失」の解析条件より引用																																																																														
対応手段	1.4.2.1 次冷却対策失事象が発生している場合 (1) フロントライン系機電喪失時の手順等 b. 代替炉心注水 d) 溜水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水																																																																															
判断基準	原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている	燃料取替用水ピット水位 <input type="checkbox"/> %以上																																																																														
操作手順 ③	可搬型ホースを代替給水・注水配管と接続	「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(15)(16))」参照																																																																														
操作手順 ④	水中ポンプを可搬型ホースと接続	「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(15)(16))」参照																																																																														
操作手順 ⑤	代替炉心注水の系統構成	「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(15)(16))」参照																																																																														
操作手順 ⑥	可搬型大型送水ポンプ車を起動	「2. 操作対象機器一覧(添付資料1.4.26-(15)(16))」参照																																																																														
操作手順 ⑦	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量等により原子炉への注水が確保されたことを確認	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量：約 30m ³ /h ※有効性評価「全交流動力電源喪失」の解析条件である代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水時における注水流量に調整																																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

女川発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由																																							
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">比較対象なし</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.26-(3)</p> <table border="1" data-bbox="967 443 1758 766"> <tr> <td>対応手段</td> <td colspan="2">1.4.2.1：次冷却材喪失事象が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 c. 再循環運転 (a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</td> </tr> <tr> <td></td> <td>記載内容</td> <td>解釈</td> </tr> <tr> <td>判断基準</td> <td>再循環運転するために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位（広域）：71%以上 ・燃料取替用水ピット水位：16.5%到達</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ②</td> <td>高圧注入ポンプミニマムフロー弁の閉を確認</td> <td>「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(17)）」参照</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ③</td> <td>安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/V外側隔離弁の閉を確認</td> <td>「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(17)）」参照</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ④</td> <td>高圧注入流量により原子炉への注水流量が確保されていることを確認</td> <td>高圧注入流量：0～350m³/h(0～約15.7MPa[gage])(2台運転時) ※有効性評価「原子炉格納容器の除熱機能喪失」の解析条件より引用</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="967 805 1758 1157"> <tr> <td>対応手段</td> <td colspan="2">1.4.2.1：次冷却材喪失事象が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 d. 代替再循環運転 (a) B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td></td> <td>記載内容</td> <td>解釈</td> </tr> <tr> <td>判断基準</td> <td>再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位（広域）：71%以上 ・燃料取替用水ピット水位：16.5%到達</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ③</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による炉心注水の系統構成</td> <td>「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(18)）」参照</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ④</td> <td>RHRS-CSS連絡ラインの弁を開</td> <td>「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(18)）」参照</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ⑥</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ起動</td> <td>「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(18)）」参照</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ⑦</td> <td>B-格納容器スプレイ流量等により原子炉への注水流量が確保されたことを確認</td> <td>B-格納容器スプレイ流量：約200m³/h ※有効性評価「ECCS再循環機能喪失」の解析条件より引用</td> </tr> </table>	対応手段	1.4.2.1：次冷却材喪失事象が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 c. 再循環運転 (a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転			記載内容	解釈	判断基準	再循環運転するために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている	・格納容器再循環サンプ水位（広域）：71%以上 ・燃料取替用水ピット水位：16.5%到達	操作手順 ②	高圧注入ポンプミニマムフロー弁の閉を確認	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(17)）」参照	操作手順 ③	安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/V外側隔離弁の閉を確認	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(17)）」参照	操作手順 ④	高圧注入流量により原子炉への注水流量が確保されていることを確認	高圧注入流量：0～350m ³ /h(0～約15.7MPa[gage])(2台運転時) ※有効性評価「原子炉格納容器の除熱機能喪失」の解析条件より引用	対応手段	1.4.2.1：次冷却材喪失事象が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 d. 代替再循環運転 (a) B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転			記載内容	解釈	判断基準	再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている	・格納容器再循環サンプ水位（広域）：71%以上 ・燃料取替用水ピット水位：16.5%到達	操作手順 ③	B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による炉心注水の系統構成	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(18)）」参照	操作手順 ④	RHRS-CSS連絡ラインの弁を開	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(18)）」参照	操作手順 ⑥	B-格納容器スプレイポンプ起動	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(18)）」参照	操作手順 ⑦	B-格納容器スプレイ流量等により原子炉への注水流量が確保されたことを確認	B-格納容器スプレイ流量：約200m ³ /h ※有効性評価「ECCS再循環機能喪失」の解析条件より引用	
	対応手段	1.4.2.1：次冷却材喪失事象が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 c. 再循環運転 (a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転																																							
	記載内容	解釈																																							
判断基準	再循環運転するために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている	・格納容器再循環サンプ水位（広域）：71%以上 ・燃料取替用水ピット水位：16.5%到達																																							
操作手順 ②	高圧注入ポンプミニマムフロー弁の閉を確認	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(17)）」参照																																							
操作手順 ③	安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/V外側隔離弁の閉を確認	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(17)）」参照																																							
操作手順 ④	高圧注入流量により原子炉への注水流量が確保されていることを確認	高圧注入流量：0～350m ³ /h(0～約15.7MPa[gage])(2台運転時) ※有効性評価「原子炉格納容器の除熱機能喪失」の解析条件より引用																																							
対応手段	1.4.2.1：次冷却材喪失事象が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 d. 代替再循環運転 (a) B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転																																								
	記載内容	解釈																																							
判断基準	再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている	・格納容器再循環サンプ水位（広域）：71%以上 ・燃料取替用水ピット水位：16.5%到達																																							
操作手順 ③	B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による炉心注水の系統構成	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(18)）」参照																																							
操作手順 ④	RHRS-CSS連絡ラインの弁を開	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(18)）」参照																																							
操作手順 ⑥	B-格納容器スプレイポンプ起動	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(18)）」参照																																							
操作手順 ⑦	B-格納容器スプレイ流量等により原子炉への注水流量が確保されたことを確認	B-格納容器スプレイ流量：約200m ³ /h ※有効性評価「ECCS再循環機能喪失」の解析条件より引用																																							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

女川発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由																																												
<div data-bbox="531 1003 863 1073" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.26-(4)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">対応手段</td> <td colspan="2">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 d. 代替再循環運転 (b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の徴候が見られた場合の手順</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">記載内容</td> <td style="text-align: center;">解釈</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ②</td> <td>格納容器スプレィを停止</td> <td>「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(19)(20)）」参照</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ③</td> <td>主蒸気逃がし弁を開操作し蒸気発生器2次側による炉心冷却</td> <td>「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(19)(20)）」参照</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ④</td> <td>余熱除去ポンプ1台を除き、他の高圧注入ポンプ及び余熱除去ポンプを停止</td> <td>「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(19)(20)）」参照</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ⑤</td> <td>キャビテーションを起こさない範囲で流量を低下</td> <td>「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(19)(20)）」参照</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ⑦</td> <td>高圧注入ポンプ1台での高圧再循環運転による原子炉への注水</td> <td>「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(21)）」参照</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ⑧</td> <td>燃料取替用水ビットを水源とし、高圧注入ポンプ1台による原子炉への注水</td> <td>「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(22)）」参照</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ⑨</td> <td>燃料取替用水ビットを水源とし、充てんポンプによる原子炉への注水</td> <td>「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(23)）」参照</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ⑩</td> <td>燃料取替用水ビット水位が3%以下となった場合は、燃料取替用水ビットを水源とするすべてのポンプを停止</td> <td>「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(23)）」参照</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ⑬</td> <td>炉心発熱有効長上端位置から0.5m下まで注水されたことを格納容器水位等により確認</td> <td>格納容器水位検出器「作動」</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">対応手段</td> <td colspan="2">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水 (a) 代替格納容器スプレィポンプによる代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">記載内容</td> <td style="text-align: center;">解釈</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>蓄圧タンク動作圧力</td> <td>1次冷却材圧力が蓄圧タンク保持圧力（約4.04MPa[gage]）以下となった場合</td> </tr> <tr> <td>原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ビットの水位が確保されている</td> <td>燃料取替用水ビット水位：<input type="checkbox"/>%以上</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </p>	対応手段	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 d. 代替再循環運転 (b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の徴候が見られた場合の手順			記載内容	解釈	操作手順 ②	格納容器スプレィを停止	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(19)(20)）」参照	操作手順 ③	主蒸気逃がし弁を開操作し蒸気発生器2次側による炉心冷却	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(19)(20)）」参照	操作手順 ④	余熱除去ポンプ1台を除き、他の高圧注入ポンプ及び余熱除去ポンプを停止	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(19)(20)）」参照	操作手順 ⑤	キャビテーションを起こさない範囲で流量を低下	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(19)(20)）」参照	操作手順 ⑦	高圧注入ポンプ1台での高圧再循環運転による原子炉への注水	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(21)）」参照	操作手順 ⑧	燃料取替用水ビットを水源とし、高圧注入ポンプ1台による原子炉への注水	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(22)）」参照	操作手順 ⑨	燃料取替用水ビットを水源とし、充てんポンプによる原子炉への注水	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(23)）」参照	操作手順 ⑩	燃料取替用水ビット水位が3%以下となった場合は、燃料取替用水ビットを水源とするすべてのポンプを停止	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(23)）」参照	操作手順 ⑬	炉心発熱有効長上端位置から0.5m下まで注水されたことを格納容器水位等により確認	格納容器水位検出器「作動」	対応手段	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水 (a) 代替格納容器スプレィポンプによる代替炉心注水			記載内容	解釈	判断基準	蓄圧タンク動作圧力	1次冷却材圧力が蓄圧タンク保持圧力（約4.04MPa[gage]）以下となった場合	原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ビットの水位が確保されている	燃料取替用水ビット水位： <input type="checkbox"/> %以上	
対応手段	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 d. 代替再循環運転 (b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の徴候が見られた場合の手順																																													
	記載内容	解釈																																												
操作手順 ②	格納容器スプレィを停止	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(19)(20)）」参照																																												
操作手順 ③	主蒸気逃がし弁を開操作し蒸気発生器2次側による炉心冷却	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(19)(20)）」参照																																												
操作手順 ④	余熱除去ポンプ1台を除き、他の高圧注入ポンプ及び余熱除去ポンプを停止	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(19)(20)）」参照																																												
操作手順 ⑤	キャビテーションを起こさない範囲で流量を低下	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(19)(20)）」参照																																												
操作手順 ⑦	高圧注入ポンプ1台での高圧再循環運転による原子炉への注水	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(21)）」参照																																												
操作手順 ⑧	燃料取替用水ビットを水源とし、高圧注入ポンプ1台による原子炉への注水	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(22)）」参照																																												
操作手順 ⑨	燃料取替用水ビットを水源とし、充てんポンプによる原子炉への注水	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(23)）」参照																																												
操作手順 ⑩	燃料取替用水ビット水位が3%以下となった場合は、燃料取替用水ビットを水源とするすべてのポンプを停止	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(23)）」参照																																												
操作手順 ⑬	炉心発熱有効長上端位置から0.5m下まで注水されたことを格納容器水位等により確認	格納容器水位検出器「作動」																																												
対応手段	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水 (a) 代替格納容器スプレィポンプによる代替炉心注水																																													
	記載内容	解釈																																												
判断基準	蓄圧タンク動作圧力	1次冷却材圧力が蓄圧タンク保持圧力（約4.04MPa[gage]）以下となった場合																																												
	原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ビットの水位が確保されている	燃料取替用水ビット水位： <input type="checkbox"/> %以上																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

女川発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由																																													
<div data-bbox="531 1003 863 1073" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.26-(5)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">対応手段</td> <td colspan="2">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水 (b) B-充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">記載内容</td> <td style="text-align: center;">解釈</td> </tr> <tr> <td>判断基準</td> <td>原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピットの水位が確保されている</td> <td>燃料取替用水ピット水位：□%以上</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ②</td> <td>代替炉心注水のための系統構成</td> <td>「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(24)）」参照</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ③</td> <td>B-充てんポンプの補機冷却水系統の系統構成</td> <td>「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(24)(25)）」参照</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ④</td> <td>水張り操作</td> <td>「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(24)(25)）」参照</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ⑥</td> <td>B-充てんポンプ起動</td> <td>「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(24)(25)）」参照</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ⑥</td> <td>充てん流量、B-充てんポンプ油冷却器及び封水冷却器補機冷却水流量等を確認し、起動状態に異常がないことを確認</td> <td> ・充てん流量：約30m³/h ※有効性評価「全交流動力電源喪失」の解析条件である代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水時における注水流量に調整 ・B-充てんポンプ油冷却器及び封水冷却器補機冷却水流量：約□m³/h ・B-充てんポンプ電動機補機冷却水流量：約□m³/h </td> </tr> <tr> <td>操作手順 ⑦</td> <td>充てん流量制御弁バイパスラインに設置している手動弁により充てん流量を調整</td> <td>「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(24)(25)）」参照</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">対応手段</td> <td colspan="2">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合 i. A-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">記載内容</td> <td style="text-align: center;">解釈</td> </tr> <tr> <td>判断基準</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車による代替補機冷却により冷却水が確保され、高圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている</td> <td> ・A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量：約□m³/h ・A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量：約□m³/h ・格納容器再循環サンプ水位（広域）：71%以上 ・燃料取替用水ピット水位：16.5%到達 </td> </tr> <tr> <td>操作手順 ②</td> <td>高圧代替再循環運転のための系統構成</td> <td>「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(26)）」参照</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ③</td> <td>A-高圧注入ポンプを起動</td> <td>「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(26)）」参照</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ③</td> <td>原子炉へ注水されていることを高圧注入流量等で確認</td> <td>高圧注入ポンプ容量：約280m³/h（1台当たり）</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;"> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </p>	対応手段	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水 (b) B-充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水			記載内容	解釈	判断基準	原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピットの水位が確保されている	燃料取替用水ピット水位：□%以上	操作手順 ②	代替炉心注水のための系統構成	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(24)）」参照	操作手順 ③	B-充てんポンプの補機冷却水系統の系統構成	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(24)(25)）」参照	操作手順 ④	水張り操作	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(24)(25)）」参照	操作手順 ⑥	B-充てんポンプ起動	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(24)(25)）」参照	操作手順 ⑥	充てん流量、B-充てんポンプ油冷却器及び封水冷却器補機冷却水流量等を確認し、起動状態に異常がないことを確認	・充てん流量：約30m ³ /h ※有効性評価「全交流動力電源喪失」の解析条件である代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水時における注水流量に調整 ・B-充てんポンプ油冷却器及び封水冷却器補機冷却水流量：約□m ³ /h ・B-充てんポンプ電動機補機冷却水流量：約□m ³ /h	操作手順 ⑦	充てん流量制御弁バイパスラインに設置している手動弁により充てん流量を調整	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(24)(25)）」参照	対応手段	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合 i. A-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転			記載内容	解釈	判断基準	可搬型大型送水ポンプ車による代替補機冷却により冷却水が確保され、高圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている	・A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量：約□m ³ /h ・A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量：約□m ³ /h ・格納容器再循環サンプ水位（広域）：71%以上 ・燃料取替用水ピット水位：16.5%到達	操作手順 ②	高圧代替再循環運転のための系統構成	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(26)）」参照	操作手順 ③	A-高圧注入ポンプを起動	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(26)）」参照	操作手順 ③	原子炉へ注水されていることを高圧注入流量等で確認	高圧注入ポンプ容量：約280m ³ /h（1台当たり）	
対応手段	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水 (b) B-充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水																																														
	記載内容	解釈																																													
判断基準	原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピットの水位が確保されている	燃料取替用水ピット水位：□%以上																																													
操作手順 ②	代替炉心注水のための系統構成	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(24)）」参照																																													
操作手順 ③	B-充てんポンプの補機冷却水系統の系統構成	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(24)(25)）」参照																																													
操作手順 ④	水張り操作	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(24)(25)）」参照																																													
操作手順 ⑥	B-充てんポンプ起動	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(24)(25)）」参照																																													
操作手順 ⑥	充てん流量、B-充てんポンプ油冷却器及び封水冷却器補機冷却水流量等を確認し、起動状態に異常がないことを確認	・充てん流量：約30m ³ /h ※有効性評価「全交流動力電源喪失」の解析条件である代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水時における注水流量に調整 ・B-充てんポンプ油冷却器及び封水冷却器補機冷却水流量：約□m ³ /h ・B-充てんポンプ電動機補機冷却水流量：約□m ³ /h																																													
操作手順 ⑦	充てん流量制御弁バイパスラインに設置している手動弁により充てん流量を調整	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(24)(25)）」参照																																													
対応手段	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合 i. A-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転																																														
	記載内容	解釈																																													
判断基準	可搬型大型送水ポンプ車による代替補機冷却により冷却水が確保され、高圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている	・A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量：約□m ³ /h ・A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量：約□m ³ /h ・格納容器再循環サンプ水位（広域）：71%以上 ・燃料取替用水ピット水位：16.5%到達																																													
操作手順 ②	高圧代替再循環運転のための系統構成	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(26)）」参照																																													
操作手順 ③	A-高圧注入ポンプを起動	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(26)）」参照																																													
操作手順 ③	原子炉へ注水されていることを高圧注入流量等で確認	高圧注入ポンプ容量：約280m ³ /h（1台当たり）																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

女川発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由																																																			
<div data-bbox="531 1003 863 1073" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.26-(6)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">対応手段</td> <td colspan="2">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合 i. A-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">記載内容</td> <td style="text-align: center;">解釈</td> </tr> <tr> <td>判断基準</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車により補機冷却水が確保され</td> <td>・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量：約 m³/h ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量：約 m³/h</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）：71%以上 ・ 燃料取替用水ピット水位：16.5%到達</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">対応手段</td> <td colspan="2">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (3) 溶融デブリが原子炉容器に残存する場合の冷却手順等</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">記載内容</td> <td style="text-align: center;">解釈</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ③</td> <td>加圧器逃がし弁により減圧</td> <td>「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(27)）」参照</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ④</td> <td>格納容器の圧力を監視し、最高使用圧力に到達</td> <td>格納容器最高使用圧力：0.283MPa[gage]</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ⑦</td> <td>炉心発熱有効長上端位置から0.5m下まで注水されたことを格納容器水位等により確認</td> <td>格納容器水位検出器「作動」</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">対応手段</td> <td colspan="2">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水） (a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">記載内容</td> <td style="text-align: center;">解釈</td> </tr> <tr> <td>判断基準</td> <td>蒸気発生器へ注水するために必要な補助給水ピット水位が確保されている</td> <td>補助給水ピット水位： %以上</td> </tr> <tr> <td>操作手順</td> <td>電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水は、中央制御室からの遠隔操作が可能</td> <td>「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(28)）」参照</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">対応手段</td> <td colspan="2">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出） (a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">記載内容</td> <td style="text-align: center;">解釈</td> </tr> <tr> <td>判断基準</td> <td>蒸気発生器への注水が確保されたことを補助給水流量等により確認</td> <td>補助給水流量：約150m³/h（蒸気発生器3基合計） ※有効性評価「ECCS注水機能喪失」時における補助給水ポンプ3台運転時の解析条件より引用 ※崩壊熱の低下等により、適宜補助給水流量を調整</td> </tr> <tr> <td>操作手順</td> <td>主蒸気逃がし弁の開操作は、中央制御室からの遠隔操作が可能</td> <td>「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(29)）」参照</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </p>	対応手段	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合 i. A-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転			記載内容	解釈	判断基準	可搬型大型送水ポンプ車により補機冷却水が確保され	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量：約 m ³ /h ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量：約 m ³ /h		高圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）：71%以上 ・ 燃料取替用水ピット水位：16.5%到達	対応手段	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (3) 溶融デブリが原子炉容器に残存する場合の冷却手順等			記載内容	解釈	操作手順 ③	加圧器逃がし弁により減圧	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(27)）」参照	操作手順 ④	格納容器の圧力を監視し、最高使用圧力に到達	格納容器最高使用圧力：0.283MPa[gage]	操作手順 ⑦	炉心発熱有効長上端位置から0.5m下まで注水されたことを格納容器水位等により確認	格納容器水位検出器「作動」	対応手段	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水） (a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水			記載内容	解釈	判断基準	蒸気発生器へ注水するために必要な補助給水ピット水位が確保されている	補助給水ピット水位： %以上	操作手順	電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水は、中央制御室からの遠隔操作が可能	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(28)）」参照	対応手段	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出） (a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出			記載内容	解釈	判断基準	蒸気発生器への注水が確保されたことを補助給水流量等により確認	補助給水流量：約150m ³ /h（蒸気発生器3基合計） ※有効性評価「ECCS注水機能喪失」時における補助給水ポンプ3台運転時の解析条件より引用 ※崩壊熱の低下等により、適宜補助給水流量を調整	操作手順	主蒸気逃がし弁の開操作は、中央制御室からの遠隔操作が可能	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(29)）」参照	
対応手段	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合 i. A-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転																																																				
	記載内容	解釈																																																			
判断基準	可搬型大型送水ポンプ車により補機冷却水が確保され	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量：約 m ³ /h ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量：約 m ³ /h																																																			
	高圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）：71%以上 ・ 燃料取替用水ピット水位：16.5%到達																																																			
対応手段	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (3) 溶融デブリが原子炉容器に残存する場合の冷却手順等																																																				
	記載内容	解釈																																																			
操作手順 ③	加圧器逃がし弁により減圧	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(27)）」参照																																																			
操作手順 ④	格納容器の圧力を監視し、最高使用圧力に到達	格納容器最高使用圧力：0.283MPa[gage]																																																			
操作手順 ⑦	炉心発熱有効長上端位置から0.5m下まで注水されたことを格納容器水位等により確認	格納容器水位検出器「作動」																																																			
対応手段	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水） (a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水																																																				
	記載内容	解釈																																																			
判断基準	蒸気発生器へ注水するために必要な補助給水ピット水位が確保されている	補助給水ピット水位： %以上																																																			
操作手順	電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水は、中央制御室からの遠隔操作が可能	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(28)）」参照																																																			
対応手段	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出） (a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出																																																				
	記載内容	解釈																																																			
判断基準	蒸気発生器への注水が確保されたことを補助給水流量等により確認	補助給水流量：約150m ³ /h（蒸気発生器3基合計） ※有効性評価「ECCS注水機能喪失」時における補助給水ポンプ3台運転時の解析条件より引用 ※崩壊熱の低下等により、適宜補助給水流量を調整																																																			
操作手順	主蒸気逃がし弁の開操作は、中央制御室からの遠隔操作が可能	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(29)）」参照																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

女川発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由																																				
<div data-bbox="531 1003 863 1075" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	添付資料 1.4.26-(7)																																					
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1270 394 1409 478">対応手段</td> <td colspan="2" data-bbox="1409 394 2329 478"> 1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水） (a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1270 478 1409 510"></td> <td data-bbox="1409 478 1905 510">記載内容</td> <td data-bbox="1905 478 2329 510">解釈</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1270 510 1409 583">判断基準</td> <td data-bbox="1409 510 1905 583">蒸気発生器へ注水するために必要な補助給水ビット水位が確保されている</td> <td data-bbox="1905 510 2329 583">補助給水ビット水位：□%以上</td> </tr> </table>	対応手段	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水） (a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水			記載内容	解釈	判断基準	蒸気発生器へ注水するために必要な補助給水ビット水位が確保されている	補助給水ビット水位：□%以上	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1270 583 1409 709">対応手段</td> <td colspan="2" data-bbox="1409 583 2329 709"> 1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出） (a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1270 709 1409 741"></td> <td data-bbox="1409 709 1905 741">記載内容</td> <td data-bbox="1905 709 2329 741">解釈</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1270 741 1409 814">判断基準</td> <td data-bbox="1409 741 1905 814">蒸気発生器へ注水が確保されたことを確認</td> <td data-bbox="1905 741 2329 814">補助給水流量：約80m³/h（蒸気発生器3基合計） ※有効性評価「全交流動力電源喪失」の解析条件より引用 ※崩壊熱の低下等により、適宜補助給水流量を調整</td> </tr> </table>	対応手段	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出） (a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出			記載内容	解釈	判断基準	蒸気発生器へ注水が確保されたことを確認	補助給水流量：約80m ³ /h（蒸気発生器3基合計） ※有効性評価「全交流動力電源喪失」の解析条件より引用 ※崩壊熱の低下等により、適宜補助給水流量を調整																		
	対応手段	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水） (a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水																																				
		記載内容	解釈																																			
	判断基準	蒸気発生器へ注水するために必要な補助給水ビット水位が確保されている	補助給水ビット水位：□%以上																																			
	対応手段	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出） (a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出																																				
		記載内容	解釈																																			
	判断基準	蒸気発生器へ注水が確保されたことを確認	補助給水流量：約80m ³ /h（蒸気発生器3基合計） ※有効性評価「全交流動力電源喪失」の解析条件より引用 ※崩壊熱の低下等により、適宜補助給水流量を調整																																			
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1270 867 1409 951">対応手段</td> <td colspan="2" data-bbox="1409 867 2329 951"> 1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 炉心注水 (a) 充てんポンプによる炉心注水 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1270 951 1409 982"></td> <td data-bbox="1409 951 1905 982">記載内容</td> <td data-bbox="1905 951 2329 982">解釈</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1270 982 1409 1056">判断基準</td> <td data-bbox="1409 982 1905 1056">原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ビット水位が確保されている</td> <td data-bbox="1905 982 2329 1056">燃料取替用水ビット水位：□%以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1270 1056 1409 1119">操作手順</td> <td data-bbox="1409 1056 1905 1119">② 充てんポンプによる原子炉への注水の系統構成</td> <td data-bbox="1905 1056 2329 1119">「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(30)）」参照</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1270 1119 1409 1182">操作手順</td> <td data-bbox="1409 1119 1905 1182">④ 充てんポンプを起動し、充てん流量制御弁を開操作し</td> <td data-bbox="1905 1119 2329 1182">「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(30)）」参照</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1270 1182 1409 1255">操作手順</td> <td data-bbox="1409 1182 1905 1255">⑤ 充てん流量等により原子炉の冷却及び充てんポンプの運転状態に異常がないこと</td> <td data-bbox="1905 1182 2329 1255">充てんポンプ容量：約29m³/h ※有効性評価「原子炉冷却材の流出」の解析条件より引用</td> </tr> </table>	対応手段	1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 炉心注水 (a) 充てんポンプによる炉心注水			記載内容	解釈	判断基準	原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ビット水位が確保されている	燃料取替用水ビット水位：□%以上	操作手順	② 充てんポンプによる原子炉への注水の系統構成	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(30)）」参照	操作手順	④ 充てんポンプを起動し、充てん流量制御弁を開操作し	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(30)）」参照	操作手順	⑤ 充てん流量等により原子炉の冷却及び充てんポンプの運転状態に異常がないこと	充てんポンプ容量：約29m ³ /h ※有効性評価「原子炉冷却材の流出」の解析条件より引用	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1270 1255 1409 1381">対応手段</td> <td colspan="2" data-bbox="1409 1255 2329 1381"> 1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 炉心注水 (b) 高圧注入ポンプによる炉心注水 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1270 1381 1409 1413"></td> <td data-bbox="1409 1381 1905 1413">記載内容</td> <td data-bbox="1905 1381 2329 1413">解釈</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1270 1413 1409 1486">判断基準</td> <td data-bbox="1409 1413 1905 1486">原子炉への注水するために必要な燃料取替用水ビット水位が確保されている</td> <td data-bbox="1905 1413 2329 1486">燃料取替用水ビット水位：□%以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1270 1486 1409 1549">操作手順</td> <td data-bbox="1409 1486 1905 1549">② 高圧注入ポンプによる炉心注水の系統構成</td> <td data-bbox="1905 1486 2329 1549">「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(31)）」参照</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1270 1549 1409 1612">操作手順</td> <td data-bbox="1409 1549 1905 1612">③ 高圧注入ポンプを起動</td> <td data-bbox="1905 1549 2329 1612">「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(31)）」参照</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1270 1612 1409 1696">操作手順</td> <td data-bbox="1409 1612 1905 1696">④ 高圧注入流量等により高圧注入ポンプの運転状態に異常がないこと</td> <td data-bbox="1905 1612 2329 1696">高圧注入ポンプ容量：約280m³/h（1台当たり）</td> </tr> </table>	対応手段	1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 炉心注水 (b) 高圧注入ポンプによる炉心注水			記載内容	解釈	判断基準	原子炉への注水するために必要な燃料取替用水ビット水位が確保されている	燃料取替用水ビット水位：□%以上	操作手順	② 高圧注入ポンプによる炉心注水の系統構成	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(31)）」参照	操作手順	③ 高圧注入ポンプを起動	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(31)）」参照	操作手順	④ 高圧注入流量等により高圧注入ポンプの運転状態に異常がないこと	高圧注入ポンプ容量：約280m ³ /h（1台当たり）
	対応手段	1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 炉心注水 (a) 充てんポンプによる炉心注水																																				
	記載内容	解釈																																				
判断基準	原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ビット水位が確保されている	燃料取替用水ビット水位：□%以上																																				
操作手順	② 充てんポンプによる原子炉への注水の系統構成	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(30)）」参照																																				
操作手順	④ 充てんポンプを起動し、充てん流量制御弁を開操作し	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(30)）」参照																																				
操作手順	⑤ 充てん流量等により原子炉の冷却及び充てんポンプの運転状態に異常がないこと	充てんポンプ容量：約29m ³ /h ※有効性評価「原子炉冷却材の流出」の解析条件より引用																																				
対応手段	1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 炉心注水 (b) 高圧注入ポンプによる炉心注水																																					
	記載内容	解釈																																				
判断基準	原子炉への注水するために必要な燃料取替用水ビット水位が確保されている	燃料取替用水ビット水位：□%以上																																				
操作手順	② 高圧注入ポンプによる炉心注水の系統構成	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(31)）」参照																																				
操作手順	③ 高圧注入ポンプを起動	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(31)）」参照																																				
操作手順	④ 高圧注入流量等により高圧注入ポンプの運転状態に異常がないこと	高圧注入ポンプ容量：約280m ³ /h（1台当たり）																																				
<div data-bbox="1617 1707 1724 1749" style="border: 1px solid black; width: 36px; height: 20px; display: inline-block;"></div> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

女川発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由																																																				
<div data-bbox="531 1003 863 1073" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	添付資料 1.4.26-(8)																																																					
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1270 384 1409 464">対応手段</td> <td data-bbox="1409 384 2329 464"> 1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水 (b) B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1270 464 1409 569">判断基準</td> <td data-bbox="1409 464 2329 569"> <table border="1"> <tr> <th data-bbox="1409 464 1902 506">記載内容</th> <th data-bbox="1902 464 2329 506">解釈</th> </tr> <tr> <td data-bbox="1409 506 1902 569">原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ビット等の水位が確保されている</td> <td data-bbox="1902 506 2329 569">燃料取替用水ビット水位：■%以上</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	対応手段	1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水 (b) B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水	判断基準	<table border="1"> <tr> <th data-bbox="1409 464 1902 506">記載内容</th> <th data-bbox="1902 464 2329 506">解釈</th> </tr> <tr> <td data-bbox="1409 506 1902 569">原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ビット等の水位が確保されている</td> <td data-bbox="1902 506 2329 569">燃料取替用水ビット水位：■%以上</td> </tr> </table>	記載内容	解釈	原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ビット等の水位が確保されている	燃料取替用水ビット水位：■%以上	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1270 617 1409 697">対応手段</td> <td data-bbox="1409 617 2329 697"> 1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水 (c) 代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1270 697 1409 802">判断基準</td> <td data-bbox="1409 697 2329 802"> <table border="1"> <tr> <th data-bbox="1409 697 1902 739">記載内容</th> <th data-bbox="1902 697 2329 739">解釈</th> </tr> <tr> <td data-bbox="1409 739 1902 802">原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ビット等の水位が確保されている</td> <td data-bbox="1902 739 2329 802">燃料取替用水ビット水位：■%以上</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	対応手段	1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水 (c) 代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水	判断基準	<table border="1"> <tr> <th data-bbox="1409 697 1902 739">記載内容</th> <th data-bbox="1902 697 2329 739">解釈</th> </tr> <tr> <td data-bbox="1409 739 1902 802">原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ビット等の水位が確保されている</td> <td data-bbox="1902 739 2329 802">燃料取替用水ビット水位：■%以上</td> </tr> </table>	記載内容	解釈	原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ビット等の水位が確保されている	燃料取替用水ビット水位：■%以上	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1270 850 1409 930">対応手段</td> <td data-bbox="1409 850 2329 930"> 1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 c. 再循環運転 (a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1270 930 1409 1035">判断基準</td> <td data-bbox="1409 930 2329 1035"> <table border="1"> <tr> <th data-bbox="1409 930 1902 972">記載内容</th> <th data-bbox="1902 930 2329 972">解釈</th> </tr> <tr> <td data-bbox="1409 972 1902 1035">再循環運転するために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている</td> <td data-bbox="1902 972 2329 1035"> ・格納容器再循環サンプ水位（広域）：71%以上 ・燃料取替用水ビット水位：16.5%到達 </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1270 1035 1409 1098">操作手順 ②</td> <td data-bbox="1409 1035 2329 1098">高圧注入ポンプによる高圧再循環運転の系統構成</td> <td data-bbox="1409 1035 2329 1098">「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(32)）」参照</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1270 1098 1409 1161">操作手順 ④</td> <td data-bbox="1409 1098 2329 1161">高圧注入ポンプを起動</td> <td data-bbox="1409 1098 2329 1161">「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(32)）」参照</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1270 1161 1409 1245">操作手順 ④</td> <td data-bbox="1409 1161 2329 1245">原子炉へ注水されていることを高圧注入流量等で確認</td> <td data-bbox="1409 1161 2329 1245">高圧注入ポンプ容量：約280m³/h（1台当たり）</td> </tr> </table>	対応手段	1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 c. 再循環運転 (a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	<table border="1"> <tr> <th data-bbox="1409 930 1902 972">記載内容</th> <th data-bbox="1902 930 2329 972">解釈</th> </tr> <tr> <td data-bbox="1409 972 1902 1035">再循環運転するために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている</td> <td data-bbox="1902 972 2329 1035"> ・格納容器再循環サンプ水位（広域）：71%以上 ・燃料取替用水ビット水位：16.5%到達 </td> </tr> </table>	記載内容	解釈	再循環運転するために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている	・格納容器再循環サンプ水位（広域）：71%以上 ・燃料取替用水ビット水位：16.5%到達	操作手順 ②	高圧注入ポンプによる高圧再循環運転の系統構成	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(32)）」参照	操作手順 ④	高圧注入ポンプを起動	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(32)）」参照	操作手順 ④	原子炉へ注水されていることを高圧注入流量等で確認	高圧注入ポンプ容量：約280m ³ /h（1台当たり）	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1270 1293 1409 1373">対応手段</td> <td data-bbox="1409 1293 2329 1373"> 1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 d. 代替再循環運転 (a) B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1270 1373 1409 1478">判断基準</td> <td data-bbox="1409 1373 2329 1478"> <table border="1"> <tr> <th data-bbox="1409 1373 1902 1415">記載内容</th> <th data-bbox="1902 1373 2329 1415">解釈</th> </tr> <tr> <td data-bbox="1409 1415 1902 1478">代替再循環運転するために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている</td> <td data-bbox="1902 1415 2329 1478"> ・格納容器再循環サンプ水位（広域）：71%以上 ・燃料取替用水ビット水位：16.5%到達 </td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	対応手段	1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 d. 代替再循環運転 (a) B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	<table border="1"> <tr> <th data-bbox="1409 1373 1902 1415">記載内容</th> <th data-bbox="1902 1373 2329 1415">解釈</th> </tr> <tr> <td data-bbox="1409 1415 1902 1478">代替再循環運転するために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている</td> <td data-bbox="1902 1415 2329 1478"> ・格納容器再循環サンプ水位（広域）：71%以上 ・燃料取替用水ビット水位：16.5%到達 </td> </tr> </table>	記載内容	解釈	代替再循環運転するために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている	・格納容器再循環サンプ水位（広域）：71%以上 ・燃料取替用水ビット水位：16.5%到達	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1270 1526 1409 1606">対応手段</td> <td data-bbox="1409 1526 2329 1606"> 1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水） (a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1270 1606 1409 1711">判断基準</td> <td data-bbox="1409 1606 2329 1711"> <table border="1"> <tr> <th data-bbox="1409 1606 1902 1648">記載内容</th> <th data-bbox="1902 1606 2329 1648">解釈</th> </tr> <tr> <td data-bbox="1409 1648 1902 1711">蒸気発生器への注水に必要な補助給水ビット水位が確保されている</td> <td data-bbox="1902 1648 2329 1711">補助給水ビット水位：■%以上</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	対応手段	1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水） (a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1"> <tr> <th data-bbox="1409 1606 1902 1648">記載内容</th> <th data-bbox="1902 1606 2329 1648">解釈</th> </tr> <tr> <td data-bbox="1409 1648 1902 1711">蒸気発生器への注水に必要な補助給水ビット水位が確保されている</td> <td data-bbox="1902 1648 2329 1711">補助給水ビット水位：■%以上</td> </tr> </table>	記載内容	解釈	蒸気発生器への注水に必要な補助給水ビット水位が確保されている	補助給水ビット水位：■%以上
	対応手段	1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水 (b) B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水																																																				
	判断基準	<table border="1"> <tr> <th data-bbox="1409 464 1902 506">記載内容</th> <th data-bbox="1902 464 2329 506">解釈</th> </tr> <tr> <td data-bbox="1409 506 1902 569">原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ビット等の水位が確保されている</td> <td data-bbox="1902 506 2329 569">燃料取替用水ビット水位：■%以上</td> </tr> </table>	記載内容	解釈	原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ビット等の水位が確保されている	燃料取替用水ビット水位：■%以上																																																
	記載内容	解釈																																																				
	原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ビット等の水位が確保されている	燃料取替用水ビット水位：■%以上																																																				
	対応手段	1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水 (c) 代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水																																																				
	判断基準	<table border="1"> <tr> <th data-bbox="1409 697 1902 739">記載内容</th> <th data-bbox="1902 697 2329 739">解釈</th> </tr> <tr> <td data-bbox="1409 739 1902 802">原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ビット等の水位が確保されている</td> <td data-bbox="1902 739 2329 802">燃料取替用水ビット水位：■%以上</td> </tr> </table>	記載内容	解釈	原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ビット等の水位が確保されている	燃料取替用水ビット水位：■%以上																																																
	記載内容	解釈																																																				
	原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ビット等の水位が確保されている	燃料取替用水ビット水位：■%以上																																																				
対応手段	1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 c. 再循環運転 (a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転																																																					
判断基準	<table border="1"> <tr> <th data-bbox="1409 930 1902 972">記載内容</th> <th data-bbox="1902 930 2329 972">解釈</th> </tr> <tr> <td data-bbox="1409 972 1902 1035">再循環運転するために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている</td> <td data-bbox="1902 972 2329 1035"> ・格納容器再循環サンプ水位（広域）：71%以上 ・燃料取替用水ビット水位：16.5%到達 </td> </tr> </table>	記載内容	解釈	再循環運転するために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている	・格納容器再循環サンプ水位（広域）：71%以上 ・燃料取替用水ビット水位：16.5%到達																																																	
記載内容	解釈																																																					
再循環運転するために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている	・格納容器再循環サンプ水位（広域）：71%以上 ・燃料取替用水ビット水位：16.5%到達																																																					
操作手順 ②	高圧注入ポンプによる高圧再循環運転の系統構成	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(32)）」参照																																																				
操作手順 ④	高圧注入ポンプを起動	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.4.26-(32)）」参照																																																				
操作手順 ④	原子炉へ注水されていることを高圧注入流量等で確認	高圧注入ポンプ容量：約280m ³ /h（1台当たり）																																																				
対応手段	1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 d. 代替再循環運転 (a) B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転																																																					
判断基準	<table border="1"> <tr> <th data-bbox="1409 1373 1902 1415">記載内容</th> <th data-bbox="1902 1373 2329 1415">解釈</th> </tr> <tr> <td data-bbox="1409 1415 1902 1478">代替再循環運転するために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている</td> <td data-bbox="1902 1415 2329 1478"> ・格納容器再循環サンプ水位（広域）：71%以上 ・燃料取替用水ビット水位：16.5%到達 </td> </tr> </table>	記載内容	解釈	代替再循環運転するために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている	・格納容器再循環サンプ水位（広域）：71%以上 ・燃料取替用水ビット水位：16.5%到達																																																	
記載内容	解釈																																																					
代替再循環運転するために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている	・格納容器再循環サンプ水位（広域）：71%以上 ・燃料取替用水ビット水位：16.5%到達																																																					
対応手段	1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水） (a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水																																																					
判断基準	<table border="1"> <tr> <th data-bbox="1409 1606 1902 1648">記載内容</th> <th data-bbox="1902 1606 2329 1648">解釈</th> </tr> <tr> <td data-bbox="1409 1648 1902 1711">蒸気発生器への注水に必要な補助給水ビット水位が確保されている</td> <td data-bbox="1902 1648 2329 1711">補助給水ビット水位：■%以上</td> </tr> </table>	記載内容	解釈	蒸気発生器への注水に必要な補助給水ビット水位が確保されている	補助給水ビット水位：■%以上																																																	
記載内容	解釈																																																					
蒸気発生器への注水に必要な補助給水ビット水位が確保されている	補助給水ビット水位：■%以上																																																					
<div data-bbox="1617 1711 1724 1753" style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 36px; height: 20px;"></div> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

女川発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由																																																			
<div data-bbox="531 1003 863 1073" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div data-bbox="2190 310 2407 338" style="text-align: right;">添付資料 1.4.26-(9)</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">対応手段</td> <td colspan="2">1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 I. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出） (a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">記載内容</td> <td style="text-align: center;">解釈</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td>蒸気発生器への注水が確保されたことを補助給水流量等により確認</td> <td>補助給水流量：約150m³/h（蒸気発生器3基合計） ※有効性評価「ECCS注水機能喪失」時における補助給水ポンプ3台運転時の解析条件より引用 ※崩壊熱の低下等により、適宜補助給水流量を調整</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">対応手段</td> <td colspan="2">1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水 (a) 代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">記載内容</td> <td style="text-align: center;">解釈</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td>燃料取替用水ビット水位が確保されている</td> <td>燃料取替用水ビット水位：□%以上</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">対応手段</td> <td colspan="2">1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水 (c) B-充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">記載内容</td> <td style="text-align: center;">解釈</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td>原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ビット水位が確保されている</td> <td>燃料取替用水ビット水位：□%以上</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">対応手段</td> <td colspan="2">1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合 I. A-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">記載内容</td> <td style="text-align: center;">解釈</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車により補機冷却水が確保され</td> <td>・A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量：約□m³/h ・A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量：約□m³/h</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプ水位が確保されている</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位（広域）：71%以上 ・燃料取替用水ビット水位：16.5%到達</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">対応手段</td> <td colspan="2">1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失事象が発生した場合 i. A-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">記載内容</td> <td style="text-align: center;">解釈</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車により補機冷却水が確保され</td> <td>・A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量：約□m³/h ・A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量：約□m³/h</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプ水位が確保されている</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位（広域）：71%以上 ・燃料取替用水ビット水位：16.5%到達</td> </tr> </table> <div data-bbox="1596 1776 2332 1808" style="text-align: center; margin-top: 10px;"> □ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	対応手段	1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 I. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出） (a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出			記載内容	解釈	判断基準	蒸気発生器への注水が確保されたことを補助給水流量等により確認	補助給水流量：約150m ³ /h（蒸気発生器3基合計） ※有効性評価「ECCS注水機能喪失」時における補助給水ポンプ3台運転時の解析条件より引用 ※崩壊熱の低下等により、適宜補助給水流量を調整	対応手段	1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水 (a) 代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水			記載内容	解釈	判断基準	燃料取替用水ビット水位が確保されている	燃料取替用水ビット水位：□%以上	対応手段	1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水 (c) B-充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水			記載内容	解釈	判断基準	原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ビット水位が確保されている	燃料取替用水ビット水位：□%以上	対応手段	1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合 I. A-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転			記載内容	解釈	判断基準	可搬型大型送水ポンプ車により補機冷却水が確保され	・A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量：約□m ³ /h ・A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量：約□m ³ /h		高圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプ水位が確保されている	・格納容器再循環サンプ水位（広域）：71%以上 ・燃料取替用水ビット水位：16.5%到達	対応手段	1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失事象が発生した場合 i. A-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転			記載内容	解釈	判断基準	可搬型大型送水ポンプ車により補機冷却水が確保され	・A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量：約□m ³ /h ・A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量：約□m ³ /h		高圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプ水位が確保されている	・格納容器再循環サンプ水位（広域）：71%以上 ・燃料取替用水ビット水位：16.5%到達	
対応手段	1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 I. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出） (a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出																																																				
	記載内容	解釈																																																			
判断基準	蒸気発生器への注水が確保されたことを補助給水流量等により確認	補助給水流量：約150m ³ /h（蒸気発生器3基合計） ※有効性評価「ECCS注水機能喪失」時における補助給水ポンプ3台運転時の解析条件より引用 ※崩壊熱の低下等により、適宜補助給水流量を調整																																																			
対応手段	1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水 (a) 代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水																																																				
	記載内容	解釈																																																			
判断基準	燃料取替用水ビット水位が確保されている	燃料取替用水ビット水位：□%以上																																																			
対応手段	1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水 (c) B-充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水																																																				
	記載内容	解釈																																																			
判断基準	原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ビット水位が確保されている	燃料取替用水ビット水位：□%以上																																																			
対応手段	1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合 I. A-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転																																																				
	記載内容	解釈																																																			
判断基準	可搬型大型送水ポンプ車により補機冷却水が確保され	・A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量：約□m ³ /h ・A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量：約□m ³ /h																																																			
	高圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプ水位が確保されている	・格納容器再循環サンプ水位（広域）：71%以上 ・燃料取替用水ビット水位：16.5%到達																																																			
対応手段	1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失事象が発生した場合 i. A-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転																																																				
	記載内容	解釈																																																			
判断基準	可搬型大型送水ポンプ車により補機冷却水が確保され	・A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量：約□m ³ /h ・A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量：約□m ³ /h																																																			
	高圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプ水位が確保されている	・格納容器再循環サンプ水位（広域）：71%以上 ・燃料取替用水ビット水位：16.5%到達																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1. 4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

女川発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	差異理由																											
<div data-bbox="405 762 651 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1. 4. 26-(10)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">対応手段</td> <td colspan="2">1. 4. 2. 3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 c. 蒸気発生器 2 次側による炉心冷却（注水） (a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">記載内容</td> <td style="text-align: center;">解釈</td> </tr> <tr> <td>判断基準</td> <td>蒸気発生器へ注水するために必要な補助給水ピット水位が確保されている</td> <td>補助給水ピット水位 <input type="checkbox"/> %以上</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">対応手段</td> <td colspan="2">1. 4. 2. 3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 d. 蒸気発生器 2 次側による炉心冷却（蒸気放出） (a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">記載内容</td> <td style="text-align: center;">解釈</td> </tr> <tr> <td>判断基準</td> <td>蒸気発生器への注水が補助給水流量等により確保されたこと</td> <td>補助給水流量：約80m³/h（蒸気発生器3基合計） ※有効性評価「全交流動力電源喪失」の解除条件より引用 ※炉熱熱の低下等により、適宜補助給水流量を調整</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">対応手段</td> <td colspan="2">1. 4. 2. 3 運転停止中の場合 (3) 原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">記載内容</td> <td style="text-align: center;">解釈</td> </tr> <tr> <td>判断基準</td> <td>中性子源領域中性子束の上昇により S R が停止時中性子束高警報が発信</td> <td>停止時中性子束レベルの0.5デカード以上</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </p>	対応手段	1. 4. 2. 3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 c. 蒸気発生器 2 次側による炉心冷却（注水） (a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水			記載内容	解釈	判断基準	蒸気発生器へ注水するために必要な補助給水ピット水位が確保されている	補助給水ピット水位 <input type="checkbox"/> %以上	対応手段	1. 4. 2. 3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 d. 蒸気発生器 2 次側による炉心冷却（蒸気放出） (a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出			記載内容	解釈	判断基準	蒸気発生器への注水が補助給水流量等により確保されたこと	補助給水流量：約80m ³ /h（蒸気発生器3基合計） ※有効性評価「全交流動力電源喪失」の解除条件より引用 ※炉熱熱の低下等により、適宜補助給水流量を調整	対応手段	1. 4. 2. 3 運転停止中の場合 (3) 原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等			記載内容	解釈	判断基準	中性子源領域中性子束の上昇により S R が停止時中性子束高警報が発信	停止時中性子束レベルの0.5デカード以上	
対応手段	1. 4. 2. 3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 c. 蒸気発生器 2 次側による炉心冷却（注水） (a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水																												
	記載内容	解釈																											
判断基準	蒸気発生器へ注水するために必要な補助給水ピット水位が確保されている	補助給水ピット水位 <input type="checkbox"/> %以上																											
対応手段	1. 4. 2. 3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 d. 蒸気発生器 2 次側による炉心冷却（蒸気放出） (a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出																												
	記載内容	解釈																											
判断基準	蒸気発生器への注水が補助給水流量等により確保されたこと	補助給水流量：約80m ³ /h（蒸気発生器3基合計） ※有効性評価「全交流動力電源喪失」の解除条件より引用 ※炉熱熱の低下等により、適宜補助給水流量を調整																											
対応手段	1. 4. 2. 3 運転停止中の場合 (3) 原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等																												
	記載内容	解釈																											
判断基準	中性子源領域中性子束の上昇により S R が停止時中性子束高警報が発信	停止時中性子束レベルの0.5デカード以上																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

女川発電所 2号炉

3. 弁番号及び弁名称一覧 (1/2)

弁番号	弁名称	操作場所
P13-M0-F010	CRD 復水入口弁	中央制御室
P13-M0-F022	MWC サンプル取出し弁	中央制御室
P15-M0-F001	FMW ポンプ吸込弁	中央制御室
P13-M0-F070	T/B 緊急時隔離弁	中央制御室
P13-M0-F071	R/B B1F 緊急時隔離弁	中央制御室
P13-M0-F171	R/B 1F 緊急時隔離弁	中央制御室
P13-M0-F073	復水貯蔵タンク常用、非常用給水管連絡ライン止め弁	中央制御室
E11-M0-F004A	R/R A系 LPCI 注入隔離弁	中央制御室
E11-M0-F004B	R/R B系 LPCI 注入隔離弁	中央制御室
E11-M0-F004C	R/R C系 LPCI 注入隔離弁	中央制御室
E11-M0-F062A	R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁	中央制御室
E11-M0-F062B	R/R B系格納容器冷却ライン洗浄流量調整弁	中央制御室
E22-M0-F003	HPCS 注入隔離弁	原子炉建屋 地下1階 (原子炉建屋原子炉室内)
E71-M0-F002	DCLI ポンプ吸込弁	中央制御室
E71-M0-F007	DCLI 注入流量調整弁	中央制御室
P70-D001-4	原子炉・格納容器下部注水弁	屋外
P13-F172	緊急時原子炉北側外部注水入口弁	屋外
P13-F175	緊急時原子炉東側外部注水入口弁	屋外
E11-M0-F083	代替循環冷却ポンプバイパス弁	中央制御室
E11-M0-F082	代替循環冷却ポンプ流量調整弁	中央制御室
E11-M0-F080	代替循環冷却ポンプ吸込弁	中央制御室
E11-M0-F003A	R/R 熱交換器 (A) バイパス弁	中央制御室
P13-M0-F190	FW 系連絡第一弁	中央制御室
P13-M0-F191	FW 系連絡第二弁	中央制御室
E11-M0-F010A	R/R A系格納容器スプレイ隔離弁	中央制御室
E11-M0-F010B	R/R B系格納容器スプレイ隔離弁	中央制御室
E11-M0-F009A	R/R A系格納容器スプレイ流量調整弁	中央制御室
E11-M0-F009B	R/R B系格納容器スプレイ流量調整弁	中央制御室
E11-M0-F011A	R/R A系 S/C スプレイ隔離弁	中央制御室
E11-M0-F011B	R/R B系 S/C スプレイ隔離弁	中央制御室
E21-M0-F003	LPCS 注入隔離弁	中央制御室
E11-M0-F021	R/R ヘッドスプレイ注入隔離弁	中央制御室
G31-F001	CLW 入口ライン元弁	中央制御室
G31-M0-F024	CLW ボトムドレンライン元弁	中央制御室
G31-M0-F002	CLW 入口ライン第一隔離弁	中央制御室
G31-M0-F003	CLW 入口ライン第二隔離弁	中央制御室
G31-M0-F025	CLW ろ過塩化鉄装置バイパス弁	中央制御室
G31-A0-F032A	CLW ポンプ (A) バージライン止め弁	中央制御室
G31-A0-F032B	CLW ポンプ (B) バージライン止め弁	中央制御室
E11-M0-F001A	R/R ポンプ (A) S/C 吸込弁	中央制御室
E11-M0-F001B	R/R ポンプ (B) S/C 吸込弁	中央制御室
E11-M0-F024A	R/R ポンプ (A) ミニマムフロー弁	中央制御室
E11-M0-F024B	R/R ポンプ (B) ミニマムフロー弁	中央制御室
B32-M0-F002A	原子炉再循環ポンプ (A) 吐出弁	中央制御室
B32-M0-F002B	原子炉再循環ポンプ (B) 吐出弁	中央制御室
E11-M0-F015A	R/R A系停止時冷却吸込第一隔離弁	中央制御室
E11-M0-F015B	R/R B系停止時冷却吸込第一隔離弁	中央制御室
E11-M0-F016A	R/R A系停止時冷却吸込第二隔離弁	中央制御室
E11-M0-F016B	R/R B系停止時冷却吸込第二隔離弁	中央制御室

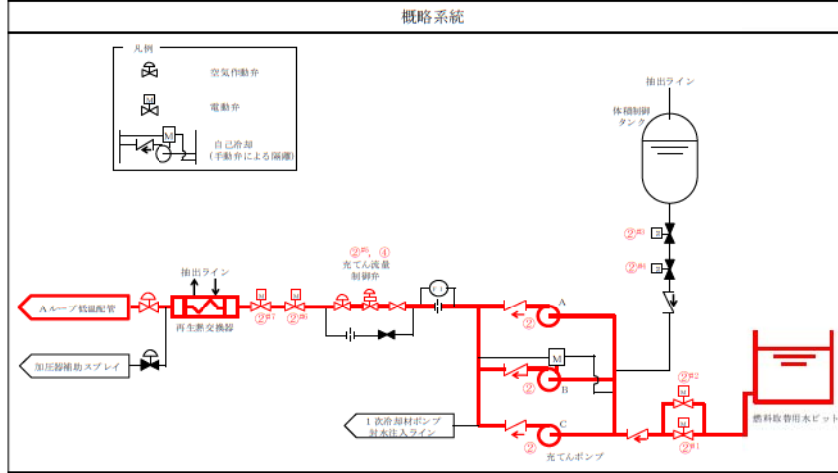
泊発電所 3号炉

差異理由

2. 操作対象機器一覧

対応手段	1.4.2.1 1 次冷却材喪失事象が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 炉心注水 (a) 充てんポンプによる炉心注水
------	--

添付資料 1. 4. 26-(11)



操作手順番号	操作内容	操作対象機器	状態の変化	操作場所	備考
②	充てんポンプ起動確認及び系統構成	A-充てんポンプ	起動確認	中央制御室	
②		H-充てんポンプ	起動確認	中央制御室	ラッチ台使用 交戻電源
②		C-充てんポンプ	起動確認	中央制御室	
② ¹⁾		充てんポンプ入口燃料管用水ビット投入口弁A	全閉→全開	中央制御室	交戻電源
② ²⁾		充てんポンプ入口燃料管用水ビット投入口弁B	全閉→全開	中央制御室	交戻電源
② ³⁾		体積制御タンク第1止め弁	全開→全閉	中央制御室	交戻電源
② ⁴⁾		体積制御タンク第2止め弁	全開→全閉	中央制御室	交戻電源
② ⁵⁾		充てんライン流量制御弁	調整開→全閉	中央制御室	制御用空気
② ⁶⁾		充てんラインC/V外側止め弁	全閉→全開	中央制御室	交戻電源
② ⁷⁾		充てんラインC/V外側隔離弁	全閉→全開	中央制御室	交戻電源
③	充てんライン流量制御弁	充てんライン流量制御弁	全閉→調整開	中央制御室	制御用空気

1 ~ : 同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

女川発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

差異理由

3. 弁番号及び弁名称一覧 (2/2)

弁番号	弁名称	操作場所
E11-M0-F017A	RHR ポンプ (A) 停止時冷却吸込弁	中央制御室
E11-M0-F017B	RHR ポンプ (B) 停止時冷却吸込弁	中央制御室
E11-M0-F018A	RHR A 系停止時冷却注入隔離弁	中央制御室
E11-M0-F018B	RHR B 系停止時冷却注入隔離弁	中央制御室
E11-M0-F008A	RHR 熱交換器 (A) 出口弁	中央制御室
E11-M0-F008B	RHR 熱交換器 (B) 出口弁	中央制御室

添付資料 1.4.26-(12)

1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合
 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等
 b. 代替炉心注水
 (e) B-格納容器スプレイポンプ (RHRB-CSSS連絡ライン使用) による代替炉心注水

概略系統

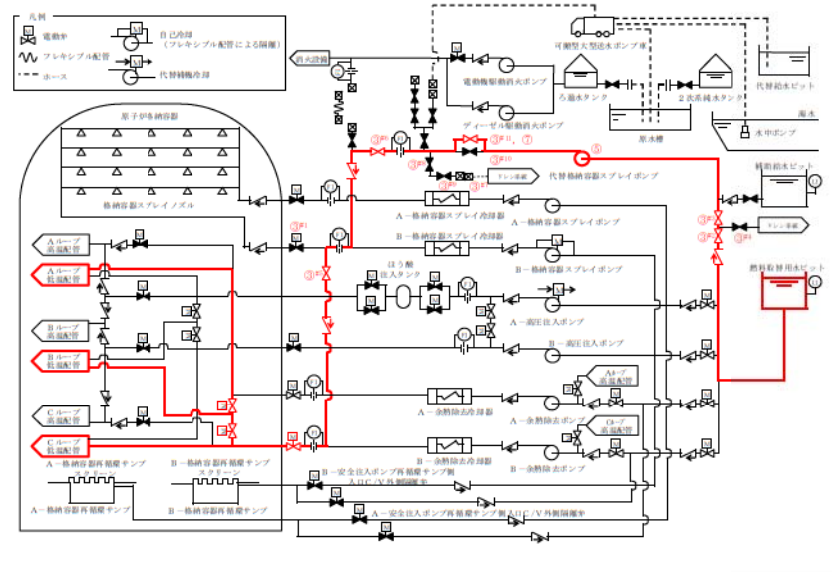
操作対象機器

操作手順番号	操作内容	操作対象機器	状態の変化	操作場所	備考
①	格納容器スプレイポンプ停止	B-格納容器スプレイポンプ	起動→停止	中央制御室	交換電源
②*	弁締結	B-格納容器スプレイ吸込側H/C/V弁締結	全閉確認	中央制御室	交換電源
③*		この系統圧力タンク注入Bライン弁締結	全閉→全開	中央制御室	交換電源
④	弁締結	この系統圧力タンク注入格納容器スプレイ水注入ライン弁締結 (※A対策)	全閉→全開	原子炉制御室7.10.2a付欄	
⑤	格納容器スプレイポンプ起動	B-格納容器スプレイポンプ	停止→起動	中央制御室	交換電源

#1 ~ : 同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

女川発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	差異理由																																																																																																
比較対象なし	<p style="text-align: right;">添付資料 1. 4. 26-(13)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>対応手段 1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水 (b) 代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水</p> </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">概略系統</div>  <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">操作対象機器</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>操作手順番号</th> <th>操作内容</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> <th>操作場所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ受電操作</td> <td>S A用代替電源受電（6-HG3 A）</td> <td>切→入</td> <td>原子炉補助建屋T.P.10.3a</td> <td>A自給受電の場合</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td>S A用代替電源受電（6-HG3 B）</td> <td>切→入</td> <td>原子炉補助建屋T.P.10.3a</td> <td>B自給受電の場合</td> </tr> <tr> <td>③^a</td> <td></td> <td>B-1格納容器スプレイポンプ常時出口C/V弁閉鎖操作</td> <td>全閉→全開</td> <td>中央制御室</td> <td>中央制御室</td> </tr> <tr> <td>③^b</td> <td></td> <td>代替格納容器スプレイポンプ入口弁1止め弁</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉建屋T.P.24.3a</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>③^c</td> <td></td> <td>代替格納容器スプレイポンプ入口弁2止め弁</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉建屋T.P.24.3a</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>③^d</td> <td></td> <td>A-1緊急注水ポンプ出口弁1止弁</td> <td>全閉→調整開→全開</td> <td>原子炉建屋T.P.24.3a</td> <td>系統水張り</td> </tr> <tr> <td>③^e</td> <td></td> <td>B-1全閉除去冷却器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁（S A対策）</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉補助建屋T.P.10.3a(4階)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>③^f</td> <td></td> <td>代替格納容器スプレイポンプ隔離ライン止め弁</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉補助建屋T.P.10.3a</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>③^g</td> <td></td> <td>止→ス投錠</td> <td>止→ス投錠</td> <td>原子炉建屋T.P.10.3a</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>③^h</td> <td></td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口弁1止弁</td> <td>全閉→調整開→全開</td> <td>原子炉建屋T.P.10.3a</td> <td>系統水張り</td> </tr> <tr> <td>③ⁱ</td> <td></td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口弁1止弁</td> <td>全閉→調整開→全開</td> <td>原子炉建屋T.P.10.3a</td> <td>系統水張り</td> </tr> <tr> <td>③^j</td> <td></td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用錠り弁</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉建屋T.P.10.3a</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>③^k</td> <td></td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用錠り弁</td> <td>全閉→調整開</td> <td>原子炉建屋T.P.10.3a</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ駆動</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> <td>原子炉建屋T.P.10.3a</td> <td>交代電源</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>注水流量調整</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用錠り弁</td> <td>調整開</td> <td>原子炉建屋T.P.10.3a</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p># 1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p>	操作手順番号	操作内容	操作対象機器	状態の変化	操作場所	備考	①	代替格納容器スプレイポンプ受電操作	S A用代替電源受電（6-HG3 A）	切→入	原子炉補助建屋T.P.10.3a	A自給受電の場合	②		S A用代替電源受電（6-HG3 B）	切→入	原子炉補助建屋T.P.10.3a	B自給受電の場合	③ ^a		B-1格納容器スプレイポンプ常時出口C/V弁閉鎖操作	全閉→全開	中央制御室	中央制御室	③ ^b		代替格納容器スプレイポンプ入口弁1止め弁	全閉→全開	原子炉建屋T.P.24.3a	—	③ ^c		代替格納容器スプレイポンプ入口弁2止め弁	全閉→全開	原子炉建屋T.P.24.3a	—	③ ^d		A-1緊急注水ポンプ出口弁1止弁	全閉→調整開→全開	原子炉建屋T.P.24.3a	系統水張り	③ ^e		B-1全閉除去冷却器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁（S A対策）	全閉→全開	原子炉補助建屋T.P.10.3a(4階)	—	③ ^f		代替格納容器スプレイポンプ隔離ライン止め弁	全閉→全開	原子炉補助建屋T.P.10.3a	—	③ ^g		止→ス投錠	止→ス投錠	原子炉建屋T.P.10.3a	—	③ ^h		代替格納容器スプレイポンプ出口弁1止弁	全閉→調整開→全開	原子炉建屋T.P.10.3a	系統水張り	③ ⁱ		代替格納容器スプレイポンプ出口弁1止弁	全閉→調整開→全開	原子炉建屋T.P.10.3a	系統水張り	③ ^j		代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用錠り弁	全閉→全開	原子炉建屋T.P.10.3a	—	③ ^k		代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用錠り弁	全閉→調整開	原子炉建屋T.P.10.3a	—	④	代替格納容器スプレイポンプ駆動	代替格納容器スプレイポンプ	停止→起動	原子炉建屋T.P.10.3a	交代電源	⑤	注水流量調整	代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用錠り弁	調整開	原子炉建屋T.P.10.3a	—	
操作手順番号	操作内容	操作対象機器	状態の変化	操作場所	備考																																																																																													
①	代替格納容器スプレイポンプ受電操作	S A用代替電源受電（6-HG3 A）	切→入	原子炉補助建屋T.P.10.3a	A自給受電の場合																																																																																													
②		S A用代替電源受電（6-HG3 B）	切→入	原子炉補助建屋T.P.10.3a	B自給受電の場合																																																																																													
③ ^a		B-1格納容器スプレイポンプ常時出口C/V弁閉鎖操作	全閉→全開	中央制御室	中央制御室																																																																																													
③ ^b		代替格納容器スプレイポンプ入口弁1止め弁	全閉→全開	原子炉建屋T.P.24.3a	—																																																																																													
③ ^c		代替格納容器スプレイポンプ入口弁2止め弁	全閉→全開	原子炉建屋T.P.24.3a	—																																																																																													
③ ^d		A-1緊急注水ポンプ出口弁1止弁	全閉→調整開→全開	原子炉建屋T.P.24.3a	系統水張り																																																																																													
③ ^e		B-1全閉除去冷却器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁（S A対策）	全閉→全開	原子炉補助建屋T.P.10.3a(4階)	—																																																																																													
③ ^f		代替格納容器スプレイポンプ隔離ライン止め弁	全閉→全開	原子炉補助建屋T.P.10.3a	—																																																																																													
③ ^g		止→ス投錠	止→ス投錠	原子炉建屋T.P.10.3a	—																																																																																													
③ ^h		代替格納容器スプレイポンプ出口弁1止弁	全閉→調整開→全開	原子炉建屋T.P.10.3a	系統水張り																																																																																													
③ ⁱ		代替格納容器スプレイポンプ出口弁1止弁	全閉→調整開→全開	原子炉建屋T.P.10.3a	系統水張り																																																																																													
③ ^j		代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用錠り弁	全閉→全開	原子炉建屋T.P.10.3a	—																																																																																													
③ ^k		代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用錠り弁	全閉→調整開	原子炉建屋T.P.10.3a	—																																																																																													
④	代替格納容器スプレイポンプ駆動	代替格納容器スプレイポンプ	停止→起動	原子炉建屋T.P.10.3a	交代電源																																																																																													
⑤	注水流量調整	代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用錠り弁	調整開	原子炉建屋T.P.10.3a	—																																																																																													

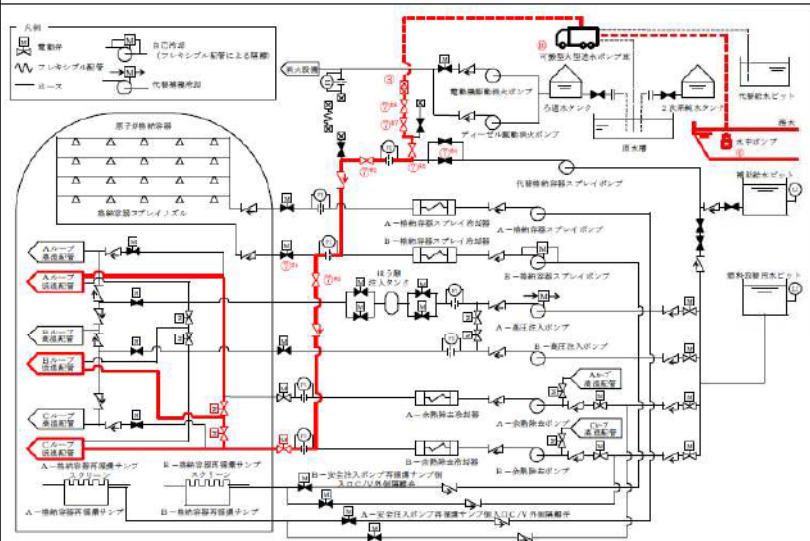
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

女川発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	差異理由																																				
<div data-bbox="398 762 654 817" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div data-bbox="1612 343 1780 367" style="text-align: right;">添付資料 1.4.26-(14)</div> <div data-bbox="985 383 1792 1252"> <p>1.4.2.1 1 次冷却材喪失事象が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替心注水 (b) 代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水 【代替格納容器スプレイポンプの注水先を格納容器から原子炉へ切替える場合の手順】</p> <p style="text-align: center;">概略系統</p> <p style="text-align: center;">操作対象機器</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>操作手順番号</th> <th>操作内容</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> <th>操作場所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>ロ→全熱除去液排出口格納容器スプレイ水投入ライン止弁の弁（3A対策）</td> <td></td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉建屋7F.10.164用</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>全熱除去ロラインC/V弁閉鎖操作</td> <td></td> <td>全閉→全開</td> <td>中央制御室</td> <td>交流電源</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口炉心注水開始</td> <td></td> <td>全閉→調整</td> <td>原子炉建屋7F.16.3a</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ開始</td> <td></td> <td>調整→全閉</td> <td>原子炉建屋7F.16.3a</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>ロ→全熱除去液排出口C/V弁閉鎖操作</td> <td></td> <td>全閉→全閉</td> <td>中央制御室</td> <td>交流電源</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> </div>	操作手順番号	操作内容	操作対象機器	状態の変化	操作場所	備考	①	ロ→全熱除去液排出口格納容器スプレイ水投入ライン止弁の弁（3A対策）		全閉→全開	原子炉建屋7F.10.164用	—	②	全熱除去ロラインC/V弁閉鎖操作		全閉→全開	中央制御室	交流電源	③	代替格納容器スプレイポンプ出口炉心注水開始		全閉→調整	原子炉建屋7F.16.3a	—	④	代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ開始		調整→全閉	原子炉建屋7F.16.3a	—	⑤	ロ→全熱除去液排出口C/V弁閉鎖操作		全閉→全閉	中央制御室	交流電源	
操作手順番号	操作内容	操作対象機器	状態の変化	操作場所	備考																																	
①	ロ→全熱除去液排出口格納容器スプレイ水投入ライン止弁の弁（3A対策）		全閉→全開	原子炉建屋7F.10.164用	—																																	
②	全熱除去ロラインC/V弁閉鎖操作		全閉→全開	中央制御室	交流電源																																	
③	代替格納容器スプレイポンプ出口炉心注水開始		全閉→調整	原子炉建屋7F.16.3a	—																																	
④	代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ開始		調整→全閉	原子炉建屋7F.16.3a	—																																	
⑤	ロ→全熱除去液排出口C/V弁閉鎖操作		全閉→全閉	中央制御室	交流電源																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

女川発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	差異理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
<p>比較対象なし</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.26-(15)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水 (d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水 (1/2)</p> <p style="text-align: center;">概略系統（東側接続口の場合）</p>  <p style="text-align: center;">操作対象機器（東側接続口の場合）</p> <table border="1" data-bbox="985 1021 1792 1228"> <thead> <tr> <th>操作手順番号</th> <th>操作内容</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> <th>操作場所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>海水倉管と接続</td> <td>ホース</td> <td>ホース接続</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>水中ポンプとホース接続</td> <td>ホース</td> <td>ホース接続</td> <td>階外</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>中央制御室</td> <td>中央制御室</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>⑨</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>⑩</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>⑪</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>⑫</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>⑬</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>⑭</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>⑮</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>⑯</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>⑰</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>⑱</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>⑲</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>⑳</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>㉑</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>㉒</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>㉓</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>㉔</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>㉕</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>㉖</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>㉗</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>㉘</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>㉙</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>㉚</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>㉛</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>㉜</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>㉝</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>㉞</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>㉟</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>㊱</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>㊲</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>㊳</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>㊴</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>㊵</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>㊶</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>㊷</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>㊸</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>㊹</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>㊺</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>㊻</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>㊼</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>㊽</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>㊾</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>㊿</td> <td></td> <td>D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉棟階 F. 10. 2a</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p># 1 ~ : 同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> </div>	操作手順番号	操作内容	操作対象機器	状態の変化	操作場所	備考	①	海水倉管と接続	ホース	ホース接続	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	②	水中ポンプとホース接続	ホース	ホース接続	階外	-	③		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	中央制御室	中央制御室	④		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	⑤		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	⑥		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	⑦		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	⑧		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	⑨		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	⑩		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	⑪		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	⑫		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	⑬		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	⑭		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	⑮		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	⑯		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	⑰		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	⑱		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	⑲		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	⑳		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	㉑		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	㉒		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	㉓		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	㉔		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	㉕		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	㉖		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	㉗		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	㉘		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	㉙		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	㉚		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	㉛		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	㉜		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	㉝		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	㉞		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	㉟		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	㊱		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	㊲		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	㊳		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	㊴		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	㊵		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	㊶		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	㊷		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	㊸		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	㊹		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	㊺		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	㊻		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	㊼		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	㊽		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	㊾		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-	㊿		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-
操作手順番号	操作内容	操作対象機器	状態の変化	操作場所	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
①	海水倉管と接続	ホース	ホース接続	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
②	水中ポンプとホース接続	ホース	ホース接続	階外	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
③		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	中央制御室	中央制御室																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
④		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑤		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑥		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑦		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑧		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑨		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑩		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑪		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑫		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑬		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑭		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑮		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑯		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑰		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑱		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑲		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑳		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
㉑		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
㉒		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
㉓		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
㉔		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
㉕		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
㉖		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
㉗		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
㉘		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
㉙		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
㉚		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
㉛		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
㉜		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
㉝		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
㉞		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
㉟		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
㊱		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
㊲		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
㊳		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
㊴		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
㊵		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
㊶		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
㊷		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
㊸		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
㊹		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
㊺		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
㊻		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
㊼		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
㊽		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
㊾		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
㊿		D-1冷却材送水ポンプ送水配管接続口を閉鎖	全閉→全開	原子炉棟階 F. 10. 2a	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

女川発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

差異理由

比較対象なし

添付資料 1.4.26-(16)

対応手段 1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合
 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等
 b. 代替炉心注水
 (d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水 (2/2)

概略系統（西側接続口の場合）

操作対象機器（西側接続口の場合）

操作手順番号	操作内容	操作対象機器	状態の変化	操作場所	備考
①	注水ポンプに電源供給	ボース	電源供給	原子炉建屋 P.30.1a	—
②	注水ポンプに電源供給	ボース	電源供給	建屋	—
③	注水確認	B-系統冷却剤スプレッドポンプの運転確認	全閉確認	中央制御室	点検確認
④		冷却剤スプレッドポンプの運転確認	全閉→全開	原子炉建屋 P.10.3a	—
⑤		B-系統冷却剤スプレッドポンプの運転確認	全閉→全開	原子炉建屋 P.11.3a(2)	—
⑥		冷却剤スプレッドポンプの運転確認	全閉→全開	原子炉建屋 P.13.3a	—
⑦		冷却剤スプレッドポンプの運転確認	全閉→全開	原子炉建屋 P.15.3a	—
⑧	可搬型大型送水ポンプの運転	可搬型大型送水ポンプ	停止→起動	建屋	—

※ 1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する旨があることを示す。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

女川発電所 2号炉

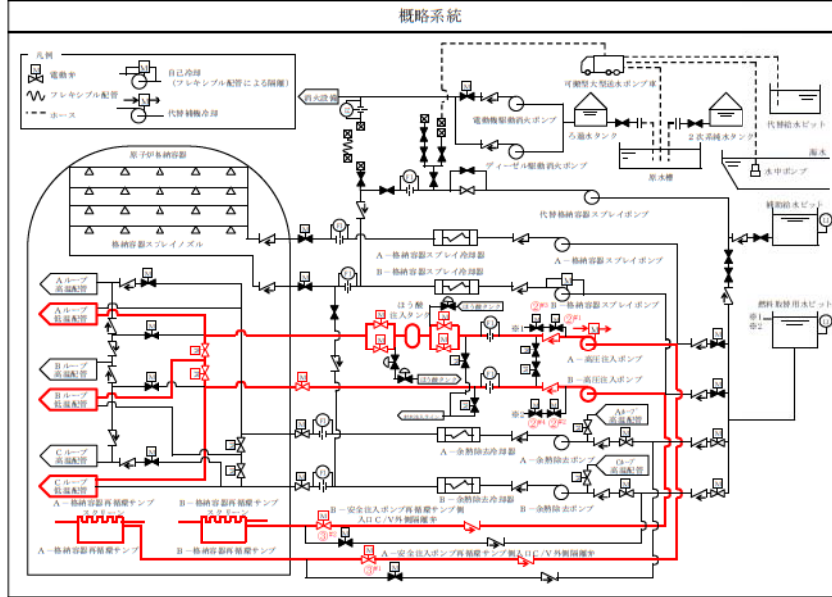
泊発電所 3号炉

差異理由

比較対象なし

対応手段 1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合
 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等
 c. 再循環運転
 (a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転

添付資料 1.4.26-(17)



操作対象機器

操作手順番号	操作内容	操作対象機器	状態の変化	操作場所	備考
② ¹	系統構成	A-高圧注入ポンプ 第1ミニフロー弁	全開確認	中央制御室	交流電源
② ²		B-高圧注入ポンプ 第1ミニフロー弁	全開確認	中央制御室	交流電源
② ³		A-高圧注入ポンプ 第2ミニフロー弁	全開確認	中央制御室	交流電源
② ⁴		B-高圧注入ポンプ 第2ミニフロー弁	全開確認	中央制御室	交流電源
② ⁵		A-安全注入ポンプ再循環弁挿入口C/V外側隔離弁	全開確認	中央制御室	交流電源
② ⁶		B-安全注入ポンプ再循環弁挿入口C/V外側隔離弁	全開確認	中央制御室	交流電源

1 ~ : 同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

女川発電所 2号炉

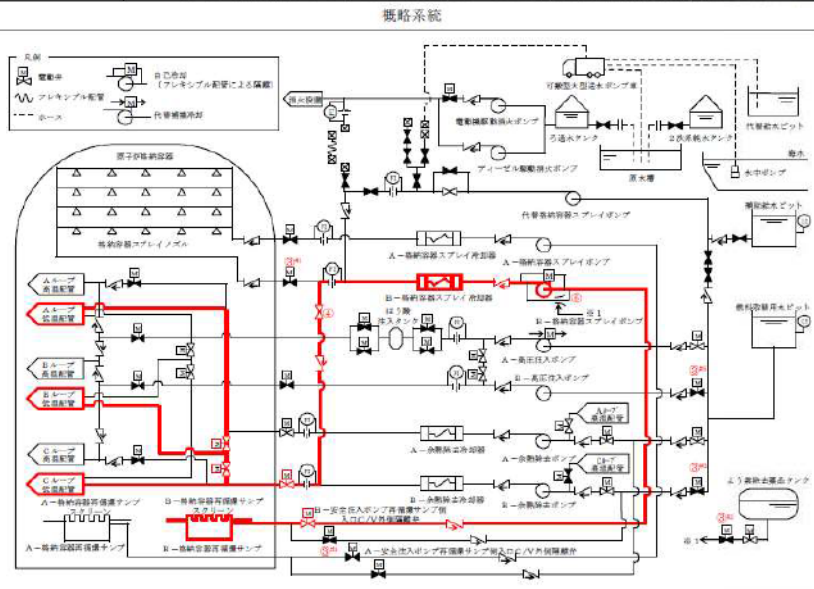
比較対象なし

泊発電所 3号炉

差異理由

対応手段 1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合
 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等
 d. 代替再循環運転
 (a) B-格納容器スプレイポンプ（RHR-S-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転

添付資料 1.4.26-(18)



操作対象機器

操作手順番号	操作内容	操作対象機器	状態の変化	操作場所	電源
①	D-格納容器スプレイ冷却線出口C/V内側開閉		全開→全閉	中央制御室	交変電源
②	どう漏除去薬品タンク投入口ライン止め作務		全開→全閉	中央制御室	交変電源
③	D-冷却停止ポンプBWSF投入		全閉確認	中央制御室	交変電源
④	D-冷却停止ポンプ内循環ポンプ投入		全開→全閉	中央制御室	交変電源
⑤	D-高圧注入ポンプ燃料取捨ポンプ投入		全閉確認	中央制御室	交変電源
⑥	B-冷却停止ポンプ出口格納容器スプレイ水投入ライン止め	(SA対策)	全開→全閉	原子炉建屋7F.10.2a中	-
⑦	B-格納容器スプレイポンプ		停止→起動	中央制御室	交変電源

#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

女川発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	差異理由
<div data-bbox="398 762 654 817" data-label="Text"> <p>比較対象なし</p> </div>	<div data-bbox="1612 226 1792 248" data-label="Text"> <p>添付資料 1.4.26-(19)</p> </div> <div data-bbox="981 268 1792 1343" data-label="Diagram"> <p>1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 d. 代替再循環運転 (b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の徴候が見られた場合の手順 (1/5)</p> <p>概略系統 (操作手順②、③、⑥)</p> </div>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

女川発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	差異理由																																																																																	
<div data-bbox="405 762 651 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.26-(20)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">対応手段</td> <td> 1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 d. 代替再循環運転 (b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の徴候が見られた場合の手順 (2/5) </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">操作対象機器(操作手順②、③、⑥)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作手順番号</td> <td style="text-align: center;">操作内容</td> <td style="text-align: center;">操作対象機器</td> <td style="text-align: center;">状態の変化</td> <td style="text-align: center;">操作場所</td> <td style="text-align: center;">備考</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>格納容器スプレイポンプ停止</td> <td>A-格納容器スプレイポンプ</td> <td>起動→停止</td> <td>中央制御室</td> <td>交代電線</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>ポンプ停止</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ</td> <td>起動→停止</td> <td>中央制御室</td> <td>交代電線</td> </tr> <tr> <td>③^ア</td> <td rowspan="3">主蒸気過熱器により炉心冷却</td> <td>A-主蒸気過熱器</td> <td>全閉→調整開</td> <td>中央制御室</td> <td>遠隔電線、制御用空気</td> </tr> <tr> <td>③^イ</td> <td>B-主蒸気過熱器</td> <td>全閉→調整開</td> <td>中央制御室</td> <td>遠隔電線、制御用空気</td> </tr> <tr> <td>③^ロ</td> <td>C-主蒸気過熱器</td> <td>全閉→調整開</td> <td>中央制御室</td> <td>遠隔電線、制御用空気</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>高圧注入ポンプ停止</td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> <td>起動→停止</td> <td>中央制御室</td> <td>交代電線</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td></td> <td>B-高圧注入ポンプ</td> <td>起動→停止</td> <td>中央制御室</td> <td>交代電線</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td rowspan="2">冷却除去ポンプ停止</td> <td>A-冷却除去ポンプ</td> <td>起動→停止</td> <td>中央制御室</td> <td rowspan="2">うち1台停止 交代電線</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>B-冷却除去ポンプ</td> <td>起動→停止</td> <td>中央制御室</td> </tr> <tr> <td>⑥^ア</td> <td rowspan="4">圧水流量調整</td> <td>A-冷却除去冷却器出口流量調整弁</td> <td>流量調整</td> <td>中央制御室</td> <td>A線使用時、制御用空気</td> </tr> <tr> <td>⑥^イ</td> <td>B-冷却除去冷却器出口流量調整弁</td> <td>流量調整</td> <td>中央制御室</td> <td>B線使用時、制御用空気</td> </tr> <tr> <td>⑥^ロ</td> <td>冷却除去Aライン流量調整弁</td> <td>流量調整</td> <td>中央制御室</td> <td>A線使用時、制御用空気</td> </tr> <tr> <td>⑥^ハ</td> <td>冷却除去Bライン流量調整弁</td> <td>流量調整</td> <td>中央制御室</td> <td>B線使用時、制御用空気</td> </tr> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p>	対応手段	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 d. 代替再循環運転 (b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の徴候が見られた場合の手順 (2/5)	操作対象機器(操作手順②、③、⑥)		操作手順番号	操作内容	操作対象機器	状態の変化	操作場所	備考	②	格納容器スプレイポンプ停止	A-格納容器スプレイポンプ	起動→停止	中央制御室	交代電線	②	ポンプ停止	B-格納容器スプレイポンプ	起動→停止	中央制御室	交代電線	③ ^ア	主蒸気過熱器により炉心冷却	A-主蒸気過熱器	全閉→調整開	中央制御室	遠隔電線、制御用空気	③ ^イ	B-主蒸気過熱器	全閉→調整開	中央制御室	遠隔電線、制御用空気	③ ^ロ	C-主蒸気過熱器	全閉→調整開	中央制御室	遠隔電線、制御用空気	⑥	高圧注入ポンプ停止	A-高圧注入ポンプ	起動→停止	中央制御室	交代電線	⑥		B-高圧注入ポンプ	起動→停止	中央制御室	交代電線	⑥	冷却除去ポンプ停止	A-冷却除去ポンプ	起動→停止	中央制御室	うち1台停止 交代電線	⑥	B-冷却除去ポンプ	起動→停止	中央制御室	⑥ ^ア	圧水流量調整	A-冷却除去冷却器出口流量調整弁	流量調整	中央制御室	A線使用時、制御用空気	⑥ ^イ	B-冷却除去冷却器出口流量調整弁	流量調整	中央制御室	B線使用時、制御用空気	⑥ ^ロ	冷却除去Aライン流量調整弁	流量調整	中央制御室	A線使用時、制御用空気	⑥ ^ハ	冷却除去Bライン流量調整弁	流量調整	中央制御室	B線使用時、制御用空気	
対応手段	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 d. 代替再循環運転 (b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の徴候が見られた場合の手順 (2/5)																																																																																		
操作対象機器(操作手順②、③、⑥)																																																																																			
操作手順番号	操作内容	操作対象機器	状態の変化	操作場所	備考																																																																														
②	格納容器スプレイポンプ停止	A-格納容器スプレイポンプ	起動→停止	中央制御室	交代電線																																																																														
②	ポンプ停止	B-格納容器スプレイポンプ	起動→停止	中央制御室	交代電線																																																																														
③ ^ア	主蒸気過熱器により炉心冷却	A-主蒸気過熱器	全閉→調整開	中央制御室	遠隔電線、制御用空気																																																																														
③ ^イ		B-主蒸気過熱器	全閉→調整開	中央制御室	遠隔電線、制御用空気																																																																														
③ ^ロ		C-主蒸気過熱器	全閉→調整開	中央制御室	遠隔電線、制御用空気																																																																														
⑥	高圧注入ポンプ停止	A-高圧注入ポンプ	起動→停止	中央制御室	交代電線																																																																														
⑥		B-高圧注入ポンプ	起動→停止	中央制御室	交代電線																																																																														
⑥	冷却除去ポンプ停止	A-冷却除去ポンプ	起動→停止	中央制御室	うち1台停止 交代電線																																																																														
⑥		B-冷却除去ポンプ	起動→停止	中央制御室																																																																															
⑥ ^ア	圧水流量調整	A-冷却除去冷却器出口流量調整弁	流量調整	中央制御室	A線使用時、制御用空気																																																																														
⑥ ^イ		B-冷却除去冷却器出口流量調整弁	流量調整	中央制御室	B線使用時、制御用空気																																																																														
⑥ ^ロ		冷却除去Aライン流量調整弁	流量調整	中央制御室	A線使用時、制御用空気																																																																														
⑥ ^ハ		冷却除去Bライン流量調整弁	流量調整	中央制御室	B線使用時、制御用空気																																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

女川発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

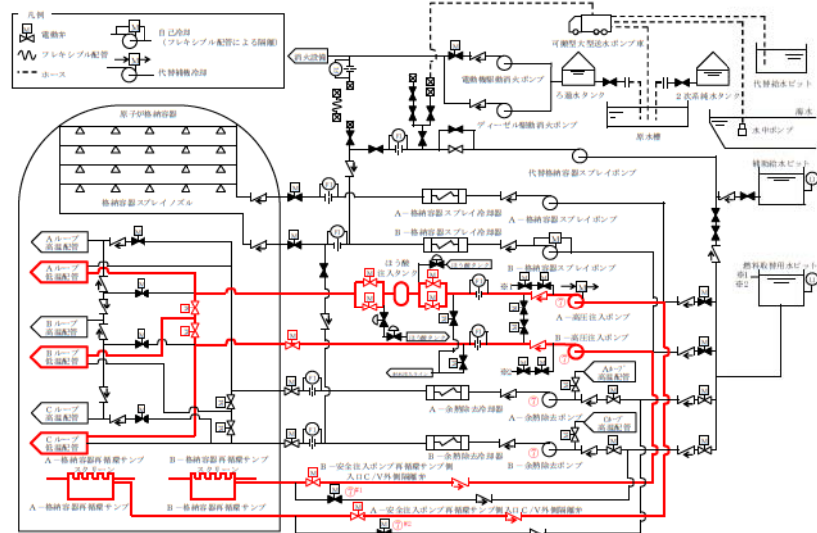
差異理由

比較対象なし

添付資料 1. 4. 26-(21)

対応手段 1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合
 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等
 d. 代替再循環運転
 (b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の徴候が見られた場合の手順（3/5）

概略系統（操作手順⑦）



操作対象機器（操作手順⑦）

操作手順番号	操作内容	操作対象機器	状態の変化	操作場所	備考
⑦	余熱除去ポンプ停止	A-余熱除去ポンプ	起動→停止	中央制御室	A系使用時、交流電源
⑦	停止	B-余熱除去ポンプ	起動→停止	中央制御室	B系使用時、交流電源
⑦ ¹⁾	系統構成	A-余熱除去ポンプ再循環サンプ転入口弁	全開→全閉	中央制御室	交流電源
⑦ ²⁾		B-余熱除去ポンプ再循環サンプ転入口弁	全開→全閉	中央制御室	交流電源
⑦ ³⁾	高圧注入ポンプ起動	A-高圧注入ポンプ	停止→起動	中央制御室	うち1台使用
⑦	起動	B-高圧注入ポンプ	停止→起動	中央制御室	交流電源

#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

女川発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	差異理由																																																		
<div data-bbox="398 762 654 817" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div data-bbox="1624 300 1792 322" style="text-align: right;">添付資料 1.4.26-(22)</div> <div data-bbox="974 343 1803 1268"> <p>対応手段 1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 d. 代替再循環運転 (b) 格納容器再循環サブスクリーン閉塞の徴候が見られた場合の手順 (4/5)</p> <p style="text-align: center;">概略系統 (操作手順⑧)</p> <p style="text-align: center;">操作対象機器 (操作手順⑧)</p> <table border="1" data-bbox="981 1061 1787 1236"> <thead> <tr> <th>操作手順番号</th> <th>操作内容</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> <th>操作場所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑧</td> <td>高圧注入ポンプ 停止</td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> <td>起動→停止</td> <td>中央制御室</td> <td>A系使用時、交代電源</td> </tr> <tr> <td>⑨</td> <td>停止</td> <td>B-高圧注入ポンプ</td> <td>起動→停止</td> <td>中央制御室</td> <td>B系使用時、交代電源</td> </tr> <tr> <td>⑩</td> <td rowspan="4">系統構成</td> <td>A-安全注入ポンプ再循環サブスクリーン入口C/V外部隔離弁</td> <td>全開→全閉</td> <td>中央制御室</td> <td>交代電源</td> </tr> <tr> <td>⑪</td> <td>B-安全注入ポンプ再循環サブスクリーン入口C/V外部隔離弁</td> <td>全開→全閉</td> <td>中央制御室</td> <td>交代電源</td> </tr> <tr> <td>⑫</td> <td>A-高圧注入ポンプ燃料冷却管使用水ビッド投入口弁</td> <td>全開→全閉</td> <td>中央制御室</td> <td>A系使用時、交代電源</td> </tr> <tr> <td>⑬</td> <td>B-高圧注入ポンプ燃料冷却管使用水ビッド投入口弁</td> <td>全開→全閉</td> <td>中央制御室</td> <td>B系使用時、交代電源</td> </tr> <tr> <td>⑭</td> <td rowspan="2">高圧注入ポンプ 起動</td> <td>A-安全注入ポンプ再循環サブスクリーン入口C/V外部隔離弁</td> <td>全閉→全開</td> <td>中央制御室</td> <td>A系使用時、交代電源</td> </tr> <tr> <td>⑮</td> <td>B-安全注入ポンプ再循環サブスクリーン入口C/V外部隔離弁</td> <td>全閉→全開</td> <td>中央制御室</td> <td>B系使用時、交代電源</td> </tr> </tbody> </table> <p># 1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> </div>	操作手順番号	操作内容	操作対象機器	状態の変化	操作場所	備考	⑧	高圧注入ポンプ 停止	A-高圧注入ポンプ	起動→停止	中央制御室	A系使用時、交代電源	⑨	停止	B-高圧注入ポンプ	起動→停止	中央制御室	B系使用時、交代電源	⑩	系統構成	A-安全注入ポンプ再循環サブスクリーン入口C/V外部隔離弁	全開→全閉	中央制御室	交代電源	⑪	B-安全注入ポンプ再循環サブスクリーン入口C/V外部隔離弁	全開→全閉	中央制御室	交代電源	⑫	A-高圧注入ポンプ燃料冷却管使用水ビッド投入口弁	全開→全閉	中央制御室	A系使用時、交代電源	⑬	B-高圧注入ポンプ燃料冷却管使用水ビッド投入口弁	全開→全閉	中央制御室	B系使用時、交代電源	⑭	高圧注入ポンプ 起動	A-安全注入ポンプ再循環サブスクリーン入口C/V外部隔離弁	全閉→全開	中央制御室	A系使用時、交代電源	⑮	B-安全注入ポンプ再循環サブスクリーン入口C/V外部隔離弁	全閉→全開	中央制御室	B系使用時、交代電源	
操作手順番号	操作内容	操作対象機器	状態の変化	操作場所	備考																																															
⑧	高圧注入ポンプ 停止	A-高圧注入ポンプ	起動→停止	中央制御室	A系使用時、交代電源																																															
⑨	停止	B-高圧注入ポンプ	起動→停止	中央制御室	B系使用時、交代電源																																															
⑩	系統構成	A-安全注入ポンプ再循環サブスクリーン入口C/V外部隔離弁	全開→全閉	中央制御室	交代電源																																															
⑪		B-安全注入ポンプ再循環サブスクリーン入口C/V外部隔離弁	全開→全閉	中央制御室	交代電源																																															
⑫		A-高圧注入ポンプ燃料冷却管使用水ビッド投入口弁	全開→全閉	中央制御室	A系使用時、交代電源																																															
⑬		B-高圧注入ポンプ燃料冷却管使用水ビッド投入口弁	全開→全閉	中央制御室	B系使用時、交代電源																																															
⑭	高圧注入ポンプ 起動	A-安全注入ポンプ再循環サブスクリーン入口C/V外部隔離弁	全閉→全開	中央制御室	A系使用時、交代電源																																															
⑮		B-安全注入ポンプ再循環サブスクリーン入口C/V外部隔離弁	全閉→全開	中央制御室	B系使用時、交代電源																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

女川発電所 2号炉

比較対象なし

泊発電所 3号炉

差異理由

添付資料 1.4.26-(23)

1.4.2.1 1 次冷却材喪失事象が発生している場合
 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等
 d. 代替再循環運転
 (b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の徴候が見られた場合の手順（5/5）

概略系統（操作手順⑨、⑩）

操作対象機器（操作手順⑨、⑩）

操作手順番号	操作内容	操作対象機器	状態の変化	操作場所	備考
⑨ ^A	系統構成	定てんポンプ入口燃料島警用水ビット投入口A	全閉確認	中央制御室	交流電源
⑨ ^B		定てんポンプ入口燃料島警用水ビット投入口B	全閉確認	中央制御室	交流電源
⑨ ^C		体積膨張タンク出口緊急止め弁	全閉確認	中央制御室	交流電源
⑨ ^D		体積膨張タンク出口緊急止め弁	全閉確認	中央制御室	交流電源
⑨ ^E		定てんライン流量制御弁	調整値へ全開	中央制御室	制御用空気
⑨ ^F		定てんラインC/V外側緊急止め弁	全開へ全開	中央制御室	交流電源
⑨ ^G		定てんラインC/V外側緊急止め弁	全開へ全開	中央制御室	交流電源
⑨ ^H		定てんライン流量制御弁	調整値へ全開	中央制御室	制御用空気
⑨ ^I		定てんライン流量制御弁	調整値へ全開	中央制御室	交流電源
⑨ ^J		定てんライン流量制御弁	調整値へ全開	中央制御室	交流電源
⑩	燃料島警用水ビットを水銀とするすべてのポンプを停止	A-定てんポンプ	起動へ停止	中央制御室	交流電源
⑩		B-定てんポンプ	起動へ停止	中央制御室	交流電源
⑩		C-定てんポンプ	起動へ停止	中央制御室	交流電源
⑩		A-高圧注入ポンプ	起動へ停止	中央制御室	交流電源
⑩		B-高圧注入ポンプ	起動へ停止	中央制御室	交流電源
⑩		A-余熱除去ポンプ	起動へ停止	中央制御室	交流電源
⑩		B-余熱除去ポンプ	起動へ停止	中央制御室	交流電源

1 ~ : 同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

女川発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

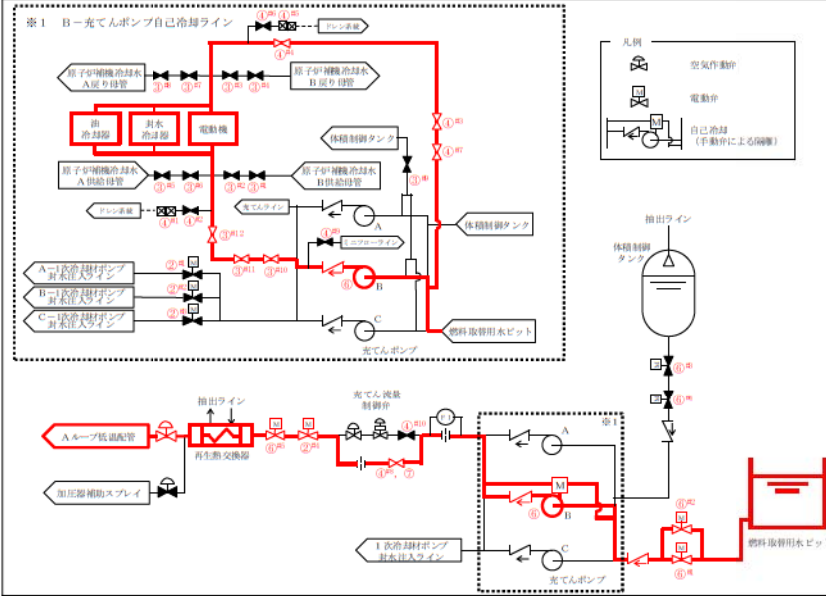
差異理由

添付資料 1.4.26-(24)

対応手段

- 1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合
 (2) サポート系機能喪失時の手順等
 a. 代替炉心注水
 (b) B-充電ポンプ（自己冷却）による代替炉心注水（1/2）

概略系統



操作対象機器

操作手順番号	操作内容	操作対象機器	状態の変化	操作場所	備考
② ²¹	系統構成	A-1次冷却材ポンプ対水注入ラインC/V外側閉鎖	全閉→全閉	中央制御室	交流電源
② ²²		B-1次冷却材ポンプ対水注入ラインC/V外側閉鎖	全閉→全閉	中央制御室	交流電源
② ²³		C-1次冷却材ポンプ対水注入ラインC/V外側閉鎖	全閉→全閉	中央制御室	交流電源
② ²⁴		充電ポンプC/V外側止め	全閉→全閉	中央制御室	交流電源
② ²⁵		B-充電ポンプ、電動機補機冷却水B供給ライン第1切替	全閉→全閉	原子炉補助建屋T.P.10.3a	-
② ²⁶		B-充電ポンプ、電動機補機冷却水B供給ライン第2切替	全閉→全閉	原子炉補助建屋T.P.10.3a	-
② ²⁷		B-充電ポンプ、電動機補機冷却水B戻りライン第1切替	全閉→全閉	原子炉補助建屋T.P.10.3a	-
② ²⁸		B-充電ポンプ、電動機補機冷却水B戻りライン第2切替	全閉→全閉	原子炉補助建屋T.P.10.3a	-
② ²⁹		B-充電ポンプ、電動機補機冷却水A供給ライン第1切替	全閉確認	原子炉補助建屋T.P.10.3a	-
② ³⁰		B-充電ポンプ、電動機補機冷却水A供給ライン第2切替	全閉確認	原子炉補助建屋T.P.10.3a	-
② ³¹		B-充電ポンプ、電動機補機冷却水A戻りライン第1切替	全閉確認	原子炉補助建屋T.P.10.3a	-
② ³²		B-充電ポンプ、電動機補機冷却水A戻りライン第2切替	全閉確認	原子炉補助建屋T.P.10.3a	-
② ³³		充電ポンプ入口ベントライン止め	全閉→全閉	原子炉補助建屋T.P.10.3a中閉	-
② ³⁴		B-充電ポンプ自冷供給ライン切り	全閉→全閉	原子炉補助建屋T.P.10.3a中閉	-

次頁へつづく

比較対象なし

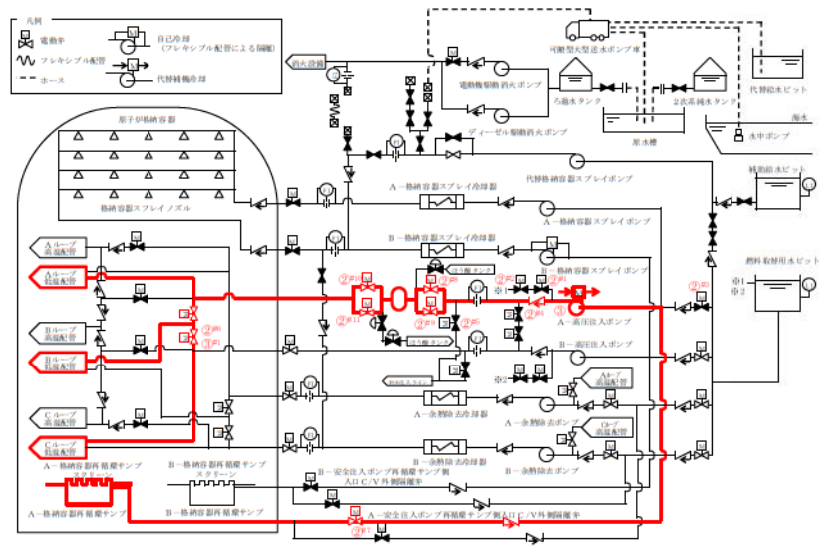
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

女川発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	差異理由																																																																																																																				
比較対象なし	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.26-(25)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">対応手段</td> <td> 1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水 (b) B-充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水（2/2） </td> </tr> <tr> <td>操作手順番号</td> <td>操作内容</td> <td>操作対象機器</td> <td>装置の位置</td> <td>操作場所</td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td>①¹⁾</td> <td>B-充てんポンプ自弁水供給ライン止め弁（SA対策）</td> <td>全閉—全開</td> <td>原子炉補助施設F.10.3a中室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>②¹⁾</td> <td>B-充てんポンプ自弁水入口弁（SA対策）</td> <td>全閉—全開</td> <td>原子炉補助施設F.10.3a中室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>③¹⁾</td> <td>ホース</td> <td>ホース接続</td> <td>原子炉補助施設F.10.3a中室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>④¹⁾</td> <td>B-充てんポンプ自弁水入口バルブ弁（SA対策）</td> <td>全閉—設置前—全開</td> <td>原子炉補助施設F.10.3a中室</td> <td>系統水塔内</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>⑤¹⁾</td> <td>B-充てんポンプ自弁水戻りライン第2止め弁（SA対策）</td> <td>全閉—全開</td> <td>原子炉補助施設F.10.3a中室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>⑥¹⁾</td> <td>ホース</td> <td>ホース接続</td> <td>原子炉補助施設F.10.3a中室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>⑦¹⁾</td> <td>B-充てんポンプ自弁水出口ラインバルブ弁（SA対策）</td> <td>全閉—設置前—全開</td> <td>原子炉補助施設F.10.3a中室</td> <td>系統水塔内</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>⑧¹⁾</td> <td>B-充てんポンプ自弁水戻りライン第1止め弁（SA対策）</td> <td>全閉—全開</td> <td>原子炉補助施設F.10.3a中室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>⑨¹⁾</td> <td>定てんライン流量制御弁第2バイパスライン取り弁（SA対策）</td> <td>全閉—設置前</td> <td>原子炉補助施設F.10.3a中室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>⑩¹⁾</td> <td>B-充てんポンプミキサーライン止め弁</td> <td>全閉—全開</td> <td>原子炉補助施設F.10.3a中室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>⑪¹⁾</td> <td>定てんライン流量制御弁前弁</td> <td>全閉—全開</td> <td>原子炉補助施設F.10.3a中室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>⑫¹⁾</td> <td>B-充てんポンプ入口燃焼制御用バルブ1組入口弁A</td> <td>全閉—全開</td> <td>中央制御室</td> <td>中央制御室</td> <td>中央制御室</td> </tr> <tr> <td>⑬¹⁾</td> <td>B-充てんポンプ入口燃焼制御用バルブ1組入口弁B</td> <td>全閉—全開</td> <td>中央制御室</td> <td>中央制御室</td> <td>中央制御室</td> </tr> <tr> <td>⑭¹⁾</td> <td>燃焼制御タンク出口第1止め弁</td> <td>全閉—全開</td> <td>中央制御室</td> <td>中央制御室</td> <td>中央制御室</td> </tr> <tr> <td>⑮¹⁾</td> <td>燃焼制御タンク出口第2止め弁</td> <td>全閉—全開</td> <td>中央制御室</td> <td>中央制御室</td> <td>中央制御室</td> </tr> <tr> <td>⑯¹⁾</td> <td>定てんラインバルブ1組隔離弁</td> <td>全閉—全開</td> <td>中央制御室</td> <td>中央制御室</td> <td>中央制御室</td> </tr> <tr> <td>⑰¹⁾</td> <td>B-充てんポンプ</td> <td>停止—起動</td> <td>中央制御室</td> <td>中央制御室</td> <td>中央制御室</td> </tr> <tr> <td>⑱¹⁾</td> <td>定てんライン流量制御弁第2バイパスライン取り弁（SA対策）</td> <td>流量調整</td> <td>原子炉補助施設F.10.3a中室</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p># 1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p>	対応手段	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水 (b) B-充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水（2/2）	操作手順番号	操作内容	操作対象機器	装置の位置	操作場所	備考	① ¹⁾	B-充てんポンプ自弁水供給ライン止め弁（SA対策）	全閉—全開	原子炉補助施設F.10.3a中室	—	—	② ¹⁾	B-充てんポンプ自弁水入口弁（SA対策）	全閉—全開	原子炉補助施設F.10.3a中室	—	—	③ ¹⁾	ホース	ホース接続	原子炉補助施設F.10.3a中室	—	—	④ ¹⁾	B-充てんポンプ自弁水入口バルブ弁（SA対策）	全閉—設置前—全開	原子炉補助施設F.10.3a中室	系統水塔内	—	⑤ ¹⁾	B-充てんポンプ自弁水戻りライン第2止め弁（SA対策）	全閉—全開	原子炉補助施設F.10.3a中室	—	—	⑥ ¹⁾	ホース	ホース接続	原子炉補助施設F.10.3a中室	—	—	⑦ ¹⁾	B-充てんポンプ自弁水出口ラインバルブ弁（SA対策）	全閉—設置前—全開	原子炉補助施設F.10.3a中室	系統水塔内	—	⑧ ¹⁾	B-充てんポンプ自弁水戻りライン第1止め弁（SA対策）	全閉—全開	原子炉補助施設F.10.3a中室	—	—	⑨ ¹⁾	定てんライン流量制御弁第2バイパスライン取り弁（SA対策）	全閉—設置前	原子炉補助施設F.10.3a中室	—	—	⑩ ¹⁾	B-充てんポンプミキサーライン止め弁	全閉—全開	原子炉補助施設F.10.3a中室	—	—	⑪ ¹⁾	定てんライン流量制御弁前弁	全閉—全開	原子炉補助施設F.10.3a中室	—	—	⑫ ¹⁾	B-充てんポンプ入口燃焼制御用バルブ1組入口弁A	全閉—全開	中央制御室	中央制御室	中央制御室	⑬ ¹⁾	B-充てんポンプ入口燃焼制御用バルブ1組入口弁B	全閉—全開	中央制御室	中央制御室	中央制御室	⑭ ¹⁾	燃焼制御タンク出口第1止め弁	全閉—全開	中央制御室	中央制御室	中央制御室	⑮ ¹⁾	燃焼制御タンク出口第2止め弁	全閉—全開	中央制御室	中央制御室	中央制御室	⑯ ¹⁾	定てんラインバルブ1組隔離弁	全閉—全開	中央制御室	中央制御室	中央制御室	⑰ ¹⁾	B-充てんポンプ	停止—起動	中央制御室	中央制御室	中央制御室	⑱ ¹⁾	定てんライン流量制御弁第2バイパスライン取り弁（SA対策）	流量調整	原子炉補助施設F.10.3a中室	—	—	
対応手段	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水 (b) B-充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水（2/2）																																																																																																																					
操作手順番号	操作内容	操作対象機器	装置の位置	操作場所	備考																																																																																																																	
① ¹⁾	B-充てんポンプ自弁水供給ライン止め弁（SA対策）	全閉—全開	原子炉補助施設F.10.3a中室	—	—																																																																																																																	
② ¹⁾	B-充てんポンプ自弁水入口弁（SA対策）	全閉—全開	原子炉補助施設F.10.3a中室	—	—																																																																																																																	
③ ¹⁾	ホース	ホース接続	原子炉補助施設F.10.3a中室	—	—																																																																																																																	
④ ¹⁾	B-充てんポンプ自弁水入口バルブ弁（SA対策）	全閉—設置前—全開	原子炉補助施設F.10.3a中室	系統水塔内	—																																																																																																																	
⑤ ¹⁾	B-充てんポンプ自弁水戻りライン第2止め弁（SA対策）	全閉—全開	原子炉補助施設F.10.3a中室	—	—																																																																																																																	
⑥ ¹⁾	ホース	ホース接続	原子炉補助施設F.10.3a中室	—	—																																																																																																																	
⑦ ¹⁾	B-充てんポンプ自弁水出口ラインバルブ弁（SA対策）	全閉—設置前—全開	原子炉補助施設F.10.3a中室	系統水塔内	—																																																																																																																	
⑧ ¹⁾	B-充てんポンプ自弁水戻りライン第1止め弁（SA対策）	全閉—全開	原子炉補助施設F.10.3a中室	—	—																																																																																																																	
⑨ ¹⁾	定てんライン流量制御弁第2バイパスライン取り弁（SA対策）	全閉—設置前	原子炉補助施設F.10.3a中室	—	—																																																																																																																	
⑩ ¹⁾	B-充てんポンプミキサーライン止め弁	全閉—全開	原子炉補助施設F.10.3a中室	—	—																																																																																																																	
⑪ ¹⁾	定てんライン流量制御弁前弁	全閉—全開	原子炉補助施設F.10.3a中室	—	—																																																																																																																	
⑫ ¹⁾	B-充てんポンプ入口燃焼制御用バルブ1組入口弁A	全閉—全開	中央制御室	中央制御室	中央制御室																																																																																																																	
⑬ ¹⁾	B-充てんポンプ入口燃焼制御用バルブ1組入口弁B	全閉—全開	中央制御室	中央制御室	中央制御室																																																																																																																	
⑭ ¹⁾	燃焼制御タンク出口第1止め弁	全閉—全開	中央制御室	中央制御室	中央制御室																																																																																																																	
⑮ ¹⁾	燃焼制御タンク出口第2止め弁	全閉—全開	中央制御室	中央制御室	中央制御室																																																																																																																	
⑯ ¹⁾	定てんラインバルブ1組隔離弁	全閉—全開	中央制御室	中央制御室	中央制御室																																																																																																																	
⑰ ¹⁾	B-充てんポンプ	停止—起動	中央制御室	中央制御室	中央制御室																																																																																																																	
⑱ ¹⁾	定てんライン流量制御弁第2バイパスライン取り弁（SA対策）	流量調整	原子炉補助施設F.10.3a中室	—	—																																																																																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

女川発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	差異理由																																																																									
比較対象なし	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.26-(26)</p> <p>1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合 i. A-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</p> <p style="text-align: center;">概略系統</p>  <p style="text-align: center;">操作対象機器</p> <table border="1" data-bbox="974 1029 1803 1268"> <thead> <tr> <th>操作手順番号</th> <th>操作内容</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> <th>操作場所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②²¹</td> <td rowspan="14">系統構成</td> <td>A-高圧注入ポンプ第1ミニフロー弁</td> <td>全閉→全開</td> <td>中央制御室</td> <td>交流電動</td> </tr> <tr> <td>②²²</td> <td>A-高圧注入ポンプ第2ミニフロー弁</td> <td>全閉→全開</td> <td>中央制御室</td> <td>交流電動</td> </tr> <tr> <td>②²³</td> <td>A-高圧注入ポンプ燃料取替用水ビット挿入口弁</td> <td>全閉→全開</td> <td>中央制御室</td> <td>交流電動</td> </tr> <tr> <td>②²⁴</td> <td>A-高圧注入ポンプ出口C/V内機連絡弁</td> <td>全閉→全開</td> <td>中央制御室</td> <td>交流電動</td> </tr> <tr> <td>②²⁵</td> <td>A-高圧注入ポンプ封水ライン止め弁</td> <td>全閉→全開</td> <td>中央制御室</td> <td>交流電動</td> </tr> <tr> <td>②²⁶</td> <td>B-高圧注入ポンプ出口C/V内機連絡弁</td> <td>全閉→全開</td> <td>中央制御室</td> <td>交流電動</td> </tr> <tr> <td>②²⁷</td> <td>A-安全注入ポンプ再循環サンプリング入口C/V内機連絡弁</td> <td>全閉→全開</td> <td>中央制御室</td> <td>交流電動</td> </tr> <tr> <td>②²⁸</td> <td>ほう酸注入タンク入口弁A</td> <td>全閉→全開</td> <td>中央制御室</td> <td>交流電動</td> </tr> <tr> <td>②²⁹</td> <td>ほう酸注入タンク入口弁B</td> <td>全閉→全開</td> <td>中央制御室</td> <td>交流電動</td> </tr> <tr> <td>②³⁰</td> <td>ほう酸注入タンク出口C/V内機連絡弁A</td> <td>全閉→全開</td> <td>中央制御室</td> <td>交流電動</td> </tr> <tr> <td>②³¹</td> <td>ほう酸注入タンク出口C/V内機連絡弁B</td> <td>全閉→全開</td> <td>中央制御室</td> <td>交流電動</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td rowspan="2">高圧注入ポンプ 起動</td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> <td>停止→起動</td> <td>中央制御室</td> <td>交流電動</td> </tr> <tr> <td>③²</td> <td>B-高圧注入ポンプ出口C/V内機連絡弁</td> <td>全閉→全開</td> <td>中央制御室</td> <td>交流電動</td> </tr> </tbody> </table> <p># 1 ~ : 同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p>	操作手順番号	操作内容	操作対象機器	状態の変化	操作場所	備考	② ²¹	系統構成	A-高圧注入ポンプ第1ミニフロー弁	全閉→全開	中央制御室	交流電動	② ²²	A-高圧注入ポンプ第2ミニフロー弁	全閉→全開	中央制御室	交流電動	② ²³	A-高圧注入ポンプ燃料取替用水ビット挿入口弁	全閉→全開	中央制御室	交流電動	② ²⁴	A-高圧注入ポンプ出口C/V内機連絡弁	全閉→全開	中央制御室	交流電動	② ²⁵	A-高圧注入ポンプ封水ライン止め弁	全閉→全開	中央制御室	交流電動	② ²⁶	B-高圧注入ポンプ出口C/V内機連絡弁	全閉→全開	中央制御室	交流電動	② ²⁷	A-安全注入ポンプ再循環サンプリング入口C/V内機連絡弁	全閉→全開	中央制御室	交流電動	② ²⁸	ほう酸注入タンク入口弁A	全閉→全開	中央制御室	交流電動	② ²⁹	ほう酸注入タンク入口弁B	全閉→全開	中央制御室	交流電動	② ³⁰	ほう酸注入タンク出口C/V内機連絡弁A	全閉→全開	中央制御室	交流電動	② ³¹	ほう酸注入タンク出口C/V内機連絡弁B	全閉→全開	中央制御室	交流電動	③	高圧注入ポンプ 起動	A-高圧注入ポンプ	停止→起動	中央制御室	交流電動	③ ²	B-高圧注入ポンプ出口C/V内機連絡弁	全閉→全開	中央制御室	交流電動	
操作手順番号	操作内容	操作対象機器	状態の変化	操作場所	備考																																																																						
② ²¹	系統構成	A-高圧注入ポンプ第1ミニフロー弁	全閉→全開	中央制御室	交流電動																																																																						
② ²²		A-高圧注入ポンプ第2ミニフロー弁	全閉→全開	中央制御室	交流電動																																																																						
② ²³		A-高圧注入ポンプ燃料取替用水ビット挿入口弁	全閉→全開	中央制御室	交流電動																																																																						
② ²⁴		A-高圧注入ポンプ出口C/V内機連絡弁	全閉→全開	中央制御室	交流電動																																																																						
② ²⁵		A-高圧注入ポンプ封水ライン止め弁	全閉→全開	中央制御室	交流電動																																																																						
② ²⁶		B-高圧注入ポンプ出口C/V内機連絡弁	全閉→全開	中央制御室	交流電動																																																																						
② ²⁷		A-安全注入ポンプ再循環サンプリング入口C/V内機連絡弁	全閉→全開	中央制御室	交流電動																																																																						
② ²⁸		ほう酸注入タンク入口弁A	全閉→全開	中央制御室	交流電動																																																																						
② ²⁹		ほう酸注入タンク入口弁B	全閉→全開	中央制御室	交流電動																																																																						
② ³⁰		ほう酸注入タンク出口C/V内機連絡弁A	全閉→全開	中央制御室	交流電動																																																																						
② ³¹		ほう酸注入タンク出口C/V内機連絡弁B	全閉→全開	中央制御室	交流電動																																																																						
③		高圧注入ポンプ 起動	A-高圧注入ポンプ	停止→起動	中央制御室	交流電動																																																																					
③ ²			B-高圧注入ポンプ出口C/V内機連絡弁	全閉→全開	中央制御室	交流電動																																																																					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

女川発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由																		
<div data-bbox="400 762 651 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div data-bbox="1644 395 1816 419" style="text-align: right;">添付資料 1.4.26-(27)</div> <div data-bbox="965 443 1816 1153"> <p>対応手段 1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (3) 溶融デブリが原子炉容器に残存する場合の冷却手順等</p> <p style="text-align: center;">概略系統</p> <p style="text-align: center;">操作対象機器</p> <table border="1" data-bbox="965 1061 1816 1117"> <thead> <tr> <th>操作手順番号</th> <th>操作内容</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> <th>操作場所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①¹⁾</td> <td>加圧器逃がし弁開操作</td> <td>A-加圧器逃がし弁</td> <td>全閉→全開</td> <td>中央制御室</td> <td>うち1台使用</td> </tr> <tr> <td>②²⁾</td> <td>加圧器逃がし弁開操作</td> <td>B-加圧器逃がし弁</td> <td>全閉→全開</td> <td>中央制御室</td> <td>直流電源、制御用空気</td> </tr> </tbody> </table> <p># 1 ~ : 同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> </div>	操作手順番号	操作内容	操作対象機器	状態の変化	操作場所	備考	① ¹⁾	加圧器逃がし弁開操作	A-加圧器逃がし弁	全閉→全開	中央制御室	うち1台使用	② ²⁾	加圧器逃がし弁開操作	B-加圧器逃がし弁	全閉→全開	中央制御室	直流電源、制御用空気	
操作手順番号	操作内容	操作対象機器	状態の変化	操作場所	備考															
① ¹⁾	加圧器逃がし弁開操作	A-加圧器逃がし弁	全閉→全開	中央制御室	うち1台使用															
② ²⁾	加圧器逃がし弁開操作	B-加圧器逃がし弁	全閉→全開	中央制御室	直流電源、制御用空気															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

女川発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

差異理由

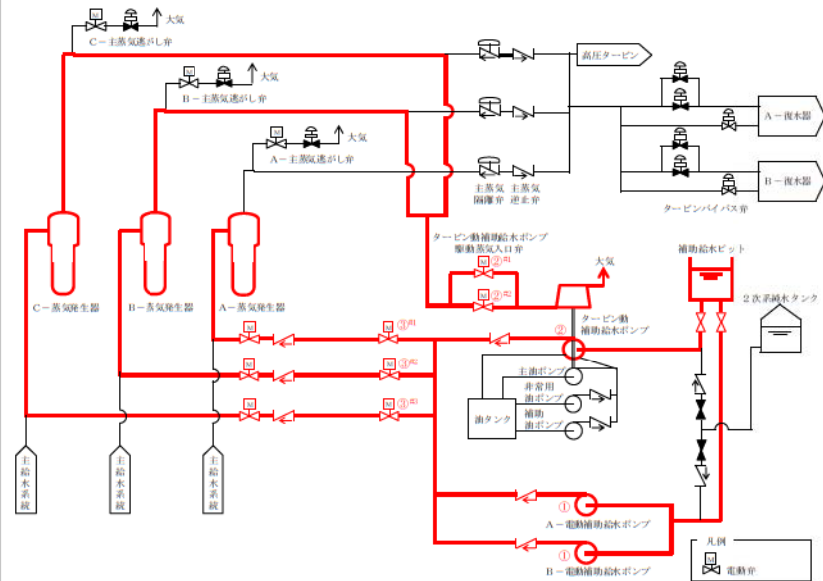
比較対象なし

添付資料 1. 4. 26-(28)

対応手段

- 1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合
 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等
 a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）
 (a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水

概略系統



操作対象機器

操作順序 [※]	操作内容	操作対象機器	状態の変化	操作場所	備考
①	電動補助給水ポンプ起動	A-電動補助給水ポンプ	停止→起動	中央制御室	交流電源
②		B-電動補助給水ポンプ	停止→起動	中央制御室	交流電源
② ^{#1}		タービン動補助給水ポンプ 駆動蒸気入口弁A	全閉→全開	中央制御室	直流電源
② ^{#2}	タービン動補助給水ポンプ起動	タービン動補助給水ポンプ 駆動蒸気入口弁B	全閉→全開	中央制御室	直流電源
②		タービン動補助給水ポンプ	停止→起動	中央制御室	—
③ ^{#1}	蒸気発生器水位測定	A-補助給水ポンプ出口 流量調整弁	測定	中央制御室	直流電源
③ ^{#2}		B-補助給水ポンプ出口 流量調整弁	測定	中央制御室	直流電源
③ ^{#3}		C-補助給水ポンプ出口 流量調整弁	測定	中央制御室	直流電源

※ 本手順は、「中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する」手順であることから操作順序を示す。

#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

女川発電所2号炉

泊発電所3号炉

差異理由

比較対象なし

添付資料 1.4.26-(29)

対応手段 1.4.2.2 1 次冷却材喪失事象が発生していない場合
 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等
 b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）
 (a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出

概略系統

操作対象機器

操作番号*	操作内容	操作対象機器	状態の変化	操作場所	備考
① ¹⁾	A-主蒸気逃がし弁 全開		全閉→全開	中央制御室	遠隔電線、制御用空圧
② ¹⁾	主蒸気逃がし弁 全開	B-主蒸気逃がし弁	全閉→全開	中央制御室	遠隔電線、制御用空圧
③ ¹⁾		C-主蒸気逃がし弁	全閉→全開	中央制御室	遠隔電線、制御用空圧

※ 本手順は、「中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する」手順であることから操作順序を示す。
 # 1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

女川発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

差異理由

比較対象なし

添付資料 1.4.26-(30)

1.4.2.3 運転停止中の場合
 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等
 a. 炉心注水
 (a) 充てんポンプによる炉心注水

概略系統

操作対象機器

操作手順番号	操作内容	操作対象機器	状態の遷化	操作箇所	備考
① ¹⁾	充てんポンプ入口燃料取替用ホビット側入口弁A		全閉→全開	中央制御室	交流電源
② ¹⁾	充てんポンプ入口燃料取替用ホビット側入口弁B		全閉→全開	中央制御室	交流電源
③ ¹⁾	体積調整タンク出口第1止め弁		全開→全閉	中央制御室	交流電源
④ ¹⁾	体積調整タンク出口第2止め弁		全開→全閉	中央制御室	交流電源
⑤ ¹⁾	充てんライン流量制御弁		調整弁→全閉	中央制御室	制御用交流
⑥ ¹⁾	充てんラインC/V外側止め弁		全開→全閉	中央制御室	交流電源
⑦ ¹⁾	充てんラインC/V内側隔離弁		全開→全閉	中央制御室	交流電源
⑧	A-充てんポンプ		停止→起動	中央制御室	うち1台使用 交流電源
⑨	B-充てんポンプ		停止→起動	中央制御室	
⑩	C-充てんポンプ		停止→起動	中央制御室	
⑪ ¹⁾	充てんライン流量制御弁		全閉→調整弁	中央制御室	制御用交流

1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する必要があることを示す。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

女川発電所 2号炉

比較対象なし

泊発電所 3号炉

差異理由

添付資料 1.4.26-(31)

対応手段 1.4.2.3 運転停止中の場合
 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等
 a. 炉心注水
 (b) 高圧注入ポンプによる炉心注水

概略系統

操作対象機器

操作手順番号	操作内容	操作対象機器	状態の変化	操作場所	備考
② ¹⁾	2号炉注入タンク隔離サイン入口止め弁		全開→全開	中央制御室	直流電源、制御用空気
② ²⁾	2号炉注入タンク隔離サイン出口第1止め弁		全開→全開	中央制御室	直流電源、制御用空気
② ³⁾	2号炉注入タンク隔離サイン出口第2止め弁		全開→全開	中央制御室	直流電源、制御用空気
② ⁴⁾	2号炉注入タンク入口弁A		全開→全開	中央制御室	交流電源
② ⁵⁾	2号炉注入タンク入口弁B		全開→全開	中央制御室	交流電源
② ⁶⁾	2号炉注入タンク出口C/V外側隔離弁A		全開→全開	中央制御室	交流電源
② ⁷⁾	2号炉注入タンク出口C/V外側隔離弁B		全開→全開	中央制御室	交流電源
③	高圧注入ポンプ	A-高圧注入ポンプ	停止→起動	中央制御室	うち1台使用
④		B-高圧注入ポンプ	停止→起動	中央制御室	交流電源

1 ~ : 同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

女川発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	差異理由																																																																																																												
<div data-bbox="398 762 654 817" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div data-bbox="1624 258 1796 280" style="text-align: right;">添付資料 1.4.26-(32)</div> <div data-bbox="981 300 1796 1311"> <p>1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 c. 再循環運転 (a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</p> <p style="text-align: center;">概略系統</p> <p style="text-align: center;">操作対象機器</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>操作手順番号</th> <th>操作内容</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> <th>操作場所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②¹⁵</td> <td>ほう動注入タンク循環ライン入口止め弁</td> <td></td> <td>全開→全閉</td> <td>中央制御室</td> <td>遠隔電源、制御用空気</td> </tr> <tr> <td>②¹⁶</td> <td>ほう動注入タンク循環ライン出口第1止め弁</td> <td></td> <td>全開→全閉</td> <td>中央制御室</td> <td>遠隔電源、制御用空気</td> </tr> <tr> <td>②¹⁷</td> <td>ほう動注入タンク循環ライン出口第2止め弁</td> <td></td> <td>全開→全閉</td> <td>中央制御室</td> <td>遠隔電源、制御用空気</td> </tr> <tr> <td>②¹⁸</td> <td>A-高圧注入ポンプ燃料送給用本ビット個人口弁</td> <td></td> <td>全開→全閉</td> <td>中央制御室</td> <td>A系使用時、交流電源</td> </tr> <tr> <td>②¹⁹</td> <td>B-高圧注入ポンプ燃料送給用本ビット個人口弁</td> <td></td> <td>全開→全閉</td> <td>中央制御室</td> <td>B系使用時、交流電源</td> </tr> <tr> <td>②²⁰</td> <td>A-高圧注入ポンプ第1ミニフロー弁</td> <td></td> <td>全開→全閉</td> <td>中央制御室</td> <td>A系使用時、交流電源</td> </tr> <tr> <td>②²¹</td> <td>B-高圧注入ポンプ第1ミニフロー弁</td> <td></td> <td>全開→全閉</td> <td>中央制御室</td> <td>B系使用時、交流電源</td> </tr> <tr> <td>②²²</td> <td>A-高圧注入ポンプ第2ミニフロー弁</td> <td></td> <td>全開→全閉</td> <td>中央制御室</td> <td>A系使用時、交流電源</td> </tr> <tr> <td>②²³</td> <td>B-高圧注入ポンプ第2ミニフロー弁</td> <td></td> <td>全開→全閉</td> <td>中央制御室</td> <td>B系使用時、交流電源</td> </tr> <tr> <td>②²⁴</td> <td>A-安全注入ポンプ再循環サブ個人口C/V外側隔離弁</td> <td></td> <td>全開→全閉</td> <td>中央制御室</td> <td>A系使用時、交流電源</td> </tr> <tr> <td>②²⁵</td> <td>B-安全注入ポンプ再循環サブ個人口C/V外側隔離弁</td> <td></td> <td>全開→全閉</td> <td>中央制御室</td> <td>B系使用時、交流電源</td> </tr> <tr> <td>②²⁶</td> <td>ほう動注入タンク入口弁A</td> <td></td> <td>全開→全閉</td> <td>中央制御室</td> <td>A系使用時、交流電源</td> </tr> <tr> <td>②²⁷</td> <td>ほう動注入タンク入口弁B</td> <td></td> <td>全開→全閉</td> <td>中央制御室</td> <td>B系使用時、交流電源</td> </tr> <tr> <td>②²⁸</td> <td>ほう動注入タンク出口C/V外側隔離弁A</td> <td></td> <td>全開→全閉</td> <td>中央制御室</td> <td>A系使用時、交流電源</td> </tr> <tr> <td>②²⁹</td> <td>ほう動注入タンク出口C/V外側隔離弁B</td> <td></td> <td>全開→全閉</td> <td>中央制御室</td> <td>B系使用時、交流電源</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>高圧注入ポンプ 駆動</td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> <td>停止→起動</td> <td>中央制御室</td> <td>A系使用時、交流電源</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td></td> <td>B-高圧注入ポンプ</td> <td>停止→起動</td> <td>中央制御室</td> <td>B系使用時、交流電源</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> </div>	操作手順番号	操作内容	操作対象機器	状態の変化	操作場所	備考	② ¹⁵	ほう動注入タンク循環ライン入口止め弁		全開→全閉	中央制御室	遠隔電源、制御用空気	② ¹⁶	ほう動注入タンク循環ライン出口第1止め弁		全開→全閉	中央制御室	遠隔電源、制御用空気	② ¹⁷	ほう動注入タンク循環ライン出口第2止め弁		全開→全閉	中央制御室	遠隔電源、制御用空気	② ¹⁸	A-高圧注入ポンプ燃料送給用本ビット個人口弁		全開→全閉	中央制御室	A系使用時、交流電源	② ¹⁹	B-高圧注入ポンプ燃料送給用本ビット個人口弁		全開→全閉	中央制御室	B系使用時、交流電源	② ²⁰	A-高圧注入ポンプ第1ミニフロー弁		全開→全閉	中央制御室	A系使用時、交流電源	② ²¹	B-高圧注入ポンプ第1ミニフロー弁		全開→全閉	中央制御室	B系使用時、交流電源	② ²²	A-高圧注入ポンプ第2ミニフロー弁		全開→全閉	中央制御室	A系使用時、交流電源	② ²³	B-高圧注入ポンプ第2ミニフロー弁		全開→全閉	中央制御室	B系使用時、交流電源	② ²⁴	A-安全注入ポンプ再循環サブ個人口C/V外側隔離弁		全開→全閉	中央制御室	A系使用時、交流電源	② ²⁵	B-安全注入ポンプ再循環サブ個人口C/V外側隔離弁		全開→全閉	中央制御室	B系使用時、交流電源	② ²⁶	ほう動注入タンク入口弁A		全開→全閉	中央制御室	A系使用時、交流電源	② ²⁷	ほう動注入タンク入口弁B		全開→全閉	中央制御室	B系使用時、交流電源	② ²⁸	ほう動注入タンク出口C/V外側隔離弁A		全開→全閉	中央制御室	A系使用時、交流電源	② ²⁹	ほう動注入タンク出口C/V外側隔離弁B		全開→全閉	中央制御室	B系使用時、交流電源	③	高圧注入ポンプ 駆動	A-高圧注入ポンプ	停止→起動	中央制御室	A系使用時、交流電源	④		B-高圧注入ポンプ	停止→起動	中央制御室	B系使用時、交流電源	
操作手順番号	操作内容	操作対象機器	状態の変化	操作場所	備考																																																																																																									
② ¹⁵	ほう動注入タンク循環ライン入口止め弁		全開→全閉	中央制御室	遠隔電源、制御用空気																																																																																																									
② ¹⁶	ほう動注入タンク循環ライン出口第1止め弁		全開→全閉	中央制御室	遠隔電源、制御用空気																																																																																																									
② ¹⁷	ほう動注入タンク循環ライン出口第2止め弁		全開→全閉	中央制御室	遠隔電源、制御用空気																																																																																																									
② ¹⁸	A-高圧注入ポンプ燃料送給用本ビット個人口弁		全開→全閉	中央制御室	A系使用時、交流電源																																																																																																									
② ¹⁹	B-高圧注入ポンプ燃料送給用本ビット個人口弁		全開→全閉	中央制御室	B系使用時、交流電源																																																																																																									
② ²⁰	A-高圧注入ポンプ第1ミニフロー弁		全開→全閉	中央制御室	A系使用時、交流電源																																																																																																									
② ²¹	B-高圧注入ポンプ第1ミニフロー弁		全開→全閉	中央制御室	B系使用時、交流電源																																																																																																									
② ²²	A-高圧注入ポンプ第2ミニフロー弁		全開→全閉	中央制御室	A系使用時、交流電源																																																																																																									
② ²³	B-高圧注入ポンプ第2ミニフロー弁		全開→全閉	中央制御室	B系使用時、交流電源																																																																																																									
② ²⁴	A-安全注入ポンプ再循環サブ個人口C/V外側隔離弁		全開→全閉	中央制御室	A系使用時、交流電源																																																																																																									
② ²⁵	B-安全注入ポンプ再循環サブ個人口C/V外側隔離弁		全開→全閉	中央制御室	B系使用時、交流電源																																																																																																									
② ²⁶	ほう動注入タンク入口弁A		全開→全閉	中央制御室	A系使用時、交流電源																																																																																																									
② ²⁷	ほう動注入タンク入口弁B		全開→全閉	中央制御室	B系使用時、交流電源																																																																																																									
② ²⁸	ほう動注入タンク出口C/V外側隔離弁A		全開→全閉	中央制御室	A系使用時、交流電源																																																																																																									
② ²⁹	ほう動注入タンク出口C/V外側隔離弁B		全開→全閉	中央制御室	B系使用時、交流電源																																																																																																									
③	高圧注入ポンプ 駆動	A-高圧注入ポンプ	停止→起動	中央制御室	A系使用時、交流電源																																																																																																									
④		B-高圧注入ポンプ	停止→起動	中央制御室	B系使用時、交流電源																																																																																																									

泊発電所3号炉 審査取りまとめ資料 比較対象プラントの選定について

本資料は、泊発電所3号炉（以降、「泊3号炉」という。）のプラント側審査において地震・津波側審査の進捗を待つ期間があったことを踏まえた、審査取りまとめ資料（以降、「まとめ資料」という。）の比較対象プラントの選定について整理を行うものである。

- 整理を行う経緯は、以下の通り
 - 泊3号炉のプラント側審査が地震・津波側審査の進捗待ちとなった期間において、他社プラントの新規制基準適合性審査が実施され、まとめ資料の充実が図られた。
 - 泊3号炉が、まとめ資料一式を提出した2017年3月時点での新規制基準適合性審査はPWRプラントが中心であったが、現在はBWRプラントが中心となっており、それぞれの炉型の審査結果が積み上がった状況にある。
 - 泊3号炉はPWRであり、PWR特有の設備等を有することから、まとめ資料に先行の審査内容を反映する際には、単純に直近の許可済みBWRプラントを反映するのではなく、適切な比較対象プラントを選定した上で反映する必要がある。

- 比較対象プラントを選定する考え方は、以下の通り。

【基準適合に係る設計を反映するために比較するプラント（基本となる比較対象プラント）選定の考え方】

各条文・審査項目の要求を満たすための設備構成・仕様、環境、運用を踏まえ、許可済みプラントの中から、新しい実績のプラントを選定する。具体的には以下の通り。

- ✓ 炉型に拠らず共通的な内容については、泊3号炉の地震・津波側審査が進捗した時点（2021年7月）で直近に許可済みであった女川2号炉を比較対象として先行審査知見の取り込みを行う。なお、同時期に審査が行われ、女川2号炉に次いで許可を受けた島根2号炉については、女川2号炉と島根2号炉の差異を確認し、島根2号炉との差異の中で泊3号炉の基準適合を示すために必要なものは反映する。
- ✓ 炉型固有の設備等を有する場合については、PWRプラントの新規制基準適合性審査の最終実績である大飯3/4号炉を選定する。
- ✓ 個別の設計事項に相似性がある場合（例えば3ループ特有の設計等）、大飯3/4号炉以外の適切なプラントを選定する。

【先行審査知見^{*1}を反映するために比較するプラント選定の考え方】

炉型に拠らないことから、まとめ資料を作成している時点で最新の許可済みプラントとする。具体的には以下の通り。

- ✓ 泊3号炉の地震・津波側審査が進捗した時点（2021年7月）で直近に許可済みであった女川2号炉を比較対象として先行審査知見の取り込みを行う。なお、同時期に

審査が行われ、女川 2 号炉に次いで許可を受けた島根 2 号炉については、女川 2 号炉と島根 2 号炉の差異を確認し、島根 2 号炉との差異の中で泊 3 号炉の基準適合を示すために必要なものは反映する。

※ 1 主な事項は、以下の通り

- ✓ これまでの審査の中で適正化された記載
- ✓ 基準適合性を示すための説明の範囲、深さ
- ✓ 設置（変更）許可申請書に記載する範囲、深さ

- 上述に基づく検討結果として、「基準適合に係る設計」と「先行審査知見」を反映するために選定した比較対象プラント一覧とその選定理由を別紙 1 に、条文・審査項目毎の詳細を別紙 2 に示す。
 - 別紙 1：比較対象プラント一覧
 - 別紙 2：比較対象プラント選定の詳細

以上

比較対象プラント一覧

凡例		
●大飯3/4号炉	●女川2号炉	●それ以外の場合

主な審査項目	ステータス	基準適合に係る設計を反映するための比較		先行審査知見を反映するための比較対象	比較表の様式
		比較対象	選定理由		
1.0 43条 共通 (1.0.2 (保管アクセス) 以外)	概ね説明済み	大飯3/4号炉	4.4条以降のSA設備の多くがPWRプラント設計を踏まえたものであるため	女川2号炉	女川一泊一大阪
		大飯3/4号炉	重大事故等への対応に用いる具体的な手順の類似	女川2号炉	女川一泊一大阪
1.1 44条 ATWS	概ね説明済み	大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大阪
		大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大阪
1.2 45条 高圧時冷却	概ね説明済み	大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大阪
		大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大阪
1.3 46条 減圧	概ね説明済み	大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大阪
		大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大阪
1.4 47条 低圧時冷却	概ね説明済み	大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大阪
		大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大阪
1.5 48条 最終ヒートシンク	概ね説明済み	大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大阪
		大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大阪
1.6 49条 CV冷却	概ね説明済み	大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大阪
		大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大阪
1.7 50条 CV過圧破損防止	概ね説明済み	大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大阪
		大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大阪

プ
ラ
ン
ト
A

比較対象プラント一覧

凡例		
●大飯3/4号炉	●女川2号炉	●それ以外の場合

主な審査項目	ステータス	基準適合に係る設計を反映するための比較		先行審査知見を反映するための比較対象	比較表の様式		
		比較対象	選定理由				
設備・技術的能力 S A P ラ ン ト	1.8 51条	CV下部注水	概ね説明済み	大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大飯
				大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大飯
	1.9 52条	CV水素対策	概ね説明済み	大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大飯
				大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大飯
	1.10 53条	RB水素対策	概ね説明済み	大飯3/4号炉 伊方3号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	53条 女川一泊一大飯-伊方
				大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大飯
	1.11 54条	SFP	概ね説明済み	大飯3/4号炉	SFP配置がBWRと異なるため	女川2号炉	女川一泊一大飯
				大飯3/4号炉	SFP配置の類似	女川2号炉	女川一泊一大飯
	1.12 55条	放射性物質の拡散抑制	概ね説明済み	大飯3/4号炉	SFP配置の類似	女川2号炉	女川一泊一大飯
				大飯3/4号炉	SFP配置の類似	女川2号炉	女川一泊一大飯
	1.13 56条	水源	概ね説明済み	大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大飯
				大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大飯
1.14 57条	電源	概ね説明済み	大飯3/4号炉	電源設備構成の類似	女川2号炉	女川一泊一大飯	
			大飯3/4号炉	電源設備構成の類似	女川2号炉	女川一泊一大飯	
1.15 58条	計装	概ね説明済み	大飯3/4号炉	監視パラメータの類似	女川2号炉	女川一泊一大飯	
			大飯3/4号炉 伊方3号炉	監視パラメータの類似	女川2号炉	女川一泊一大飯-伊方	

比較対象プラント一覧

凡例		
●大飯3/4号炉	●女川2号炉	●それ以外の場合

主な審査項目	ステータス	基準適合に係る設計を反映するための比較		先行審査知見を反映するための比較対象	比較表の様式
		比較対象	選定理由		
1.16 59条 原子炉制御室	概ね説明済み (原子炉制御室の居住性を確保するための対策はバックフィットのため新規説明)	女川2号炉 大飯3/4号炉	原子炉施設に共通の要求に係る条文であるため女川2号炉をリファレンスとする 事故シナシエンス選定等PWR固有設計に係る事項については大飯3/4号炉をリファレンスとする	女川2号炉	女川-泊-大飯
		大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川-泊-大飯
1.17 60条 監視測定	概ね説明済み	女川2号炉	原子炉施設に共通の要求に係る条文であるため	女川2号炉	女川-泊-大飯
		女川2号炉	原子炉施設に共通の要求に係る条文であるため	女川2号炉	女川-泊-大飯
1.18 61条 緊急時対策所	概ね説明済み	大飯3/4号炉	可搬型設備の設計方針や格納容器ベント設備の有無などPWR固有の設計	女川2号炉	女川-泊-大飯
		大飯3/4号炉	可搬型設備の設計方針や格納容器ベント設備の有無などPWR固有の設計	女川2号炉	女川-泊-大飯

比較対象プラント選定の詳細（技術的能力）

【1.4：低圧時冷却】

項目		内容
基準適合に係る設計を 反映するために 比較するプラント	プラント名	大飯 3 / 4 号炉
	具体的理由	当該条文における重大事故等への対応に用いる蒸気発生器 2 次側による炉心冷却手段の活用による対応等については PWR 固有の設計に基づくものであり、炉心冷却に用いる設備構成の相違など、機能喪失を想定する設計基準事故対処設備及び重大事故等への対応設備・手段が大きく異なるため、PWR プラントとしての基準への適合性を網羅的に比較する観点から大飯 3 / 4 号炉を選定する。
先行審査知見を 反映するために 比較するプラント	プラント名	女川 2 号炉
	反映すべき知見を得るための主な方法	① 資料構成の比較※：当該条文のまとめ資料の構成について比較・整理を行い、その結果、必要と判断した資料を追加することとした。 [事例] 添付資料（手順着手の判断基準、操作手順の解釈など）
	（当該方法の選定理由）	① 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備及び重大事故等への対応設備・手段が大きく異なるため、資料の記載内容も異なるが、資料構成の比較・整理により基準適合の説明のために必要な資料の充足性を確認することが可能なため。

※ 女川 2 号炉との資料構成の比較に加え、PWR の先行審査実績の取り込みの総括として、大飯 3 / 4 号炉のまとめ資料の作成状況（資料構成と内容）を条文・審査項目毎に確認し、基準適合性の網羅的な説明に必要な資料が揃っていることを確認する。

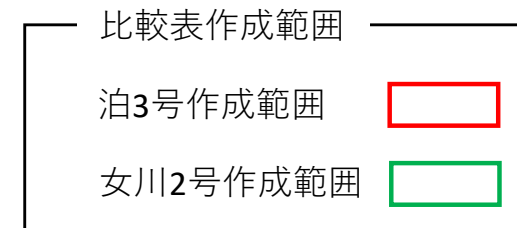
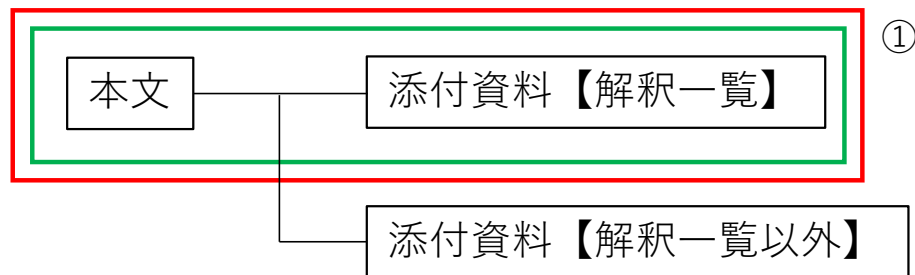
【凡例】 ○：記載あり
 ×：記載なし
 (○)：本文の資料の他箇所に記載
 △：他条文の資料などに記載

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

プラント		泊3号炉 作成状況		まとめ資料の作成を不要とした理由	まとめ資料または比較表を新たに作成することとした理由 もしくは 記載の充実を図ることとした理由	比較表を作成していない理由
女川	泊	まとめ資料	比較表			
本文	本文	○	○			
添付資料	添付資料	○	○			
添付資料1.4.1 審査基準、基準規則と対処設備との対応表	添付資料1.4.2 審査基準、基準規則と対処設備との対応表	○	×			
添付資料1.4.2 対応手段として選定した設備の電源構成図	添付資料1.4.1 重大事故等対処設備の電源構成図	○	×			
添付資料1.4.3 重大事故等対策の成立性 1. 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 2. 低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水系ポンプ）による原子炉圧力容器への注水	添付資料1.4.4 B-格納容器スプレイポンプ（RHR S-CSS 連絡ライン使用）による代替炉心注水	○	×		基準適合性を確認するために必要な評価方針は、本文に記載されており比較表を作成し考察しているため、比較表を作成していない。	
	添付資料1.4.5 代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水					
	添付資料1.4.6 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる代替炉心注水					
	添付資料1.4.7 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水					
	添付資料1.4.8 送給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水					
	添付資料1.4.9 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水					
	添付資料1.4.10 B-格納容器スプレイポンプ（RHR S-CSS 連絡ライン使用）による代替再循環運転					
	添付資料1.4.13 B-充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水					
	添付資料1.4.14 B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-CSS 連絡ライン使用）による代替炉心注水					
	添付資料1.4.16 1次冷却材ポンプ封水ライン隔離弁等閉止操作					
添付資料1.4.4 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉注水から残留熱除去系（低圧注水モード）による原子炉注水への切替えについて		×	×	プラント固有の条件を踏まえた設備設計であるため作成不要		
添付資料1.4.5 解釈一覧	添付資料1.4.26 解釈一覧 1.「手順着手の判断基準」および「操作手順」解釈一覧 2.操作対象機器一覧	×→○	×→○		当該資料に整理している手順着手判断基準に係るパラメータの設定値や、操作手順に係るパラメータの調整値、操作する弁の名称等については、設工認及び保安規定における審査にて説明することとしていたが、更なる説明性の向上を目的として、今後作成する。	
	添付資料1.4.3 多様性拡張設備仕様	○	×			
	添付資料1.4.11 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞時の対応手順について	○	×			
	添付資料1.4.12 全交流動力電源喪失時とL O C A事象が重畳する場合の対応操作について	○	×			
	添付資料1.4.15 全交流動力電源が喪失した状態においてR C PシールL O C Aが発生した場合の 手順	○	×			
	添付資料1.4.17 原子炉格納容器内冷却状況の原子炉格納容器外温度計での確認	○	×			
	添付資料1.4.18 炉心損傷時におけるC/V破損防止等操作について	○	×			基準適合性を確認するために必要な評価方針は、本文に記載されており比較表を作成し考察しているため、比較表を作成していない。
	添付資料1.4.19 炉心損傷時の再循環運転について	○	×			
	添付資料1.4.20 R C Sへの燃料取替用水ピット重力注水について	○	×			
	添付資料1.4.21 運転停止中の全交流動力電源喪失+原子炉補機冷却機能喪失時の炉心注水手段	○	×			
	添付資料1.4.22 ミッドループ運転中の事故時におけるC/V内作業員の退避について	○	×			
	添付資料1.4.23 運転停止中の除熱機能と炉心注水手段	○	×			
	添付資料1.4.24 ミッドループ運転概要図	○	×			
	添付資料1.4.25 代替炉心注水における各注水手段の信頼性について	○	×			

泊3号炉 「比較表」の作成範囲

技術的能力1.1～1.19



※ () 書きは泊と女川で資料名が異なる場合の女川の資料名称
破線の四角は泊になく、女川にしかない資料

① 添付資料の解釈一覧については、泊では元々作成していなかったが新規にまとめ資料を作成し比較を実施する。

資料構成	資料概要	まとめ資料・比較表を作成していない理由
本文	設置変更許可申請書本文及び添付書類十に記載する内容を記載した資料	
添付資料【解釈一覧以外】	評価方針に基づき実施した評価結果等ととりまとめた資料	基準適合性を確認するために必要な評価方針は、本文に記載されており比較表を作成し考察しているため、比較表を作成していない。
添付資料【解釈一覧】	判断基準の解釈一覧、操作手順の解釈一覧等を記載した資料 (逐条により記載項目は異なり、記載がない逐条もある)	